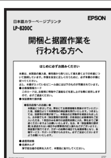
取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。



開梱と据置作業を行われる方へ

本製品の搬入後、梱包箱から取り出して据え置くまでの作業について説明しています。



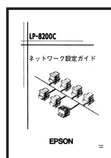
セットアップガイド

プリンタの組み立てから、プリンタソフトウェアのセットアップまでの手順を説明しています。



ユーザーズガイド

機能、操作方法など、本プリンタを使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。
お客様の目的や必要に応じて、必要な章をお読みください。



ネットワーク設定ガイド

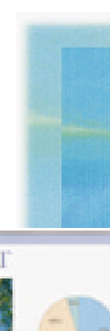
本機をネットワーク上に接続してご使用いただくための方法について説明しています。
システム管理者の方が、ご利用の環境に応じて必要な章をご覧になりセットアップしてください。

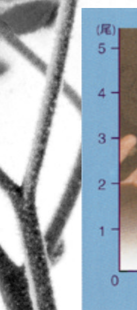
カラーイメージングの世界へようこそ

Welcome to Color Imaging World

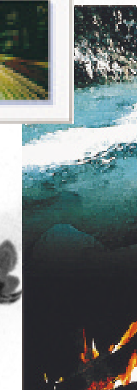
さまざまな写真データを活用して、インターカラー・レーザープリンタで印刷した例です。
カラーで印刷することにより､より豊かで説得力のある表現が可能となります。これをヒントに、お客様ご自身のアイデアを盛り込んだ楽しいカラー印刷に挑戦してください。

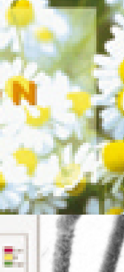




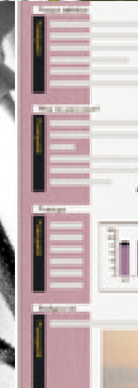














色の概念

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

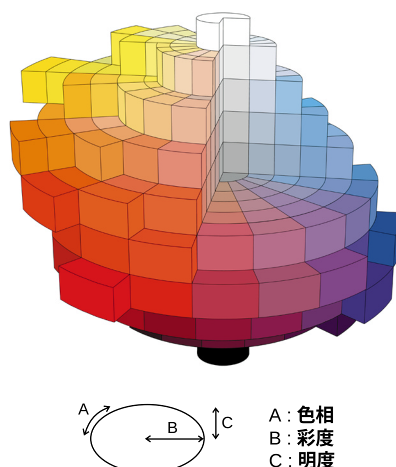
色の要素

一般に「色」というと赤や青などの**色相（色合い）**を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相の他に**彩度、明度**という要素があります。

彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

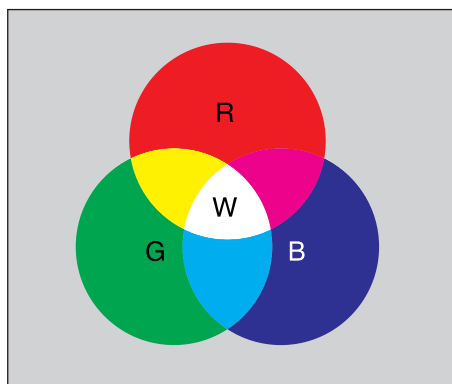
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

右の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。



ディスプレイの発色プロセス＜加法混色＞

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、**赤(R)**、**緑(G)**、**青(B)** の3色の光が見えます。これは**「光の三原色」**と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが0:黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが100:白）までを色を加えることで表現するため、CRTディスプレイで表現される色は、**加法混色（加色法）**と呼ばれます。

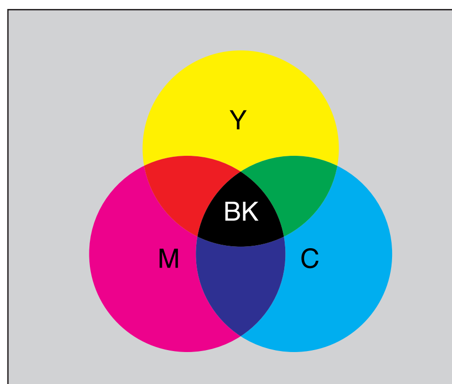


R:赤　G:緑　B:青　W:白

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。
例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体(インク)が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色のRGBではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン(C)、マゼンタ(M)、黄色(Y)の3色です。この3色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

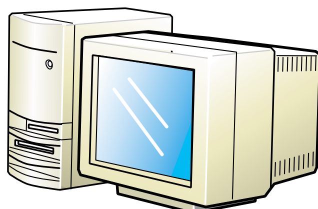


Y:黄　M:マゼンタ　C:シアン　BK:黒

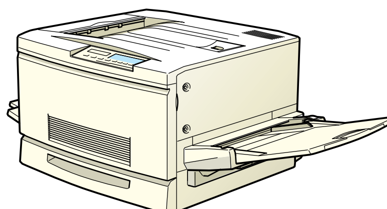
理論的にはCMYの3色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒(BK)インクを使用し、CMYBKの4色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRTディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。



“光”の三原色で表示



“色”の三原色で印刷

この加法混色(RGB)→減法混色(CMY)変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの表示はディスプレイの調整状態によっても変化するため、ディスプレイ表示とプリンタからの出力結果を完全に一致させることはできません。このように発色方法の違いにより、ディスプレイ表示と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。
ただし、これらの差異をできる限り合わせこむことも可能です。
☞「より高度な色合わせについて」(12)ページ

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画(CMY)→ディスプレイ(RGB)→印刷(CMY)の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。

カラー印刷のポイント

8～16色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やパソコン環境の整備が必要です。

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。
印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。
必要メモリの量に関係する印刷時の設定は、次の2つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度([標準]300DPI/[高品質]600DPI)

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。また推奨のメモリサイズをプリンタに実装させることで、印刷速度の改善など、より効率的な印刷が可能になります。なおDTP出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、256MB(最大時)まで増設することをお薦めします。

印刷サイズ	標準/高品質	必要メモリ	推奨メモリ
A3	標準	32MB	32MB
	高品質	64MB	96MB
A4	標準	32MB	32MB
	高品質	32MB	64MB

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きいものになるため、ご利用のコンピュータのハードディスクなどの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数(ピクセル)	画像データ容量	
デジタルカメラ	350,000 画素	ー	640 × 480	900	KB
	870,000 画素	ー	1024 × 768	2.3	MB
	1,300,000 画素	ー	1290 × 960	3.52	MB
フイルムスキャナ	1200DPI	ー	1700 × 1100	5.4	MB
フラットベッドスキャナ	300DPI	4' × 6'	1200 × 1800	6.2	MB
		A4	2550 × 3600	26.3	MB
	600DPI	4' × 6'	2400 × 3600	24.7	MB
		A4	5100 × 7200	105.1	MB
Photo CD	BASE	ー	768 × 512	1.1	MB
	4BASE	ー	1536 × 1024	4.5	MB
	16BASE	ー	3072 × 2048	18.0	MB

スキャナから画像を取り込む場合のポイント

ハイライト / シャドウ / ガンマの設定に注意する

ハイライトは画像の階調を有して最も明るい部分、シャドウは階調を有して画像の最も暗い部分です。ガンマはこれらの傾きです。この3点を適切に設定して取り込むだけで、おおむねきれいな画像が得られます。
スキャナの取扱説明書を参照し、ハイライト/シャドウ/ガンマを正しく設定した上で画像を取り込んでください(画像中の暗い部分が黒くつぶれないように、明るい部分が白くとばないように注意してください)。詳しくは、お使いのスキャナの取扱説明書をご覧ください。




適切な設定


ハイライトが強い設定


シャドウが強い設定

Photo CDから出力する場合のポイント

Photo CDの画像を印刷で利用する場合、開いた画像をそのまま出力しても必ずしも高品位な出力結果は得られませんので、適切な処理が必要です(ハイライト/シャドウの設定、色かぶりの除去、シャープネス設定など)。
適切な処理をするためには、通常Photoshopなどのアプリケーションソフトで画像を補正しますが、本機のプリンタドライバで「オートフォトファイン!3」を使用して印刷すると、元データはそのままに、出力する画像に対して適切な処理を施し、高画質化して印刷することができます。

処理すべき内容・方法については、「Photo CDプリプレスリファレンス＊」などに詳しく記載されていますので、そちらを参照してください。
＊ Photo CD 制作サービスの窓口でお求めください。

環境を整える

大きなデータを扱うには、コンピュータの環境を整えることが必要になります。画像の読み書き・表示・印刷などの作業に影響を与える要素には、次のものが挙げられます。

メモリ・ハードディスクの容量

画像の読み書き・表示・印刷など、すべての作業効率に影響を与える重要な要素です。そのため、メモリやハードディスク（システムを起動しているドライブ、または仮想記憶領域を割り当てているドライブ）には十分な容量を確保してください。快適に作業するには、ハードディスクに、最低でも「扱う画像データ容量の2倍以上の空き容量」が必要です。高速なCPUを搭載していれば、さらに快適な作業が可能です。

ディスプレイアダプタの性能

フルカラーのデータを扱うには、WindowsではHighColor（65000色）以上、Macintoshでは32000色以上の色数を表示できるディスプレイアダプタおよびディスプレイドライバが必要です。さらに、表示色数だけでなく、表示速度も作業効率に影響を与える重要な要素です。

アプリケーションソフトの性能

メモリ・ハードディスクと同じく、画像の読み書き・表示・印刷など、すべての作業に影響を与える重要な要素です。画像の読み書きの速度は、アプリケーションソフトによって差があります。
また、カラーマッチング（表示および印刷）の点でも、モニタキャリブレーションの機能を持つものがベストな選択と言えます。
Photoshopなどの、本格的なグラフィックス向けのアプリケーションソフトを使用されることをお薦めします。

印刷解像度について

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット（点）で構成されています。
印刷解像度は、1インチ（約2.54cm）あたりにいくつの点があるかをDPI（Dot per inch）という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。
本機の印刷解像度は、300DPIまたは600DPIのいずれかを選択することが可能です。
[詳細設定]ダイアログの解像度（Windows）/印刷品質（Macintosh）で「標準」（300DPI）または「高品質」（600DPI）を選択します。
600DPIを選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。
また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。
印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

● 300DPI



● 600DPI



スクリーン線数について（解像度優先／階調優先）

印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーやインクの点の密度を変化することで表現されます。
この点の密度をスクリーン線数と呼び、1インチ（約2.54cm）あたりの密度をLPI（Line per inch）という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。
本機のスクリーン線数は、次の2つを選択できます。

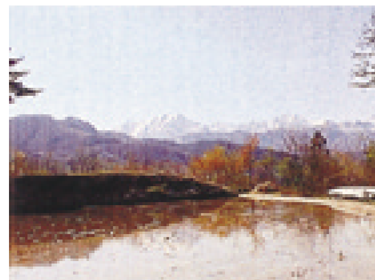
- 268LPI：プリンタドライバ上で「解像度優先」を選択します。
- 165LPI：プリンタドライバ上で「階調優先」を選択します。

268LPI（解像度優先）を選択すると、細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
165LPI（階調優先）を選択すると、細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。

● 165LPI



● 268LPI

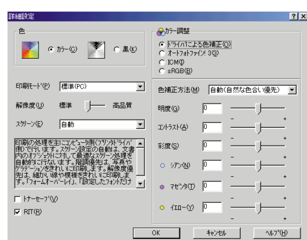


カラー調整

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定モードは、通常「推奨設定」にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には「詳細設定」で微調整（設定変更）を行ってください。

● *Windows ドライバ*



● *Macintosh ドライバ*



オートフォトファイン!3

オートフォトファイン!3とは、エプソン独自の画像解析/処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する、業界初の機能です。
一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン!3」です。（印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。）
この機能は、1ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

- ● 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などについては効果が薄くなります。
- ● 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- ● 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅いCPUを搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ● ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」（Windows）/「ColorSync」（Macintosh）を使用して印刷してください。
- ● EPSON製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン!3 は使用しないでください。

オートフォトファイン!3を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGBカラーバランスの補正 ➡ 色かぶりが補正されます。

オブジェクトのRGBごとのヒストグラムを分析し、RGBごとにトーンカーブ補正を行います。

解像度の補正 ➡ 低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。

画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。

明るさの補正 ➡ 暗すぎる(露出不足)画像などが修正されます。

オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。

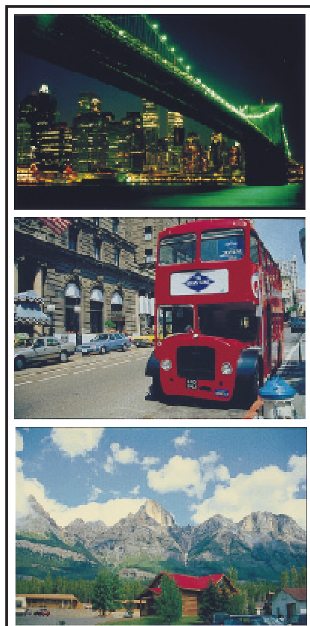
コントラストの強調 ➡ 中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。

ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。

彩度の強調 ➡ 色あせた画像が鮮やかになります。

画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン!3 OFF



オートフォトファイン!3 ON



● 明るさの補正

● コントラスト・彩度の強調

● RGB カラーバランスの補正

※1ページの複数の画像に対して個別に適切な補正が行われます。

イメージ補正

明度の調整

プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて、色が暗い、または色が明るく飛んでしまうときに調整します。


設定－


設定０


設定＋

コントラストの調整

画像全体の明暗の差がはっきりしない、プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて全体的にぼやけているときに調整します。


設定－


設定０


設定＋

彩度の調整

プリンタ出力の結果を、もっと鮮やかに、色の深みを増したいときに調整します。


設定－


設定０


設定＋

カラーコントロールの調整　※画像はISO/JIS-SCIDのものを使用しています。

シアン・マゼンタ・イエローの濃淡を調整して、色合いを変えたいときに行います。

シアンの調整

プラス(+)方向に上げると青緑色がかり、マイナス(ー)方向に下げるとシアンの補色である赤みが強くなります。



設定ー



設定0



設定+

マゼンタの調整

プラス(+)方向に上げると赤紫色がかり、マイナス(ー)方向に下げるとマゼンタの補色である緑色が強くなります。



設定ー



設定0



設定+

イエローの調整

プラス(+)方向に上げると黄色みが強くなり、マイナス(ー)方向に下げるとイエローの補色である青みが強くなります。



設定ー



設定0



設定+

より高度な色合わせについて

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるには、次の方法があります。

●ディスプレイを調整する（モニタキャリブレーション）

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像やPhoto CDなどの画像は適切な明るさや色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。
ディスプレイの調整については、以下を参照してください。

●カラーマネジメントシステムを使う

原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いを一致させるためのシステムとして、MacintoshではApple社の「ColorSync」、Windows95/98ではMicrosoft社の「ICM」があります。
カラーマネージメントシステムについては、次ページを参照してください。

ディスプレイの調整

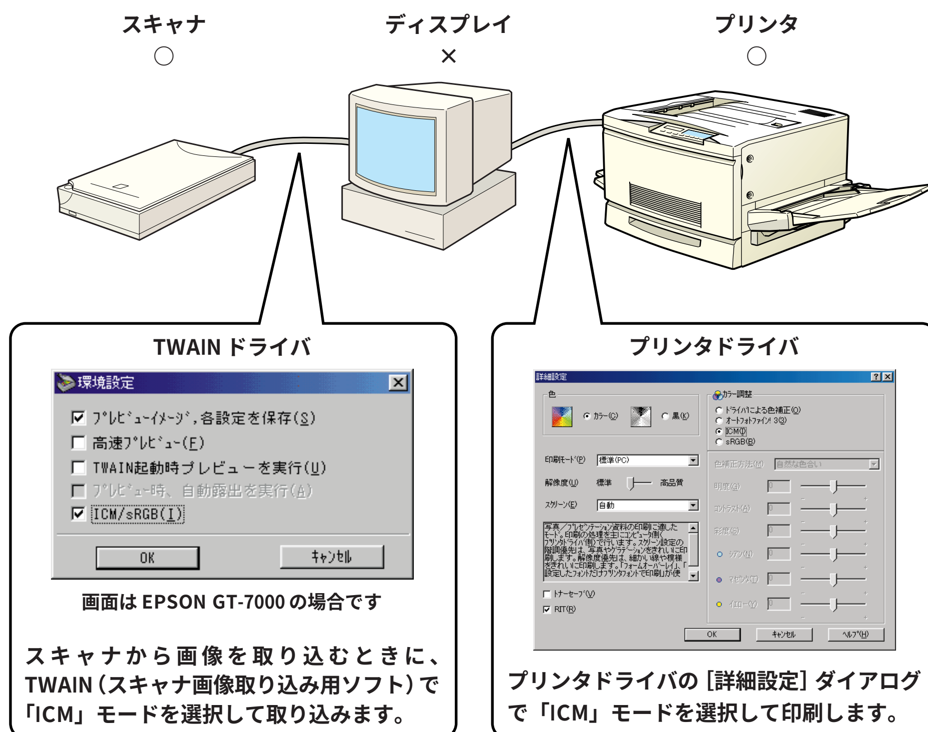
ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）は、本格的に行うと非常に手間のかかる作業で、また測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

> これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは原稿または印刷結果に近づけることができますが、すべてを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. ディスプレイの電源をオンにし、30分以上おいてディスプレイの表示を安定させます。
2. 室内の照明環境を一定にします。
   自然光は避けて、なるべく一定の照明条件になるようにし、さらにフードを装着すると良いでしょう。
3. ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500°Kに調整します。
4. ディスプレイのブライトネス調整を行います。
   ディスプレイで表示される「黒」が、「真っ黒」に近くなるように調整します。
5. Macintoshをお使いで、コントロールパネルに「ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshopがインストールされている）場合は、ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。
   ガンマ補正の値は、一般的な1.8に設定するのが良いでしょう。
6. ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿またはプリンタの出力結果に近くなるように調整を行います。
7. 調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。

カラーマネージメントシステム「ICM」

スキャナから取り込んだ画像とプリンタでの印刷結果の色合いを近づけるために、Windows95/98では、Microsoft社の「ICM」というカラーマネージメントシステムがあります。



ICMを使用した場合でも、通常、ディスプレイ表示だけは色合いを近づけることはできません。ただし、次の場合に、ディスプレイ表示の色合いを近づけることができます。

- ディスプレイ調整機能によって、ディスプレイをガンマ特性2.2、色温度6500°Kに調整した場合。（前ページを参照してください。）
- Windows98をご利用で、ディスプレイメーカーからICCプロファイル（色特性データファイル）が提供されており、なおかつアプリケーションソフトが対応している場合。
  （詳細は、ディスプレイおよびアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。）



- 「ICM」は、Windows95/98 用のプリンタドライバでのみご利用になれます。
- TWAIN ドライバなどスキャナについての詳細は、スキャナの取扱説明書をご覧ください。
- Windows98 の ICM は Windows95 の ICM よりも高い精度で色合いを近づけることができます。

カラーマネージメントシステム「ColorSync」

「ColorSync」は、原画(印刷データ)、ディスプレイの表示、印刷結果の色の合わせ込みを行うApple社のカラーマネージメント機能です。
以下に、「ColorSync」を使用しての、画像の取り込みから印刷までの流れを示します。

「ColorSync」を利用するには、Macintosh に「ColorSync」がインストールされている必要があります。



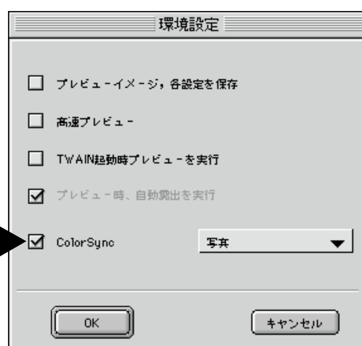
まず始めに、お使いのディスプレイの特性を設定します。

☞本書「ColorSync について」114 ページ



スキャナから画像を取り込む場合は、TWAIN(スキャナの画像取り込み用ソフト)で、「ColorSync」を使用して画像を取り込みます。

選択します

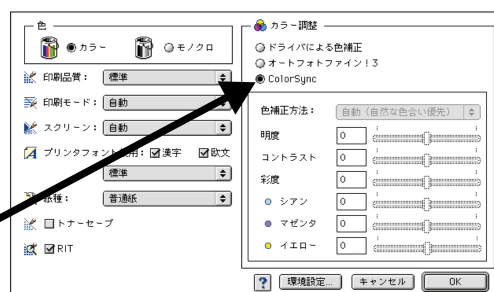


画面はEPSON GT-7000(スキャナ)の場合です。



プリンタドライバで「ColorSync」を選択して、印刷します。

選択します

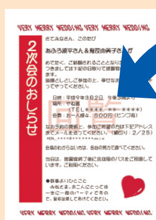


- 「ColorSync」を選択して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせができません。
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます(AdobePageMaker6.5J、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など)。ソフトウェア上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync」を選択せず、[ドライバによる色補正]−[色補正方法:色補正なし]を指定してください。

こんなこともできます

本機のプリンタドライバには、お客様の様々な用途にお応えできるよう便利な印刷機能をご用意しています。

■ スタンプマーク印刷機能



文書に㊙などのイメージを重ねて印刷することができます。
お客様のオリジナルのイメージを保存し、使用することも可能です。

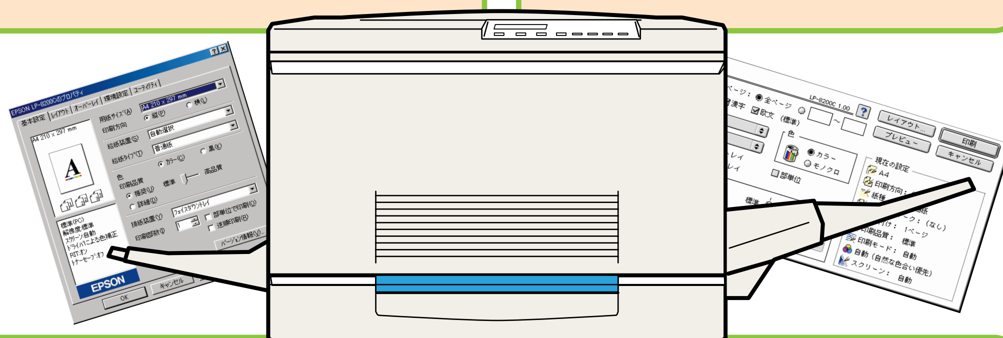
Windows本書「スタンプマークを印刷するには」37ページ
Macintosh本書「スタンプマーク」105ページ

■ 拡大 / 縮小印刷

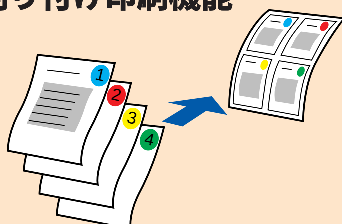


プリンタにセットした用紙サイズを設定することで、自動的に倍率が設定されます。
また任意の倍率を設定することも可能です。

Windows本書「[レイアウト]ダイアログ」35ページ
Macintosh本書「[用紙設定]ダイアログ」87ページ



■ 割り付け印刷機能



2ページまたは4ページ分のデータを1ページにまとめて印刷できます。

本書「[レイアウト]ダイアログ」
Windows 35ページ
Macintosh 104ページ

■ セピア印刷機能



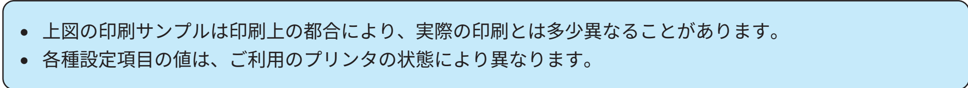
オートフォトファイン!3を使用して印刷することにより、お好みの画像をセピア調に印刷することができます。

本書「[詳細設定]ダイアログ」
Windows 29ページ
Macintosh 97ページ

印刷機能の確認

本機の印刷機能が正常に動作しているかは、ステータスシートを印刷して確認することができます。
本書「ステータスシートの印刷」158ページを参照してステータスシートを印刷し、下図のようにきれいに印刷されれば、本機の印刷機能は正常に動作しています。

EPSON
ステータスシート
LP-8200C
A3 Wide
Full Color
True 600dpi
Intercolor
セイコーエプソン株式会社



- 上図の印刷サンプルは印刷上の都合により、実際の印刷とは多少異なることがあります。
- 各種設定項目の値は、ご利用のプリンタの状態により異なります。



本書の構成

詳しいもくじは次のページにあります。

Windows95/98/NT4.0 をお使いの方のみお読みください。 Win

Macintosh をお使いの方のみお読みください。 Mac

DOS をお使いの方のみお読みください。 DOS

用紙について

Windows からの印刷

Macintosh からの印刷

DOS からの印刷

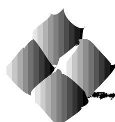
操作パネルでの設定

オプションについて

消耗品の交換について

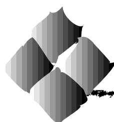
困ったときは

付録



もくじ

付録



本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は、必ずお読みください。

それぞれのマークには次のような意味があります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。



お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

用語*1　用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。

　関連した内容の参照ページを示しています。

表記について

Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0を総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows95/98/NT4.0」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

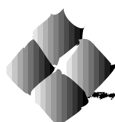
第1章

用紙について

LP-8200C

Paper

ここでは、印刷できる用紙、用紙のセット方法、印刷する際の諸注意などについて説明しています。



用紙について

本機は、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。

印刷できる用紙の種類

EPSON製の用紙

次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		型　番	説　明
普通紙	EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA3W(A3W(ノビ)サイズ) LPCPPA3(A3サイズ) LPCPPB4(B4サイズ) LPCPPA4(A4サイズ)	本機での印刷時、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。 用紙トレイ、用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSONカラーレーザープリンタ用OHPシート	LPCOHPS1(A4サイズ)	EPSON製の、本機専用のOHPシートです。用紙トレイからの給紙のみ可能です。



上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		説　明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	紙厚は 60 〜 105g/m² の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 *1	紙厚は 60 〜 105g/m² の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	官製ハガキ *2	通常の官製ハガキが使用可能です。
	封筒 *3	のりやテープが付いていない封筒が使用可能です。
	ラベル紙 *4	台紙全体がラベルで覆われている、レーザープリンタ用のラベル紙が使用可能です。
	厚紙	紙厚は 105 〜 220g/m² の範囲内のものが使用可能です。
	不定型紙	用紙サイズ90mmx139.7mm〜328mmx453mm、紙厚60〜105g/m²の範囲のものが使用可能です。

＊1：再生紙は、紙種、使用環境によっては印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。

＊2：絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。このような場合は給紙ローラをクリーニングしてください。

☞本書「給紙ローラのクリーニング」245 ページ

＊3：使用できる封筒の詳細と使用上の注意については、以下のページを参照してください。

☞本書「封筒への印刷」14 ページ

＊4：台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙は、プリンタ内部でのラベルのはがれにより故障の原因となるため、使用しないでください。



- 特殊紙への印刷の際は、各用紙ごとご注意いただく事項が異なります。以下のページを参照してください。
本書「特殊紙への印刷について」12 ページ
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

印刷できない用紙について

以下の用紙は、本機では使用しないでください。印刷不良、紙詰まり、またプリンタの故障などの原因になります。

- 本機で印刷済みの用紙
- 他のカラーレーザープリンタ、モノクロレーザープリンタで印刷済みの用紙
- 他のカラーレーザープリンタ/モノクロレーザープリンタ用OHPシート、他のカラー複写機 / モノクロ複写機用 OHP シート
- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙・光沢紙・光沢フィルムなど）
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷済みの用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙（ザラ紙、繊維質の用紙など）、表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- 折り目、カール、波うち、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙、台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙
- 糊、ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙
- 凸凹や留め金のある用紙、封筒
- 高温（約 150℃）で変質するインクが使われている用紙

印刷できる領域

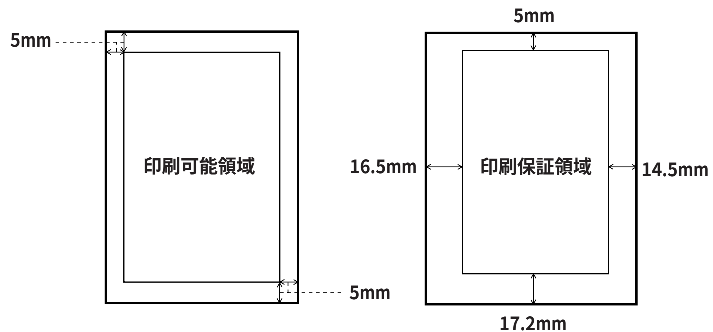
本機の印刷できる領域には次の 2 種類があります。

- 印刷保証領域：印刷の実行と印刷品質（画質など）を保証する領域です。
- 印刷可能領域：印刷の実行のみを保証する領域です。

● A6〜A3の定形紙、90mm×139.7mm〜328mm×453mmの不定形紙
印刷可能領域と印刷保証領域は同じです。
用紙の各端面から 5mm を除く範囲に印刷できます。



● A3W（ノビ）、328mm × 453mm（不定型紙の最大値）
印刷可能領域は用紙の各端面から 5mm を除く範囲です。
印刷保証領域は印刷可能領域よりも狭くなります。



アプリケーションソフトによっては、印刷保証領域が、上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ホコリがつかないよう、包装紙などに包んだり、箱に入れて保管してください。

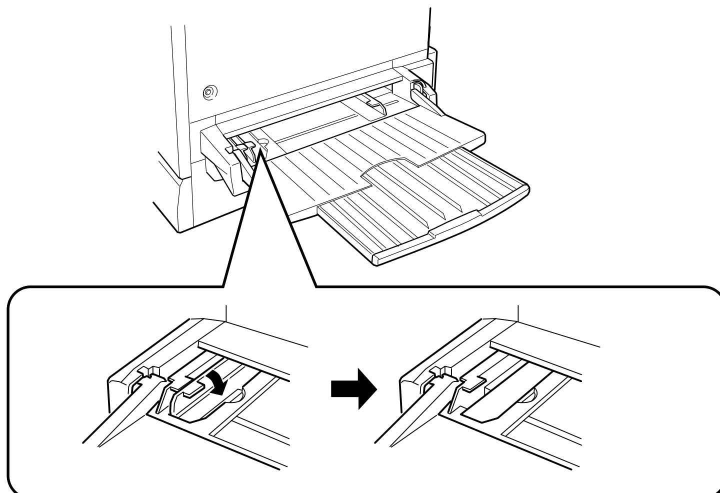


給紙装置について

本機には、標準で 2 つの給紙装置があります。
また、オプションの給紙装置を装着することにより、最大で5つにすることができます。

用紙トレイ

用紙トレイには、印刷する面を上に向けて用紙をセットします。
用紙トレイは、セットする用紙のサイズに合わせて延長トレイの引き出し部を引き出して使用します。
本機で印刷できるすべての用紙をセットすることができます。
用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
☞セットアップガイド「用紙トレイへの用紙のセット」27 ページ



A3W（ノビ）など、用紙幅が 304.8mm を超えるサイズの用紙をセットする場合は、用紙トレイ左側の折りたたみ式の用紙ガイドを倒してセットします。



ポイント

- **セットした用紙のサイズと種類に合わせて、必ず操作パネルで［トレイ紙サイズ］と［トレイタイプ］を設定してください。**
  ☞本書「ワンタッチ設定モード 2 での設定方法」131 ページ
  「階層設定モードでの設定方法」133 ページ
- **EPSON 製上質普通紙の印刷面は、用紙の包装紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）です。**
- **特殊紙は用紙トレイにセットしてください。用紙カセットからの特殊紙の印刷はできません。**
- **通常の場合、A4 サイズ以下の用紙は給紙方向に対して横長の状態でセットします。A4 サイズより大きい用紙は給紙方向に対して縦長の状態でセットします。**



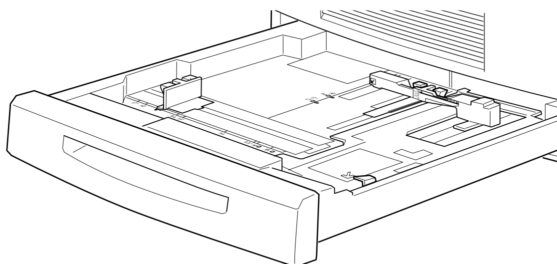
本機や他のプリンタで印刷した用紙はセットしないでください。
印刷不良、紙詰まり、プリンタの故障などの原因になります。

用紙カセット

用紙カセットには、印刷する面を下に向けて用紙をセットします。
用紙カセットにセットできる用紙は次の通りです。

- 用紙種類　：普通紙 /EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙
- 用紙サイズ：A4、A3、B5、B4、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）

用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
☞セットアップガイド「用紙カセットへの用紙のセット」24 ページ





ポイント

- **用紙の印刷面を下に向けてセットしてください。**
- **セットした用紙の種類に合わせて、操作パネルで［カセットタイプ］を設定してください。**
  ☞「階層設定モードでの設定方法」133 ページ
- **用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。**
  セット位置がずれていると、プリンタが用紙サイズを正しく検知できない場合があります。
- **EPSON 製上質普通紙の印刷面は、用紙の包装紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）です。**
- **特殊紙は用紙トレイにセットしてください。用紙カセットからの特殊紙の印刷はできません。**
- **通常の場合、A4サイズ以下の用紙は、給紙方向に対して横長の状態でセットします。A4サイズより大きい用紙は、給紙方向に対して縦長の状態でセットします。**



本機や他のプリンタで印刷した用紙はセットしないでください。
印刷不良、紙詰まり、プリンタの故障などの原因になります。

用紙と給紙装置の関係

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。
特殊紙を使用する場合は、必ず用紙トレイにセットしてください。

給紙装置		用紙種類	用紙サイズ	紙厚	容量
標準装備の給紙装置	用紙トレイ*1	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	A3W（ノビ）*2, A3, A4, A5, B4, B5, Letter(LT), Half-Letter(HLT), Legal(LGL), Executive(EXE), GovernmentLegal(GLG), GovernmentLetter(GLT), Ledger(B) , F4,	60〜105g/m²	150枚 (または総厚16mm)
標準装備の給紙装置	用紙トレイ*1	特殊紙：官製ハガキ	100mmx148mm	190 g/m²	75枚
標準装備の給紙装置	用紙トレイ*1	特殊紙：封筒*3	Monarch(MON), Commercial-10(C10), DL	60〜105 g/m²	20枚
標準装備の給紙装置	用紙トレイ*1	特殊紙：ラベル紙	ハガキ大〜A4	105〜220g/m²	75枚
標準装備の給紙装置	用紙トレイ*1	特殊紙：厚紙	ハガキ大〜A4	105〜220g/m²	75枚
標準装備の給紙装置	用紙トレイ*1	特殊紙：不定型紙	90mmx139.7mm〜328mmx453mm	60〜105 g/m²	150枚(または総厚16mm)
標準装備の給紙装置	用紙トレイ*1	特殊紙：EPSONカラーレーザープリンタ用OHPシート	A4	140g/m²	75枚
標準装備の給紙装置	用紙カセット	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	A3 , A4 , B4 , B5, Letter(LT),Legal(LGL), Ledger(B)	60〜105g/m²	250枚 (または総厚28mm)
オプション	用紙カセット (A3W(ノビ)用) LPCYC1W*4	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	A3W（ノビ）*2	60〜105g/m²	250枚 (または総厚28mm)
オプション	増設カセットユニット LPCWC1	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	A3 , A4 , B4 , B5 , Letter(LT),Legal(LGL), Ledger(B)	60〜105g/m²	250枚 (または総厚28mm) x3段
オプション	増設カセットユニット LPCWC2	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	A3 , A4 , B4 , B5 , Letter(LT),Legal(LGL), Ledger(B)	60〜105g/m	250枚 (または総厚28mm) x2段

*1 用紙幅が 304.8mm を超える場合（A3W（ノビ）など）、用紙トレイ左側の折りたたみ式の用紙ガイドを倒してください。

*2 本機で使用可能な A3W（ノビ）サイズは、328mm x 453mm です。
A3 ノビサイズ（329mm x 483mm）とはサイズが異なります。

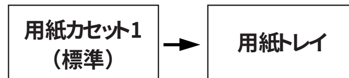
*3 封筒をセットする場合、必ずフラップ（封筒の閉じ口）を開き、フラップを給紙方向に対し後ろに向けてセットしてください。
封筒の詳細については、本書「封筒への印刷」14 ページ を参照してください。

*4 用紙カセット（A3W（ノビ）用）：LPCYC1W は、本機に標準装備の用紙カセットと差し替えて使用します。増設カセットユニットには装着できません。

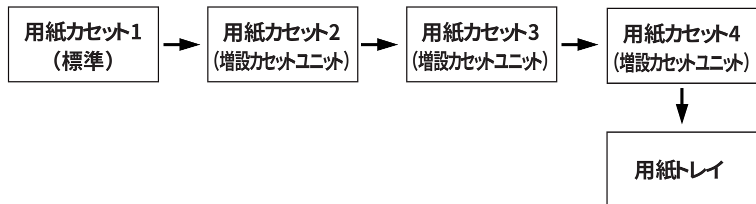
給紙装置の優先順位について

プリンタドライバや操作パネルの設定で給紙装置を［自動選択 / 自動］に設定すると、印刷実行時にプリンタドライバで設定した用紙サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
また、最初に見つけた給紙装置の用紙がなくなると、他の給紙装置を調べて同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙します。
給紙装置を調べる順序は次の通りです。

- 標準状態



- 増設カセットユニット（オプション）装着時



普通紙の場合、以下の連続給紙が可能です。

- 標準（用紙カセット 1 ＋ 用紙トレイ）　400 枚
- オプションの増設カセットユニット（2 段）装着時　900 枚
- オプションの増設カセットユニット（3 段）装着時　1,150 枚



用紙サイズや給紙装置の指定をアプリケーションソフト上で行っている場合、アプリケーションソフト上での設定がプリンタドライバでの設定より優先される場合があります。

用紙タイプ選択機能

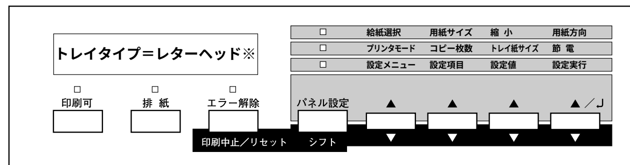
各給紙装置にセットした用紙のタイプ（種類）を設定しておくことで、印刷実行時にプリンタドライバが各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプの用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぎます。

1 **操作パネルで各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。**

用紙のタイプは次の中から選択できます。

- 普通紙 / レターヘッド / ボンド紙 / 再生紙 / 色付き /OHP フィルム / ラベル

☞本書「階層設定モードでの設定方法」133 ページ



2 **印刷実行時にプリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択 / 自動］に設定し、［給紙タイプ］（Windows）/［用紙種類］（Macintosh）の中から設定した用紙のタイプを選択します。**

印刷を実行するとプリンタドライバは、指定した用紙のセットされている給紙装置から自動的に給紙します。


ポイント

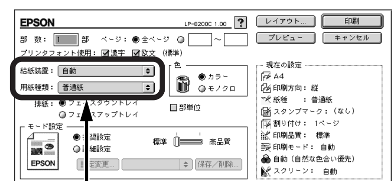
［給紙装置］で［自動選択 / 自動］を選択していないと［給紙タイプ］（Windows）/［用紙種類］（Macintosh）は選択できません。

Windows

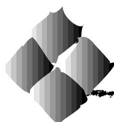


選択します

Macintosh



選択します

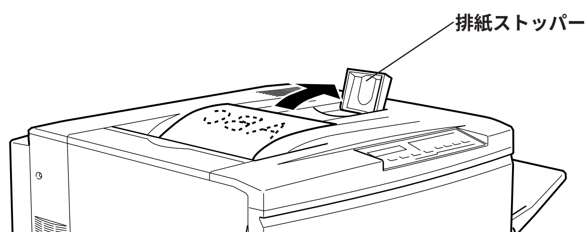


排紙装置について

本機には、2 つの排紙装置があります。

フェイスダウントレイ

プリンタ本体の上面がフェイスダウントレイです。
印刷した用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

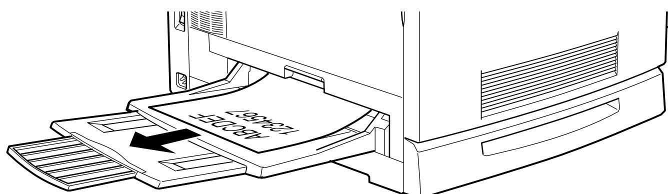


排紙ストッパー

大きいサイズの用紙の場合に、排紙された用紙がすべり落ちないよう、必要に応じて起こします。

フェイスアップトレイ

プリンタ左側の折りたたみ式の排紙トレイです。
印刷した用紙が、印刷面を上にして排紙されます。



用紙と排紙装置の関係

フェイスアップトレイとフェイスダウントレイに排紙可能な用紙と、各トレイで保持できる用紙枚数は次の通りです。

排紙トレイ	排紙可能な用紙の種類	保持できる用紙枚数
フェイスダウントレイ	B5 サイズ（182mm x257mm）以上の普通紙 /EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	250 枚（紙厚 60 〜 105g/m²）
フェイスアップトレイ	制限なし	150 枚（A4 未満、紙厚 60 〜 105g/m²） 50 枚（A4 以上、紙厚 60 〜 105g/m²）



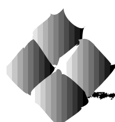
B5 サイズ（182mmx257mm）未満の用紙および特殊紙は、サイズや紙厚によりフェイスダウントレイへの排紙はできません。

次の用紙は、フェイスアップトレイに排紙してください。フェイスダウントレイへ排紙しようとしても、自動的にフェイスアップトレイに排紙されます。

フェイスアップトレイへの排紙のみ可能な用紙	普通紙	• A5, Half-Letter(HLT)
	特殊紙	• EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シート • ハガキ • 封筒 • 厚紙 • 不定形紙（給紙方向に対し、長さ 182mm 未満、幅 210mm 未満） **182mm 未満** **給紙方向** **210mm 未満**



フェイスアップトレイを使用して複数ページの印刷をする場合、1 ページ目が一番下に、最終ページが一番上になって出力されます。Windows では、プリンタドライバ上で逆順印刷を指定して印刷することにより、正しい順番で出力されます。



特殊紙への印刷について

ここでは、ハガキなど、特殊紙への印刷方法について説明します。

特殊紙を印刷すると、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷機能の調整を行っているためです。

ハガキへの印刷



- **絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して、給紙できなくなる場合があります。**
  ☞本書「給紙ローラのクリーニング」245 ページ
- **以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。**
  インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
  私製ハガキ
  箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
  絵ハガキなどの厚い（220g/m² 以上）ハガキ
  本機や他のプリンタで一度印刷したハガキ
  大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）

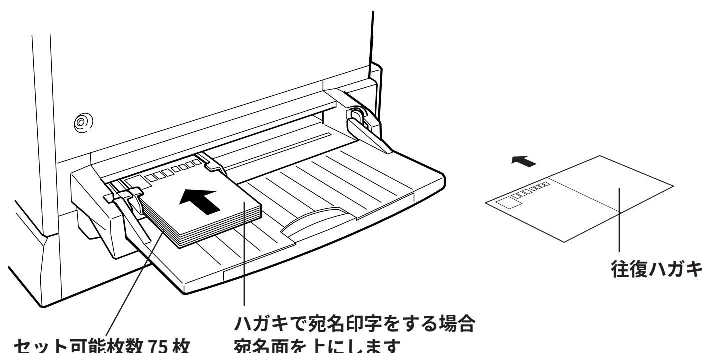
給紙方法 / セット可能枚数	用紙トレイ /75 枚
操作パネルの設定 * （官製ハガキ）	［ワンタッチ設定モード 2］［トレイ紙サイズ］→［ハガキ］
プリンタドライバの設定 （官製ハガキ）	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→［ハガキ 100x148mm］ 　　　　　　　［給紙装置］→［用紙トレイ］
	Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→［ハガキ］ ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］
プリンタドライバの設定 （往復ハガキ）	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→［ユーザー定義サイズ］ 　　　　　　　［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［環境設定］　［拡張設定］－［紙種］→［厚紙］
	Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→［ユーザー定義サイズ］ ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ 　　　　　　　［詳細設定］－［紙種］→［厚紙］

* 操作パネルで往復ハガキの用紙サイズを指定することはできません。



- **印刷する面を上に向けてセットしてください。**
- **用紙トレイから給紙してください。（用紙カセットからの給紙はできません）。**
- **往復ハガキは用紙中央に折り目がないものを使用してください。**
- **往復ハガキに印刷する場合は、アプリケーションソフトで用紙サイズを、200mm × 148mm に設定してください。アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、往復ハガキへの印刷はできません。**
- **奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数 mm 上に反らせてセットしてください。**
- **ハガキに印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。**

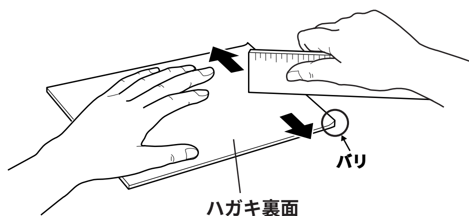
給紙のしかた



ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平なところに置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に１～２回こすり、「バリ」を除去します。





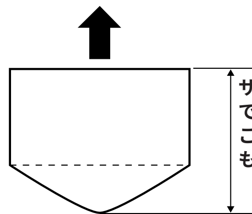
- **「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。**
- **「ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一、用紙を給紙できなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。**
  本書「給紙ローラのクリーニング」245 ページ

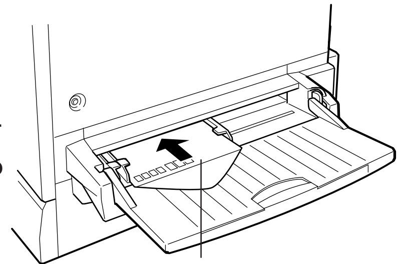
封筒への印刷

封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の封筒を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。



以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
- **封の部分に糊付け加工が施されている封筒**
- **箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒**
- **リボン、フックなどが付いている封筒**
- **本機や他のプリンタで一度印刷した封筒**
- **二重封筒**
- **高温で変質する可能性のあるインクで印刷がされた封筒**





給紙方法 / セット可能枚数	用紙トレイ /20 枚
操作パネルの設定	[ワンタッチ設定モード2] [トレイ紙サイズ]→[MON]、[C10]、[DL]
プリンタドライバの設定	Windows [基本設定] [用紙サイズ]→[MON][C10][DL] [給紙装置]→[用紙トレイ] [環境設定] [拡張設定] − [紙種]→[厚紙] [レイアウト] [逆方向から印刷]
	Macintosh [用紙設定] [用紙サイズ]→[Monarch] [Commercial−10][DL] [180度回転印刷] [プリント] [給紙装置]→[用紙トレイ] [詳細設定] − [紙種]→[厚紙]



- **封筒の定形サイズは、 Monarch（MON）,Commercial-10（C10）, DL の3つ（洋形封筒のみ）です。定型サイズ以外の封筒を使用する場合は、ユーザー定義サイズで、使用する封筒のサイズを設定してお使いください。**
- **封筒のフラップ(閉じ口)を開いた状態で、フラップを後ろにしてセットしてください。**
- **封（閉じ口）を後ろに向けてセットするため、プリンタドライバ上で[逆方向から印刷]（Windows）/ [180 度回転印刷]（Macintosh）を指定してください。**
- **奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数mm上に反らせてセットしてください。**

厚紙/不定形紙への印刷

給紙方法/セット可能枚数	用紙トレイ/75枚(厚紙)/150枚(不定形紙)	
操作パネルの設定	[ワンタッチ設定モード2]	[トレイ紙サイズ]→任意のサイズを設定
プリンタドライバの設定	Windows	
	[基本設定]	[用紙サイズ]→任意のサイズを設定 [給紙装置]→[用紙トレイ]
	[環境設定]	[拡張設定] − [紙種]→[普通]または[厚紙]
	Macintosh	
	[用紙設定]	[用紙サイズ]→任意のサイズを設定
	[プリント]	[給紙装置]→[用紙トレイ] [詳細設定] − [紙種]→[普通紙]または[厚紙]



- **アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**
- **[紙種]は、紙厚105g/m² 以下の場合は[普通/普通紙]を、105g/m² 以上の場合は[厚紙]を選択してください。**
- **印刷する面を上にしてセットしてください。**
- **220g/m² 以下のものを使用してください。**

ラベル紙への印刷

以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。



- **簡単にはがれてしまうラベル紙**
- **一部がはがれているラベル紙**
- **糊がはみ出しているラベル紙**
- **台紙全体がラベルで覆われていない(台紙がむき出しになっている)ラベル紙**
- **インクジェットプリンタ用のラベル紙**

給紙方法/セット可能枚数	用紙トレイ/75枚	
操作パネルの設定	[ワンタッチ設定モード2]	[トレイ紙サイズ]→任意のサイズを設定
プリンタドライバの設定	Windows	
	[基本設定]	[用紙サイズ]→任意のサイズを設定 [給紙装置]→[用紙トレイ]
	[環境設定]	[拡張設定] − [紙種]→[厚紙]
	Macintosh	
	[用紙設定]	[用紙サイズ]→任意のサイズを設定
	[プリント]	[給紙装置]→[用紙トレイ] [詳細設定] − [紙種]→[厚紙]



- **ラベルが貼ってある面を上に向けてセットしてください。**
- **レーザープリンタ用またはコピー機用のものを使用してください。**

OHPシートへの印刷

使用可能なOHPシートについて

本機ではＥＰＳＯＮ製カラーレーザープリンタ用ＯＨＰシート（型番：LPCOHPS1）のみ印刷可能です。（以下、「専用 OHP シート」と記載）



専用 OHP シート以外の OHP シートがセットされた場合、プリンタ内部機構の損傷を防ぐために給紙動作を強制的に停止しますので、本機では使用しないでください。
また専用OHPシートの向きや裏表を間違えてセットした場合も、同様に給紙動作を強制的に停止します。

給紙方法 / セット可能枚数	用紙トレイ /75 枚
操作パネルの設定	［ワンタッチ設定モード 2］［トレイ紙サイズ］→［A4］
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→［A4］ 　　　　　　［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［環境設定］　［拡張設定］－［紙種］→［OHP シート］ Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→［A4］ ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ 　　　　　　［詳細設定］－［紙種］→［OHP シート］

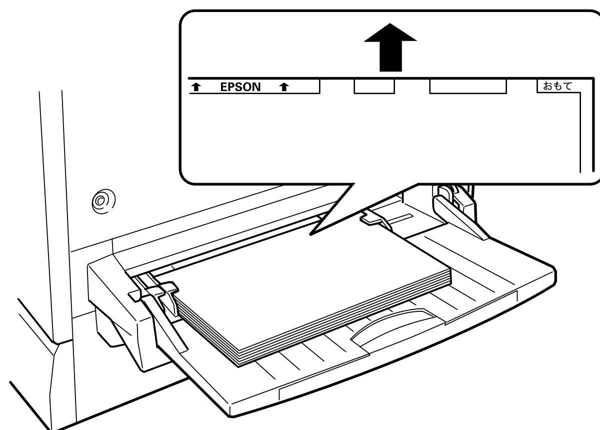


- **専用の OHP シート（型番：LPCOHPS1）を使用してください。**
- **OHPシートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHPシートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。**
- **印刷直後の OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。**

専用OHPシートのセット

専用OHPシート（型番：LPCOHPS1）には、下図のように目印が付いています。
専用OHPシートをセットする場合、次の点を必ず守ってください。

- 必ず用紙トレイにセットしてください。
- 必ず専用OHPシートの目印のある箇所を、下図の方向に向けてセットしてください。



「OHPシートガタダシクアリマセン」と表示された場合

次の場合、本機は操作パネルの液晶ディスプレイに「OHPシートガタダシクアリマセン」と表示して、給紙を途中で停止します。

- 専用OHPシートの向き（方向 / 裏表）を間違えてセットした場合
- 専用OHPシート以外のOHPシートをセットした場合

この場合、プリンタを印刷可能状態に戻すには次のようにしてください。

① 給紙口から､用紙詰まりを起こしているOHPシートを引き出して取り除きます。
② 本体右側面の紙送りユニットを一度引き出して､OHPシートが詰まっていないかを確認し、紙送りユニットを閉じます。
③ OHPシートが専用OHPシートであるか、向き（方向 / 表裏）に間違いがないかを確認して、用紙トレイにセットし直します。


ポイント

上記の場合、必ず紙送りユニットを一度引き出し、閉じてください。給紙口での用紙詰まりが発生した場合､紙送りユニットを引き出して閉じることで用紙詰まりのエラー状態を解除します。

第2章

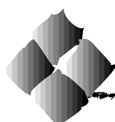
Windowsからの印刷

Win

LP-8200C

Printing on Windows

ここでは、Windows95/98/NT4.0からの印刷方法とユーティリティについて説明します。



印刷までの流れ

Win



1 印刷データを作成します

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

2 プリンタの電源をオンにします

プリンタが、印刷可能状態であるか確認します。

3 用紙がセットされているか確認します

☞セットアップガイド「用紙のセット」24 ページ
☞本書「用紙について」2 ページ

4 プリンタドライバで印刷条件を設定します



☞本書「印刷の手順」21 ページ
☞本書「プリンタドライバの設定」23 ページ
☞本書「印刷の基本設定」24 ページ
☞本書「レイアウトの設定」35 ページ

※ 操作パネルで設定できる項目と重複するもの（トレイ紙サイズを除く）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

5 印刷を実行します

☞本書「印刷の手順」21 ページ
☞本書「印刷の中止方法」57 ページ



印刷の手順

ここでは、Windows95/98/NT4.0アプリケーションソフトでの、基本的な印刷手順について説明します。印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。



プリンタドライバはインストールされていますか？インストールしていない場合は、以下のページを参照してプリンタドライバをインストールしてください。

☞セットアップガイド「Windows プリンタソフトウェアのセットアップ」35 ページ

ここでは、Windows95/98/NT4.0に添付のワードパッドを例に説明します。

1 ワードパッドを起動し、印刷データを作成します。



Windows95/98/NT4.0 「ワードパッド」の起動方法：
Windows の スタート ボタンをクリックし、［プログラム］にカーソルを合わせ、さらに［アクセサリ］にカーソルを合わせ、［ワードパッド］をクリックします。

2 ［ファイル］メニューをクリックし、［印刷］をクリックします。



①クリックして ②クリックします

3 お使いのプリンタが選択されていることを確認し、プロパティ ボタンをクリックします。

プリンタドライバを設定する必要がなければ、 OK ボタンをクリックして印刷を実行します。



①確認して ②クリックします

Win

4 各項目を設定して OK ボタンをクリックします。

通常は、［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。各項目の詳細については、以下のページを参照してください。

☞本書「プリンタドライバの設定」23 ページ



①設定して



［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせてください。

5 OK ボタンをクリックします。

印刷データがプリンタに送られ印刷が始まります。





プリンタドライバの設定

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて2通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。



アプリケーションソフトから開いた場合



［プリンタ］フォルダから開いた場合

[プリンタ]フォルダからの開き方

①Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせてから、［プリンタ］をクリックします。

②［プリンタ］フォルダ内の［EPSON LP-8200C］アイコンをクリックして、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

アプリケーションソフトからの開き方

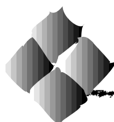
アプリケーションソフトからプリンタドライバを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。標準的な方法は、［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させ、 プロパティ ボタンをクリックします。以下のページの手順を参考にしてください。

☞本書「印刷の手順」21ページ

プリンタドライバの設定

本章は、LP-8200C特有の設定に関して以下の項目に分けて説明します。

☞ 本書「印刷の基本設定」24ページ
本書「レイアウトの設定」35ページ
本書「フォームオーバーレイ印刷」40ページ
本書「プリンタの環境設定」42ページ
本書「給紙装置の用紙設定（WindowsNT4.0のみ）」49ページ
本書「ユーティリティの起動」50ページ



印刷の基本設定

［基本設定］ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。



Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合の画面

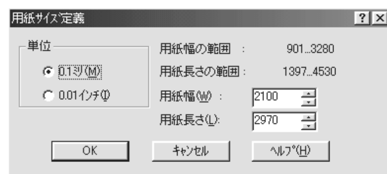

ポイント

WindowsNT4.0 で［基本設定］ダイアログを開くには、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。
☞本書「プリンタドライバの設定」23 ページ

①用紙サイズ

作成する印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印 ▲ ▼ をクリックして表示させてください。

任意の用紙サイズを設定するには、［ユーザー定義サイズ］を選択します。開いた［用紙サイズ定義］ダイアログで、設定の単位を選択してから、用紙幅と用紙の長さを設定します。




ポイント

- **作成した印刷データの用紙サイズと［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、まちがったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。**
- **［排紙装置］で［フェイスダウントレイ］が選択されている場合、フェイスダウントレイに排紙できない用紙サイズを選択すると、ワーニングメッセージを表示して［フェイスアップトレイ］に自動的に切り替わります。**

②印刷方向

印刷する用紙の方向を、[縦]・[横]のいずれかクリックして選択します。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

自動選択	：印刷実行時に、[用紙サイズ]で選択したサイズおよび[給紙タイプ]で選択した用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置を探し給紙します。
用紙トレイ	：用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ]を選択します。
用紙カセット1	：標準の用紙カセットから給紙する場合は、[用紙カセット1]を選択します。
用紙カセット2～4	：オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙する場合に選択します。オプションの用紙カセットは、上から2、3、4の番号が割り当てられています。


ポイント

- **[自動選択]を選択して拡大／縮小印刷を行うと、[レイアウト]ダイアログの[出力用紙]で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。**
- **用紙トレイはセットした用紙サイズを自動的に検知できませんので、必ず「操作パネル」で用紙サイズを設定してください。**
  ☞本書「ワンタッチ設定モード2での設定方法」131ページ
- **指定された用紙がセットされていない、または正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。**

④給紙タイプ

[給紙装置]を[自動選択]に設定した場合は、給紙する用紙のタイプをリストから選択します。[給紙タイプ]を選択することにより、[用紙サイズ]と[給紙タイプ]で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。
☞本書「用紙タイプ選択機能」9ページ


ポイント

- **[給紙装置]を[自動選択]以外に設定した場合は、[給紙タイプ]は設定できません。**
- **操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、[指定しない]を選択してください。**

⑤色

カラー印刷を行うときは、[カラー] を、モノクロ印刷を行うときは [黒] を選択します。[色] の設定によって、次の [印刷品質] の設定は異なります。

⑥印刷品質

印刷の品質を決定するさまざまな機能を設定します。

推奨　：一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この [推奨設定] でよい印刷結果が得られます。[標準] または [高品質] どちらかを選択できます。通常は [標準] の設定で標準的な印刷品質が得られます。[高品質] は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。

詳細　：[詳細] をクリックすると、プリセットメニュー*1のリストボックスと 設定変更 / 保存 / 削除 ボタンが有効になります。

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている用途別の選択肢。リストボックスの中に、一覧で表示される。

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン!3	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!3を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ICM	Windows95/98のICM(Image Color Matching)機能を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタの印刷結果の色合いを合わせて印刷します。
sRGB	スキャナやディスプレイなどの機器が sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチングを行って印刷します。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。

プリセットメニュー	用途
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

設定変更 ボタン　：［詳細］をクリックしてから 設定変更 ボタンをクリックすると［詳細設定］ダイアログが開き、詳細な設定ができます。詳しくは以下のページを参照してください。
☞本書「［詳細設定］ダイアログ」29 ページ

保存 / 削除 ボタン　：［詳細設定］ダイアログで設定した内容を保存/削除できます。［詳細］をクリックしてから 保存 / 削除 ボタンをクリックします。詳しくは以下のページを参照してください。
☞本書「ユーザー設定の保存方法」34 ページ

保存したユーザー設定は、プリセットメニューから選択できます。

⑦排紙装置

排紙装置を選択します。

フェイスダウントレイ：印刷面を下にして、本体上部のフェイスダウントレイに排紙します。フェイスダウントレイに排紙できる用紙は、B5 サイズ以上の普通紙またはEPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙です。これ以外の用紙の場合は、自動的に［フェイスアップトレイ］に切り替わります。

フェイスアップトレイ：印刷面を上にして、本体左側のフェイスアップトレイに排紙します。この場合、［逆順印刷］を設定して最後のページから逆の順序で印刷して排紙してください。

⑧印刷部数

印刷する部数（1 ～ 999）を設定します。

⑨部単位で印刷

［部単位で印刷］をクリックしてチェックマークを付けると、2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑧の［印刷部数］で指定します。


ポイント

オプションのハードディスクユニットをプリンタに装着している場合は、ハードディスクにデータを一時保存して部単位印刷を行います。

⑩逆順印刷

［逆順印刷］をクリックしてチェックマークを付けると、最後のページから逆に印刷します。

通常の印刷順序でフェイスアップトレイに排紙すると、印刷面を上にして1ページ目は一番下に、最終ページは一番上になります。フェイスアップトレイに排紙する場合は、［逆順印刷］を設定して逆の順序で印刷してください。

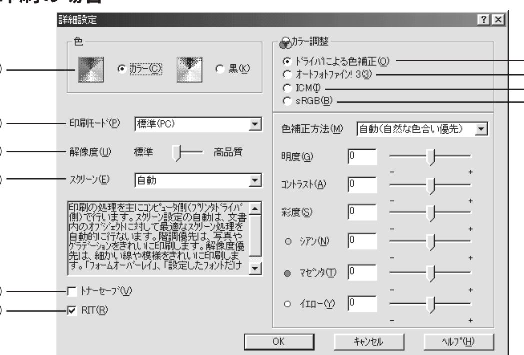
⑪ バージョン情報 ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

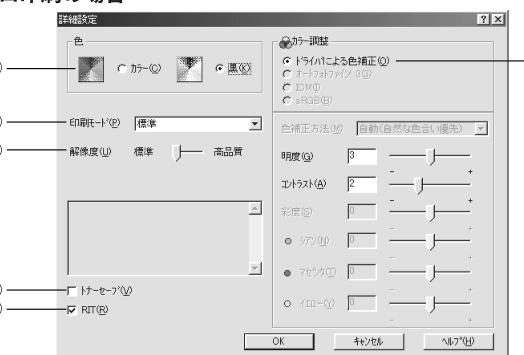
[詳細設定]ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［印刷品質］の［詳細］をクリックして、さらに 設定変更 ボタンをクリックすると、印刷条件の詳細な設定ができます。

カラー印刷の場合



モノクロ印刷の場合



①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［黒］を選択します。［色］の設定によって、設定できる条件は異なります。

Win

②印刷モード

印刷モードを選択します。

標準（PC） 標準（プリンタ）	：カラー印刷の場合は、EPSON独自のCPGI（Color Photo & Graphics Improvement）機能により3原色の各色を最大256階調で再現することができ、写真やグラフィックスの微妙な色調やグラデーションを再現して印刷することができます。 印刷データをコンピュータまたはプリンタのどちらで主に処理するかを選択します。 • お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は、［標準（PC）］を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。 • お使いのコンピュータの処理能力が低い場合は、［標準（プリンタ）］を選択してください。コンピュータ側の負荷を軽くすることができます。
標準	：モノクロ印刷の場合は、通常［標準］を選択してください。プリンタドライバの標準モードでモノクロ印刷します。
CRT優先	：印刷データをすべてイメージデータとしてプリンタへ送ります。ほかの印刷モードで印刷しても、画面（CRT）通りの印刷結果が得られない場合に選択します。通常、このモードを選択する必要はありません。



- **［CRT優先］を選択した場合、［割り付け］、［スタンプマーク］、［フォームオーバーレイ］、［オートフォトファイン!3］、［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］は選択できません。**
- **［標準（PC）］を選択した場合、［フォームオーバーレイ］と［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］は選択できません。**

③解像度

印刷の解像度を［標準］（300DPI）または［高品質］（600DPI）のどちらかに設定できます。

［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］に設定してください。



印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、解像度を［標準］に設定してください。

④スクリーン(カラー印刷のみ)

スクリーン線数（LPI）を選択します。

自動　：スクリーン線数を自動的に設定します。

解像度優先　：スクリーン線数を268LPIに設定し、解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

階調優先　：スクリーン線数を165LPIに設定し、階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。



- **［環境設定］－［拡張設定］－［紙種］で［OHPシート］を選択している場合は、OHPシート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。**
- **⑦の色補正方法で［色補正なし］を選択している場合、［自動］は表示されません。**

⑤トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷し、モノクロ印刷時は輪郭部分のみを濃く印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。



カラー印刷の場合、トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑥RIT

クリックしてチェックマークを付けると、RIT[*1]（Resolution Improvement Technology）機能が有効になり、大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。



- **RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。**
- **カラー印刷の場合、④のスクリーンの関係でRIT機能が有効にならない場合があります。**

⑦ドライバによる色補正

プリンタドライバによるカラー調整を行います。[ドライバによる色補正]を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整できます。

色補正方法　：色の補正方法を選択できます。（モノクロ印刷では設定できません。）

- [自動（自然な色合い優先）]
  文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
- [自動（鮮やかさ優先）]
  文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
- [自然な色合い]
  より自然な発色になるようにカラー調整します。
- [鮮やかな色合い]
  より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
- [色補正なし]
  カラー調整しません。ICM用プロファイル*1を作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

*1 プロファイル：色補正データが記録されているファイル。

明度　：画像全体の明るさを調整します。

コントラスト　：画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度　：画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。（モノクロ印刷では設定できません。）

シアン
マゼンタ
イエロー　：各色の強さを調整します。（モノクロ印刷では設定できません。）

	-25	←0→	+25
シアン	赤みが強くなります。		青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。		赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。		黄色（イエロー）が強くなります。

⑧オートフォトファイン!3(カラー印刷のみ)

EPSON独自のオートフォトファイン!3機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像やPhoto CDのデータなどを自動的に補正して印刷します。[オートフォトファイン!3]を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整します。



色調	:色調を調整します。 • [標準] エプソン標準の色調に調整して印刷します。 • [硬調] メリハリのある色調に調整して印刷します。 • [セピア] セピア調の色調に調整して印刷します。
デジタルカメラ用補正	:デジタルカメラで撮った写真に対して最適な色補正を行う場合に、選択します。
シャープネス	:画像の輪郭を強調する場合に選択します。

⑨ICM(カラー印刷のみ)

Windows95/98のICM(Image Color Matchiing)機能を使用して、スキャナから取り込んだ画像とプリンタの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します。

⑩sRGB(カラー印刷のみ)

スキャナやディスプレイなどがsRGBに対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング(色合わせ)を行って印刷します。

ユーザー設定の保存方法

ここでは、［詳細設定］ダイアログの設定を保存する方法、また、以前に保存した設定を削除する方法を説明します。

1 **［詳細設定］ダイアログで各項目を設定し、OKボタンをクリックします。**



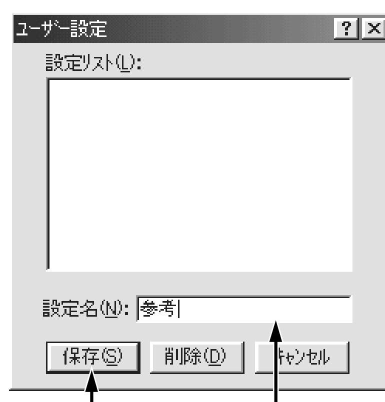
クリックします

2 **保存 / 削除 ボタンをクリックします。**



クリックします

3 **［設定名］に任意の名称を入力し、保存 ボタンをクリックします。**
設定を削除する場合は、［設定リスト］から削除する設定名をクリックして選択し、削除 ボタンをクリックします。



②クリックします　①入力し

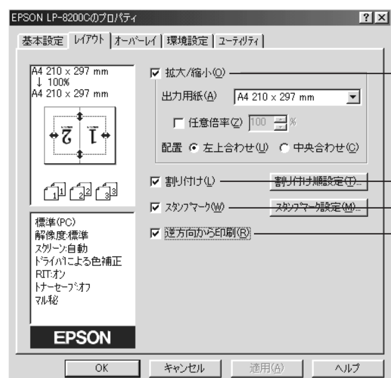
これで［基本設定］ダイアログのプリセットメニューに設定が追加されました。



レイアウトの設定

[レイアウト]ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。



Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合の画面



WindowsNT4.0で［レイアウト］ダイアログを開くには、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。
☞本書「プリンタドライバの設定」23 ページ

① 拡大/縮小

拡大または縮小して印刷することができます。チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、拡大縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。

出力用紙　：プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、その用紙サイズをリストから選択します。拡大縮小率はその下の［任意倍率］ボックスに表示されます。

任意倍率　：チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、50%〜200%までの任意の倍率を 1%単位で設定できます。この場合、フィットページ印刷は行われません。

配置　：フィットページ印刷をする場合、ページのどこに印刷するか、［左上合わせ］または［中央合わせ］のどちらかを選択します。



拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。

Win

②割り付け

2ページまたは4ページ分の連続したデータを、1ページに納まるように縮小して印刷する機能を割り付け印刷といいます。

割り付けるページ数と順序を設定するには、割り付け順設定ボタンをクリックします。

［割り付け順設定］ダイアログ



①面数
1枚の用紙に割り付ける面数（ページ数）を選択します。

② 割り付け順序
割り付けた面（ページ）を、どのような順番で配置するか選択します。面数、用紙の向き（縦・横）によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

③枠を印刷
割り付けた面（ページ）の周りに枠線を印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。

③スタンプマーク

印刷データに ㊙ などのイメージを重ね合わせて印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

印刷するスタンプマークを設定するには、スタンプマーク設定ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書「スタンプマークを印刷するには」37 ページ

④逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。


ポイント

封筒に印刷する場合、封筒のフラップ（閉じ口）を開き、給紙方向に対して後ろに向けてセットする必要があります。そのため、封筒に印刷する場合は、［逆方向から印刷］を選択してください。

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで スタンプマーク設定 ボタンをクリックすると、［スタンプマーク］ダイアログが開きます。



①プレビュー部

選択しているスタンプマークのイメージが表示されます。

②スタンプ名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③1ページ目のみ印刷

クリックしてチェックマークを付けると、用紙の1ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

④ビットマップ設定

追加 / 削除 ボタンをクリックし、［ユーザー設定］ダイアログでスタンプマークの名前を登録すると、スタンプマークのファイルを選択できるようになります。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトであらかじめ作成して、BMP[*1] 形式で保存しておきます。（最大保存数は 20）

*1 BMP：画像データを保存する際のファイル形式の1つ。

ファイル名　：設定 ボタンをクリックして BMP ファイルを指定すると、ファイル名とディレクトリ名が表示されます。

設定　：BMP ファイルを新しいスタンプマークとして登録する場合にクリックします。

⑤カラー設定

カラー　：スタンプマークの印刷カラーをリストボックスから選択します。ただし、新規に登録したスタンプマークの色指定はできません。

濃度　：マークの印刷濃度を調整します。ただし、新規に登録したスタンプマークの濃度は調整できません。

⑥サイズ設定

印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑦位置

スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット

［位置］で選択した印刷位置からのオフセット量を調節します。

横　：横方向のオフセット量を調節します。スライドバーを［左］側に移動するとより左に、［右］側に移動するとより右にスタンプマークが印刷されます。

縦　：縦方向のオフセット量を調節します。スライドバーを［上］側に移動するとより上に、［下］側に移動するとより下にスタンプマークが印刷されます。



［サイズ設定］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を超えないように注意してください。

⑨ 追加/削除 ボタン

オリジナルのスタンプマークを登録したり削除するには、追加 / 削除 ボタンをクリックして［ユーザー設定］ダイアログを開きます。登録 / 削除の手順については、以下を参照してください。

オリジナルスタンプマークを登録/削除するには

1 **アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP形式で保存します。**

2 **［スタンプマーク］ダイアログを開いて、追加 / 削除 ボタンをクリックします。**



Win

3 **［設定名］に任意の名称を入力して保存ボタンをクリックします。**
登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［設定リスト］から選んで削除ボタンをクリックします。



②クリックします　①入力して

4 **3 で登録したスタンプ名を選択して、設定ボタンをクリックします。**



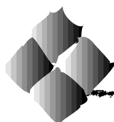
①選択して　②クリックします

5 **1 で保存したファイルを選択し、OKボタンをクリックします。**
これで［スタンプ名］のリストにオリジナルスタンプマークが登録されました。



①選択して　②クリックします

6 **［スタンプマーク］ダイアログでOKボタンをクリックします。**
画面左側のプレビュー部に登録したスタンプマークのイメージが表示されていることを確認してください。

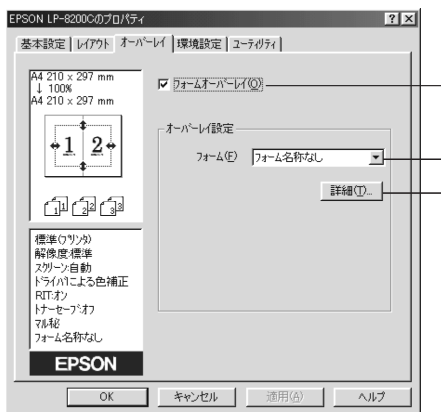


フォームオーバーレイ印刷

フォームオーバーレイ印刷とは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能です。
この機能を利用することにより、あらかじめ印刷された帳票を用意しなくても、高速に印刷することができます。

本ドライバにはフォームデータは添付されていません。フォームデータの作成、編集などを行うには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティ EPSON Form!（3 以降のバージョン）が必要です。詳細については、EPSON Form!（3以降のバージョン）に添付の取扱説明書を参照してください。

［オーバーレイ］ダイアログ



Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合の画面



WindowsNT4.0 で［オーバーレイ］プロパティを開くには、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。
☞本書「プリンタドライバの設定」23 ページ

①フォームオーバーレイ

クリックしてチェックマークを付けると、［フォーム］のリストボックスで指定したフォームデータを重ね合わせて印刷します。

②フォーム

EPSON Form!（3以降のバージョン）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示されません。

③ 詳細 ボタン

上記の［フォーム］リストでフォーム名を選択して 詳細 ボタンをクリックすると、［フォーム詳細］ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。

上記の［フォーム］リストで［フォーム名称なし］を選択して 詳細 ボタンをクリックした場合は、［フォーム指定］ダイアログが開きます。EPSON Form!（3 以降のバージョン）で作成したフォームファイルやオプションの ROM モジュールに登録したフォームを指定できます。

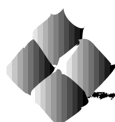


コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、［ファイル指定］をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。（参照 ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。）

プリンタに装着したオプションのROMモジュールにフォームを登録している場合は、［ROM モジュール指定］を選択できます。［ROM モジュール指定］をクリックしてから、使用するフォームの登録番号をリストから選択してください。ROMモジュールの情報を登録している場合は、情報印刷 ボタンをクリックして、ROM モジュールに登録しているフォームの情報を印刷して確かめることができます。



フォームオーバーレイ ROM モジュールに登録されているフォームデータを選択するには、フォームオーバーレイ ROM モジュールが使用できるようにプリンタドライバ上で設定する必要があります。
☞セットアップガイド「オプションと給紙装置の設定」47 ページ



プリンタの環境設定

Win

[環境設定]ダイアログ


ポイント

いくつかの設定項目は、[プリンタ]フォルダからプリンタドライバの[環境設定]ダイアログを開かないと設定できません。[プリンタ]フォルダから開く場合は、以下の手順に従ってください。
①Windowsの スタート ボタンをクリックし、[設定]にカーソルを合わせて、[プリンタ]をクリックします。
②[EPSON LP-8200C]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

Windows95/98

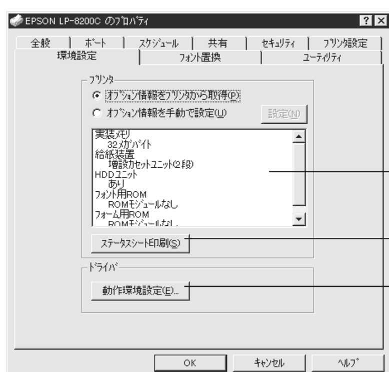


［プリンタ］フォルダから開いた場合

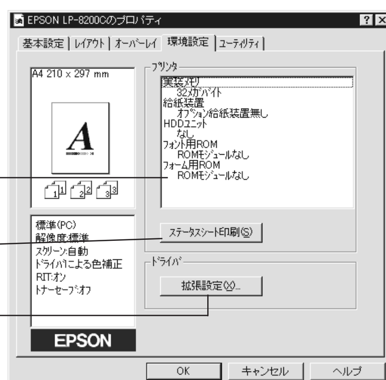


アプリケーションソフトから開いた場合

WindowsNT4.0



［プリンタ］フォルダから開いた場合



アプリケーションソフトから開いた場合

①プリンタオプション情報

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置、ハードディスク、フォント ROM モジュール、フォーム ROM モジュール）の有無を表示します。

オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

オプション情報をプリンタから取得	：EPSON プリンタウィンドウ!3 をインストールしていれば、プリンタドライバが自動的にオプションの状態を確認します。
オプション情報を手動で設定	：設定 ボタンをクリックして、［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。



ポイント

- **オプションの設定方法については、以下のページを参照してください。**
  ☞セットアップガイド「オプションと給紙装置の設定」47 ページ
- **アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合、最新のオプション情報は表示されません。また、設定 ボタンも表示されません。**

② ステータスシート印刷 ボタン

プリンタの状態を記載したステータスシートを印刷します。

③ 拡張設定 ボタン

TrueTypeフォントの置き換え、印刷位置を調整するオフセット値、用紙の種類、カラー / モノクロの自動判別、用紙サイズのチェック、白紙節約機能の設定を行うには、拡張設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞本書「［拡張設定］ダイアログ」45 ページ

④ 動作環境設定 ボタン

印刷データを一時的に保存するフォルダを指定するには、動作環境設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞本書「［動作環境設定］ダイアログ」48 ページ

[実装オプション設定]ダイアログ

[プリンタ] フォルダから [環境設定] ダイアログを開き、[オプション情報を手動で取得] をクリックして 設定 ボタンをクリックすると、[実装オプション設定]ダイアログが開きます。



①実装メモリ

標準メモリと増設したメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイトです。

②オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、[オプション給紙装置無し] をクリックして選択します。

オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。


ポイント

WindowsNT4.0 の場合、選択したオプション給紙装置の用紙サイズを [プリンタ設定] ダイアログで設定します。
本書「給紙装置の用紙設定（WindowsNT4.0 のみ）」49 ページ

③オプションROMモジュール

オプション ROM モジュールを装着している場合は、装着した ROM モジュール名をクリックして選択します。2 つまで選択できます。選択を解除するには、再クリックします。

オプションROMモジュールを装着していない場合は、[ROMモジュールなし] をクリックして選択します。

④HDDユニット

オプションのハードディスクユニットをプリンタに装着した場合は、クリックしてチェックマークを付けます。


ポイント

OK ボタンを押すことにより、設定内容が有効になります。

[拡張設定]ダイアログ

[環境設定］ダイアログで 拡張設定 ボタンをクリックすると、[拡張設定]ダイアログが開きます。



①TrueTypeフォント

TrueTypeフォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

TrueType フォントでそのまま印刷 ：TrueType フォントをそのまま印刷します。

指定したフォントだけプリンタフォントで印刷 ：TrueType フォントを、[フォントの置換設定］ダイアログで指定したプリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。[フォントの置換設定]ダイアログを開くには、フォント設定 ボタンをクリックします。詳しくは以下のページを参照してください。

☞本書「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える」47 ページ


ポイント

- **Windows95/98の場合、[プリンタ] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いてください。アプリケーションソフトから開いても、フォントの置き換えは指定できません。**
- **WindowsNT4.0の場合、[プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、[フォント置換］タブでフォントの置き換えを指定します。[拡張設定］ダイアログの フォント設定 ボタンをクリックしても、置き換えフォントのリストを表示するだけで、実際に置き換えるフォントは指定できません。**

②オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置） ：-5mm（上方向）～ 6mm（下方向）

左（水平位置） ：-5mm（左方向）～ 6mm（右方向）

③紙種

厚紙やOHP シートなど用紙の種類を設定します。通常は［普通］を選択してください。

普通	：普通紙、再生紙などを使用する場合に選択します。
厚紙	：厚紙を使用する場合に選択します。
OHP シート	：OHP シートを使用する場合に選択します。


ポイント

使用する用紙に合わせて［紙種］を正しく設定しないと、印刷品質が劣化することがあります。

④カラー/モノクロの自動判別を行う

クリックしてチェックマークを付けると､印刷データをカラーまたはモノクロのどちらかに自動的に判別して印刷します。

⑤用紙サイズのチェックをしない

クリックしてチェックマークを付けると､選択した給紙装置にセットされている用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷しても､用紙サイズエラーにはなりません。

⑥白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します｡クリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑦ 初期値にする ボタン

［拡張設定］ダイアログの設定を初期値に戻すには､初期値にする ボタンをクリックします。

TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える

Windows95/98とWindowsNT4.0では、フォント置き換えを設定するダイアログが違います。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってください。


ポイント

［詳細設定］-［印刷モード］で［標準（PC)］または［CRT優先］を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

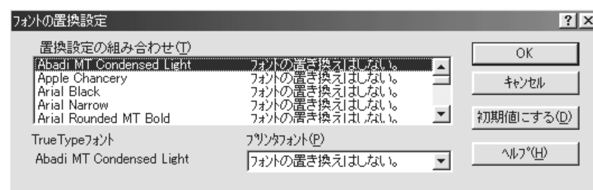
1 **［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開きます。**

2 **フォントを置き換えるためのダイアログを開きます。**

Windows95/98 の場合

① ［環境設定］タブをクリックして開き、拡張設定 ボタンをクリックします。

② ［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］をクリックし、フォント設定 ボタンをクリックします。



WindowsNT4.0 の場合

［フォント置換］タブをクリックします。



3 **［置換設定の組み合わせ］リストの中から、TrueTypeフォントをクリックして選択します。**

4 **［プリンタフォント］リストから、置き換えるプリンタフォントをクリックして選択します。**

5 **3 と 4 をくりかえして置き換えるフォントをすべて設定したら、OK ボタンをクリックして作業を終了します。**

[動作環境設定]ダイアログ

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］ダイアログを開くと、動作環境設定 ボタンがあります。このボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。



Windows95/98 の場合、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］ダイアログを開いても設定できます。



① フォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定します。通常は、設定の必要はありません。



- **Windows95/98 でハードディスクドライブが 1 台のみの場合は、表示されません。**
- **印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択することにより印刷ができるようになります。**

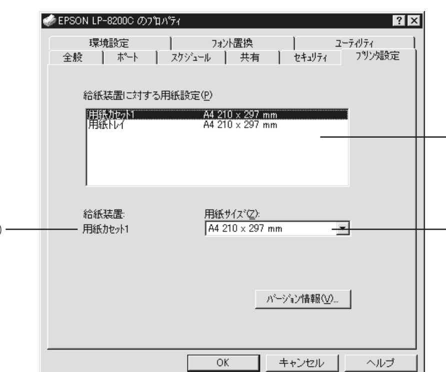


給紙装置の用紙設定（WindowsNT4.0のみ）

Win

［プリンタ設定］ダイアログ

WindowsNT4.0の場合、［プリンタ］フォルダからプリンタプロパティを開いた場合、［プリンタ設定］ダイアログがあります。標準の給紙装置だけでなく、オプションとして取り付けた給紙装置の用紙サイズを設定してください。





- **Windows95/98では設定しません。**
- **アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開いた場合は、設定できません。**

①給紙装置に対する用紙設定

プリンタに装着している給紙装置とその用紙サイズを表示します。［用紙カセット 1］と［用紙トレイ］は標準の給紙装置です。

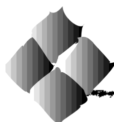
そのほかの［用紙カセット2～4］は、オプション給紙装置を取り付けた場合にのみ表示されます。オプション給紙装置は、上から2～4と番号で特定されます。

②給紙装置

［給紙装置に対する用紙設定］リストでクリックして選択した給紙装置の名前が表示されます。

③用紙サイズ

［給紙装置に対する用紙設定］リストでクリックして選択した給紙装置に対して、リストから用紙サイズを選択して設定します。

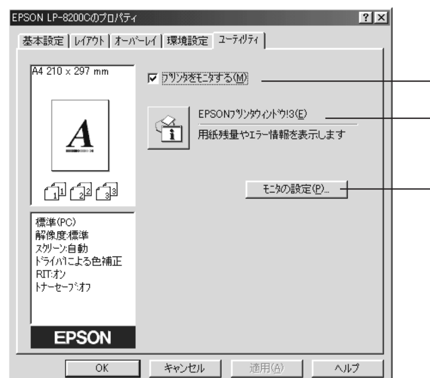


ユーティリティの起動

Win

[ユーティリティ]ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSON プリンタウィンドウ!3 に関わる設定を行います。



①プリンタをモニタする

クリックしてチェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。


ポイント

WindowsNT4.0で、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。

②EPSONプリンタウィンドウ!3

中央のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量がモニタできるEPSON プリンタウィンドウ!3が起動します。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞本書「EPSON プリンタウィンドウ!3」51 ページ

③ モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［モニタ設定］ダイアログを開いてモニタの設定をします。

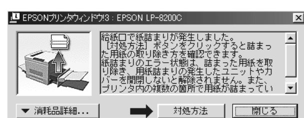
☞本書「モニタの設定」55 ページ



EPSONプリンタウィンドウ!3

EPSONプリンタウィンドウ!3とは

EPSON プリンタウィンドウ!3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、[プリンタ詳細] ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開きエラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。また、プリンタのプロパティやWindowsのタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。



ポップアップウィンドウ
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、対処方法ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。



[プリンタ詳細] ウィンドウ
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

プリンタのプロパティからEPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。

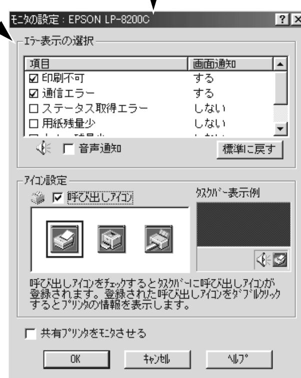


タスクバーの呼び出しアイコンからEPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。



タスクバーの呼び出しアイコンからモニタの設定画面を開くことができます。

プリンタのプロパティからモニタの設定画面を開くことができます。



[モニタの設定] ダイアログ
どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSONプリンタウィンドウ!3を設定することができます。

Win

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、3 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」53 ページ

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ!3］アイコンをクリックします。



クリックします

［方法 2］

モニタの設定で呼び出しアイコンを設定した場合、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてから［EPSON LP-8200C］をクリックします。

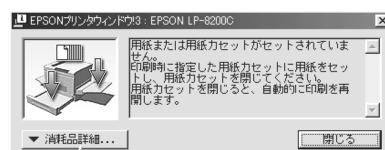
☞本書「モニタの設定」55 ページ



クリックします

［方法 3］

アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、消耗品詳細ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。



クリックします

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。



①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞本書「対処が必要な場合は」54 ページ

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときに 閉じる ボタンをクリックします。

④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（給紙タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤トナー残量

ETカートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

⑥感光体ライフ

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

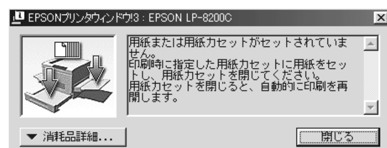
⑦オイルロール

定着オイルロールがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

Win

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。

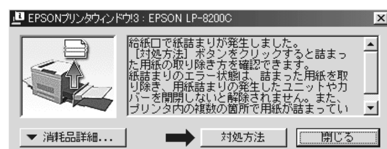


ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

- 消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
  ☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」53 ページ

- 閉じる ボタンをクリックすると、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

- 対処方法 ボタンがある場合は、クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。



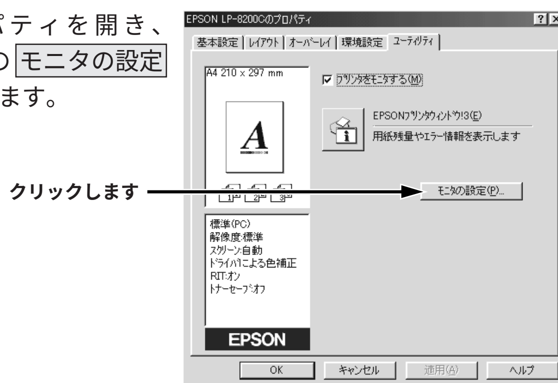
モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。

［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2通りあります。

［方法1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の モニタの設定 ボタンをクリックします。

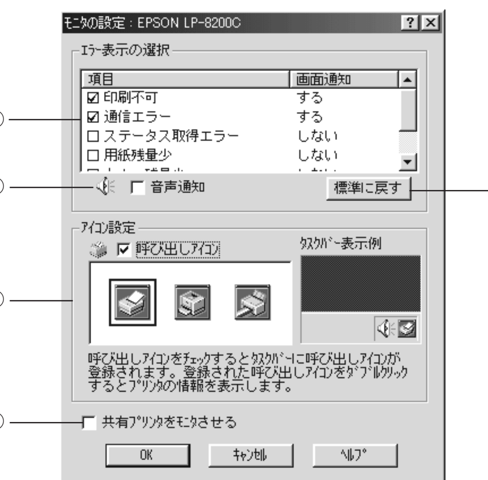


［方法2］

上記［方法1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windows のタスクバーにあるEPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。



[モニタの設定]ダイアログ



①エラー表示の選択

プリンタがエラー状態に陥った場合、ポップアップウィンドウを表示して対処方法を説明します。どのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。画面通知が必要な項目は、クリックしてチェックマークを付けます。

②音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。



お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すには、標準に戻す ボタンをクリックします。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］をクリックしてチェックマークを付けると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

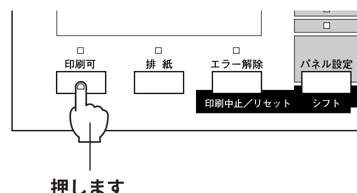
⑤共有プリンタをモニタさせる

クリックしてチェックマークを付けると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。
☞本書「プリンタを共有するには」58 ページ

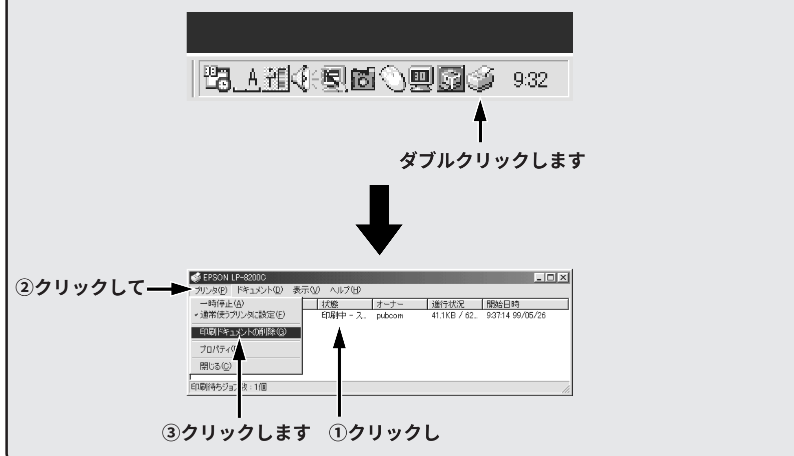


印刷の中止方法

1 **プリンタの 印刷可 スイッチを押します。**
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

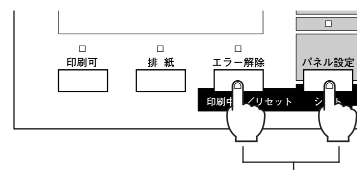


コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。
① Windows のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。
② 中止したい印刷データをクリックして選択し、［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］または［印刷ジョブのクリア］をクリックします。



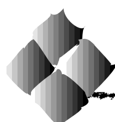
2 **データランプが点滅から、点灯にかわったことを確認します。**
データランプの点滅中は、データを受信しています。データを受信し終えるまでお待ちください。

3 **シフト スイッチと エラー解除 スイッチを同時に押します。**
受信データが消去されます。



ポイント

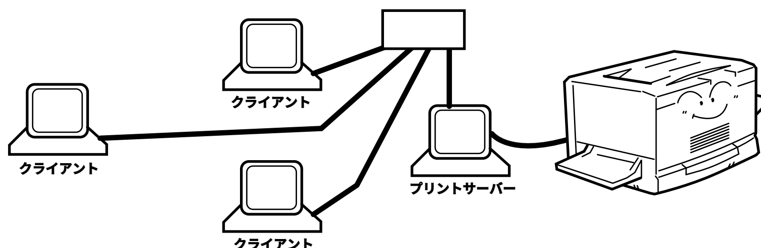
シフト スイッチ＋ エラー解除 スイッチを 5 秒以上押すと電源投入時の状態まで初期化（リセットオール）されますのでご注意ください。
**本書「リセットオールについて」161 ページ**



プリンタを共有するには

Windowsの標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows95/98/NT4.0のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windows の標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。



プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。


ポイント

- **以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。**
- **画面は Microsoft ネットワークの場合です。**

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定方法を説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。

☞ 本書「Windows95/98 の場合」59 ページ
本書「WindowsNT4.0 の場合」62 ページ

クライアントの設定方法については、以下のページを参照してください。

☞ セットアップガイド「ネットワーク接続でのセットアップ」40 ページ

Windows95/98の場合

Windows95/98でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**



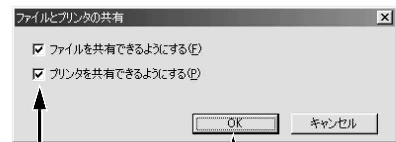
ダブルクリックします

3 **ファイルとプリンタの共有 ボタンをクリックします。**



クリックします

4 **［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、OK ボタンをクリックします。**



①クリックして　②クリックします

5 OK ボタンをクリックします。



クリックします


ポイント

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows95/98のCD-ROMをコンピュータにセットし、OK ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、*1* でコントロールパネルを開いて、*6* から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。



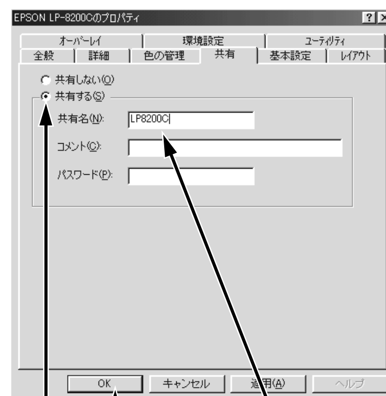
ダブルクリックします

7 ［EPSON LP-8200C］アイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。



①選択して
②クリックし　③クリックします

8 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、OK ボタンをクリックします。**
必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。



①選択して　③クリックします　②入力して


ポイント

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

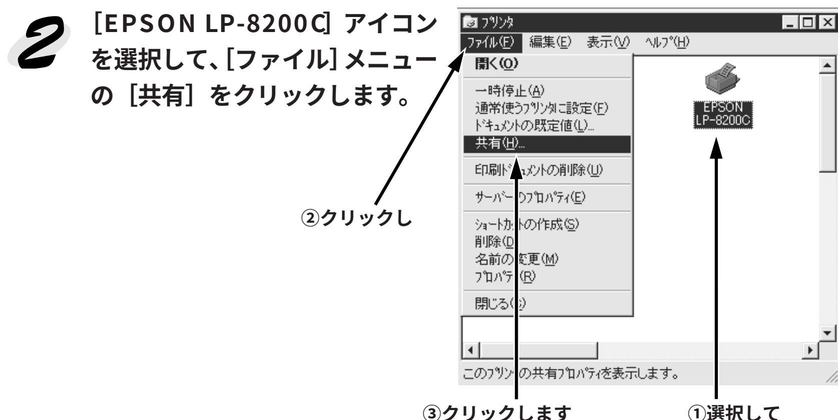
これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定は完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので､以下のページを参照してください。
☞ セットアップガイド「ネットワーク接続でのセットアップ」40 ページ

WindowsNT4.0 の場合

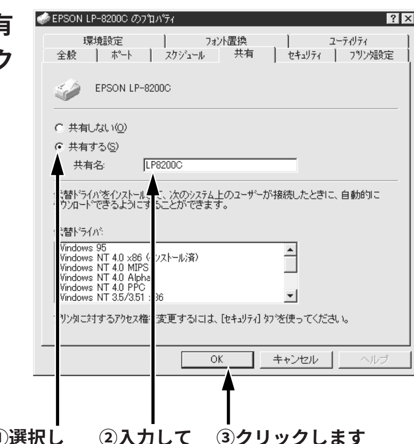
WindowsNT4.0 のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windows の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

2 **［EPSON LP-8200C］アイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。**



3 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、 OK ボタンをクリックします。**





- **エラーが発生する場合がありますので共有名には（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。**
- **［代替ドライバ］は選択しないでください。**

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定は完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。

☞ セットアップガイド「ネットワーク接続でのセットアップ」40 ページ



プリンタ接続先の設定（Windows95/98）

*1 ポート：プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタやソケット。

プリンタを接続しているコンピュータ側のポート[*1]の設定を変更できます。また、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。通常、ポートの設定を変更する必要はありません。必要に応じて、変更してください。

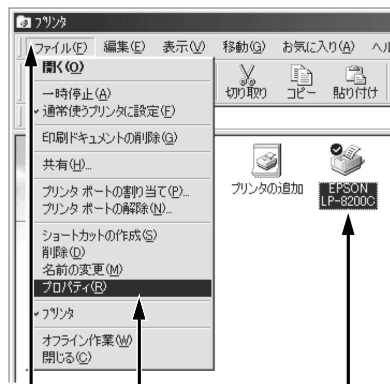
Win


ポイント

- **プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。**
- **ここで設定した内容が、アプリケーションソフトなどからプリンタドライバの設定画面を開いた場合の初期設定値になります。**

1 **Windows の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

2 **［EPSON LP-8200C］アイコンをクリックして選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**



3 **［詳細］タブをクリックし、設定を変更して、 OK ボタンをクリックします。**

これで接続先の設定は終了です。



各項目の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

①印刷先のポート

プリンタを接続したポート(インターフェイス)を選択します。パラレルインターフェイスケーブルをコンピュータのプリンタポートに接続した場合は、LPT1のままでお使いください。

PRN	:	EPSON PCシリーズ/NEC PC-9800シリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。このPRNが表示されない場合は、LPT1を選択します。
LPT	:	プリンタポートです。DOS/Vシリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中のLPT1を選択します。
COM	:	本機では接続できません。
EPT	:	EPSONプリンタでは使用しません。
FILE	:	印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

② ポートの追加

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。

③ ポートの削除

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

④印刷に使用するドライバ

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種のプリンタドライバが選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

⑤ ドライバの追加

プリンタドライバを追加するときにクリックします。

⑥ プリンタポートの割り当て

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

⑦ プリンタポートの解除

ネットワークドライブに割り当てたポートを削除するときにクリックします。

⑧タイムアウト設定

タイムアウトの［未選択時］、［送信の再試行時］の時間を設定します。

未選択時：
プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。ここで設定した時間を経過してもプリンタが印刷できる状態にならないと、エラーが表示されます。

送信の再試行時：
プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。ここで設定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。

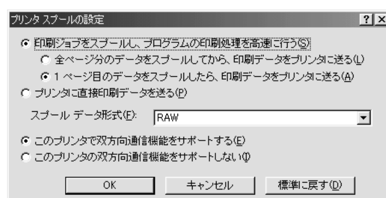


- **ポートによっては、タイムアウト時間が変更できない場合があります。**
- **通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合などに、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に［送信の再試行時］を長く設定してください。**

⑨ スプールの設定

印刷データのスプール[*1]方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。

*1 スプール：データを一時的にディスクに保存し、そこからプリンタへデータを送るデータ転送の方法。これにより印刷中もコンピュータは別の作業をすることができる。



印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う：
印刷データのスプール方法には、２つの方法がありますが、どちらを選択しても印刷速度は変わりません。

プリンタに直接印刷データを送る：
印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。

このプリンタで双方向通信機能をサポートする：（ローカル接続時）
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように設定します。本機を使用する場合は必ずこの設定にしてください。

このプリンタで双方向通信機能をサポートしない：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように設定します。本機を使用する場合は設定しないでください。

⑩ ポートの設定

通常は変更する必要はありません。

MS-DOS の印刷ジョブをスプール：
MS-DOS アプリケーションの印刷データを Windows でスプールします。

印刷前にポートの状態をチェック：
印刷先のポートが印刷可能な状態なのかどうかを、印刷を行う前にチェックします。



プリンタソフトウェアの削除

Win

ドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。ここでは、Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ!3）を削除します。



ポイント

- **プリンタドライバを削除すると、同時に専用の EPSON プリンタウィンドウ!3 も削除することができます。**
- **EPSON LP-8200C プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。**

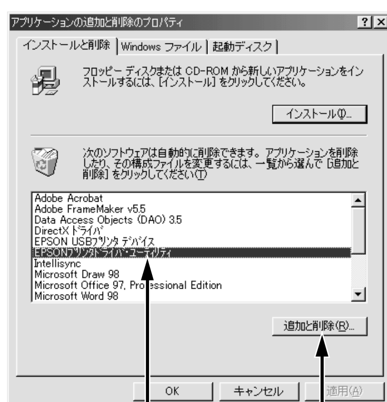
1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。**

3 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

ダブルクリックします

4 **［EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックしてから、追加と削除 ボタンをクリックします。**



①クリックして　②クリックします

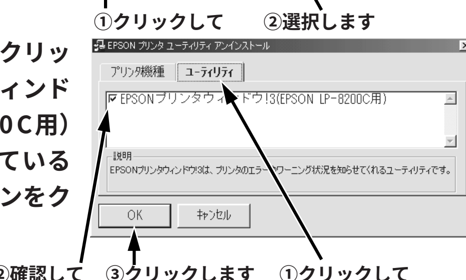
Win

5 **［プリンタ機種］タブをクリックし、［EPSON LP-8200C］アイコンを選択します。**



①クリックして　②選択します

6 **［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSONプリンタウィンドウ!3（EPSON LP-8200C用）にチェックマークが付いていることを確認して OK ボタンをクリックします。**



7 **削除確認のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。**

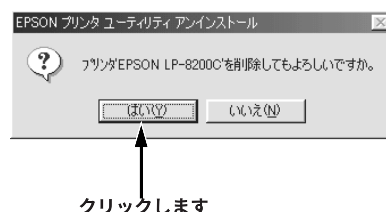
EPSON プリンタウィンドウ!3（EPSON LP-8200C 用）の削除が始まります。



クリックします

8 **削除確認のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が始まります。

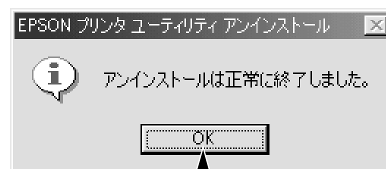



ポイント

- **関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。**
- **削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。**

9 **終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。**

これでプリンタドライバの削除は終了です。



クリックします

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

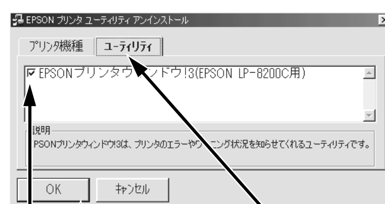
EPSONプリンタウィンドウ!3だけの削除

LP-8200C専用のEPSONプリンタウィンドウ!3だけを削除することもできます。67 ページの手順4に続いて、以下の作業を行ってください。

5 **［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして、何も選択されていない状態にします。**



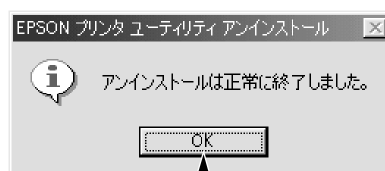
6 **［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSONプリンタウィンドウ!3（EPSON LP-8200C用）］をクリックしてチェックマークを付け、OK ボタンをクリックします。**



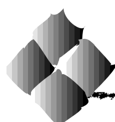
7 **削除確認のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。**
EPSON プリンタウィンドウ!3（EPSON LP-8200C 用）の削除が始まります。



8 **終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。**
これでEPSONプリンタウィンドウ!3（EPSON LP-8200C 用）の削除は終了です。



EPSON プリンタウィンドウ!3 を再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。



EPSONバーコードフォント

Win

バーコードフォントについて

EPSONバーコードフォントは、各種のバーコードを簡単に作成、印刷するためのものです。

通常の場合、バーコードを作成するにはデータキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B[*1]（バーコード下部の文字）を指定する必要がありますが、EPSONバーコードフォントの場合はこれらのコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを作成、印刷します。このためEPSONバーコードフォントでは、データキャラクタとして必要な文字のみを入力することでバーコードシンボルの作成を簡単に行うことができます。

EPSONバーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。

*1 OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発されJISX9001に規定された書体の名称。

*2 チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット[*2]	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-Aのバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-Eのバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7 (CODABAR)	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	1998年2月からの新郵便番号への変更に伴い、郵便物の宛先をバーコードで扱えるようになります。この新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷する際は、プリンタドライバ上で次のように設定してください。

色	：黒
印刷モード	：標準
解像度	：高品質（600DPI）
トナーセーブ機能	：OFF
拡大 / 縮小印刷	：OFF

文字の装飾/配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーラインなど）、網掛けは行わないでください。
- 色刷色、背景色について、黒と白のみ指定してください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更を行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみの拡大 / 縮小機能の禁止
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能禁止（例＜＝＞ ⇨ ⇔ ）

入力時の注意について

- バーコードに変換する文字は、半角文字で入力してください。
- Code39、Code128 において、1 つの行に 2 つ以上のバーコードを印刷する場合、バーコードとバーコードの間はTAB で区切ってください。スペース（空白）で区切る場合はバーコードフォント以外の書体を選択してスペースを入力してください。
  バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトで改行を示すマークの表示／非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお薦めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。
  バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。

- Code39、Code128、Interleaved 2of5、NW-7は、バーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるようにサイズを自動調整します。
  このため印刷されるバーコードの高さが入力時よりも下方向に大きくなる場合があるため、バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- Code128において、アプリケーションソフトが行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数のスペースをタブに置き換えるなどの処理を自動的に行うと、スペースを含むCode128のバーコードは正しく出力されないことがあります。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお薦めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  ☞本書「各バーコードについて」76ページ



印刷されたバーコードは、トナーの濃度や紙質によって全ての読み取り機では読み取れない場合があります。ご利用の際は、読み取り機でのご確認をお薦めします。

システム条件

EPSONバーコードフォントをご利用いただくには、Windowsでのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。
☞セットアップガイド「システム条件の確認」36ページ

ハードディスク	：15～30KBの空き容量（書体ごとに異なります。）
プリンタの動作モード	：ESC/Pageモード



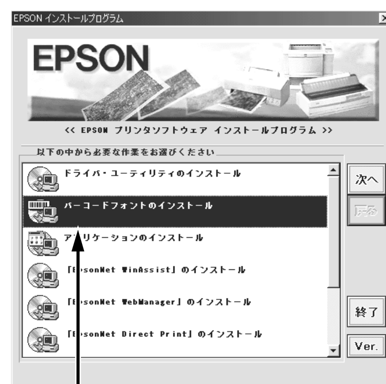
バーコードフォントは、プリンタドライバでモノクロ印刷に設定して印刷してください。カラー印刷に設定している場合、バーコードを黒で印刷しても正しく読みとられない場合があります。

EPSONバーコードフォントのインストール

1 コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

2 EPSONカラープリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。

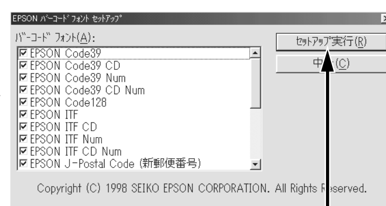
3 バーコードフォントのインストール をダブルクリックします。
＜画面は、Windows98 の場合です＞



ダブルクリックします

上記の画面が自動的に表示されない場合は、[マイコンピュータ] をダブルクリックして、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 インストールするバーコードフォントをクリックしてチェックし、セットアップ実行 ボタンをクリックします。



クリックします

これで、EPSON バーコードフォントが、Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

ここではWindowsに添付の「ワードパッド」を例に、EPSONバーコードフォントを使用して、バーコードの印刷の手順を説明します。

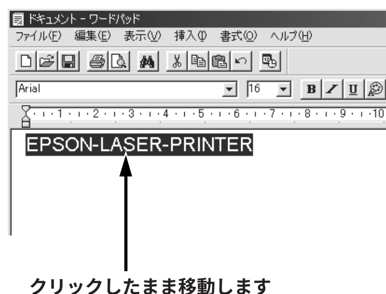
1 **「ワードパッド」を起動し、バーコード変換する文字を入力します。**



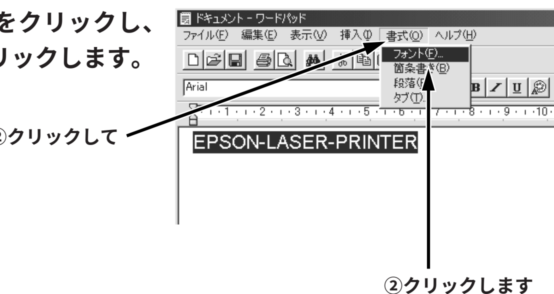

ポイント

文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

2 **入力した文字をマウスでドラッグして選択します。**
選択した範囲が反転表示になります。



3 **「書式」メニューをクリックし、「フォント」をクリックします。**



Win

4 ［フォント名］の一覧から印刷したいEPSONバーコードフォントを選択し、［サイズ］でフォントのサイズを設定し、OK ボタンをクリックします。


①選択して　②選択して　③クリックします


ポイント

WindowsNT4.0では96pt以上のフォントは使用できません。

5 入力した文字がバーコードフォントに置き換わり、画面上で次のように表示されます。



6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。


ポイント

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

Win

各バーコードについて

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細／構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 • EPSONバーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	52pt ～ 130pt。（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt です。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • センターバー　• チェックキャラクタ • OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
• JAN-8 Short は JAN-8 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-8 と同じ仕様です。 • バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 • 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	36pt ～ 90pt。 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt です。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • センターバー　• チェックキャラクタ • OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

JAN-13（標準バージョン）			
・JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。 ・EPSONバーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	12 桁		
キャラクタのサイズ	60pt ～ 150pt。（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt です。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン ・レフト / ライトガードバー ・センターバー ・チェックキャラクタ ・OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
・JAN-13 Short は JAN-13 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-13 と同じ仕様です。 ・バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 ・日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	12 桁		
キャラクタのサイズ	36pt ～ 90pt。 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt です。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン ・レフト / ライトガードバー ・センターバー ・チェックキャラクタ ・OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 Short に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

UPC-A			
• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。（UPC Symbol Specification Manual） • Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	11 桁		
キャラクタのサイズ	60pt ～ 150pt。（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt です。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • センターバー • チェックデジット • OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON UPC-A に変換	印刷
	12345678901	12345678901	1 23456 78901 2

UPC-E			
UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	6 桁		
キャラクタのサイズ	60pt ～ 150pt。（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt です。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • ナンバーシステム「0」のみ			
印刷例	入力時	EPSON UPC-E に変換	印刷
	123456	123456	0 123456 5

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode39の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- Code39ではスペースを“ _ ”(アンダーライン) に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“ _ ” (アンダーライン) を入力してください。
- Code39 で 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">英数字（A ～ Z、0 ～ 9）
記号（－　.　スペース　$　／　＋　%）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B なしの場合 ： 26pt 以上。
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
（WindowsNT は 96pt まで）
OCR-B ありの場合 ： 26pt 以上。
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt（WindowsNT は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

Win

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">
• Code128は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
• EPSONバーコードフォントはコードセットA、B、Cをサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode128の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
• Code128で1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">全てのASCII文字（95文字）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">26pt～104pt。(WindowsNTは96ptまで)
保証サイズは26pt、52pt、78pt、104ptです。</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ
• チェックデジット　• コードセットの変更キャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。(WindowsNT は 96pt まで)
OCR-Bなし：26pt以上。保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt。
OCR-Bあり：36pt以上。保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt。</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート / ストップキャラクタ
• チェックデジット
• 文字列先頭への 0 の挿入
（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7(CODABAR)</th></tr>
<tr><td colspan="4">• NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON バーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
• スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）、記号（－　$　：　/　.　＋）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。(WindowsNT は 96pt まで)
OCR-Bなし：26pt以上。保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt。
OCR-Bあり：36pt以上。保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt。</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート/ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON W-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• 1998年2月2日より、郵便番号が新しくなります。これに伴い、郵便番号と住所をバーコードでハガキや封筒に印刷して発送することができるようになります。
• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）－新郵便番号（4 桁）－住所表示番号（ﾊﾞｰｺｰﾄﾞに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z）、記号（－）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後 13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">8pt ～ 11.5pt。
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt です。</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時の－（ハイフォン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 － 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

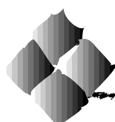
第3章

Macintoshからの印刷

LP-8200C

Printing on Macintosh

ここでは、Macintoshからの印刷方法とユーティリティについて説明します。



印刷までの流れ

セレクタでLP-8200C（AT）を選択します

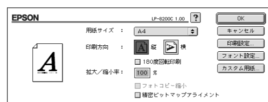
1



☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」55ページ

用紙を設定して印刷データを作成します

2



アプリケーションソフトを起動してから用紙サイズを設定します。その後、印刷データを作成します。

☞本書「用紙設定の手順」85 ページ
☞本書「用紙の設定」87 ページ

※ 操作パネルで設定できる項目と重複するもの（トレイ紙サイズを除く）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

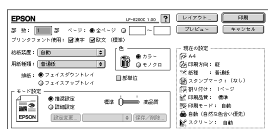
プリンタの電源をオンにして用紙をセットします

3

☞セットアップガイド「用紙のセット」24 ページ
☞本書「用紙について」2 ページ

プリンタドライバで印刷条件を設定します

4



☞本書「印刷設定の手順」86 ページ
「印刷の設定」92 ページ

※ 操作パネルで設定できる項目と重複するもの（トレイ紙サイズを除く）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

印刷を実行します

5

☞本書「印刷設定の手順」86 ページ
☞本書「印刷の中止方法」116 ページ



印刷の手順

ここでは、Macintoshアプリケーションソフトでの、基本的な印刷手順について説明します。

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

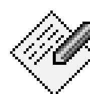
アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。



ポイント

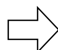
用紙設定をする前にセレクタでLP-8200C用のプリンタドライバを選択してください。
☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」55 ページ

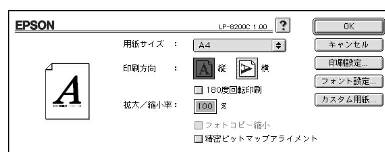
1 **［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。**



2 **［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。**







3 **必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞本書「［用紙設定］ダイアログ」87 ページ
本書「フォント設定の手順」89 ページ
本書「カスタム用紙の設定 / 変更」91 ページ

4 **OK ボタンをクリックして終了します。**

この後、印刷データを作成します。

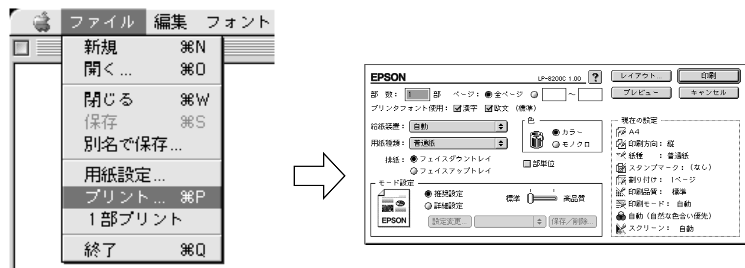
Mac

印刷設定の手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**



2 **印刷に必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞本書「［プリント］ダイアログ」92 ページ
本書「［詳細設定］ダイアログ」97 ページ
本書「［レイアウト］ダイアログ」104 ページ

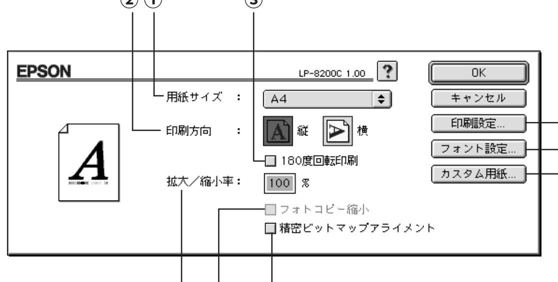
3 **印刷 ボタンをクリックして、印刷を実行します。**



用紙の設定

[用紙設定]ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。



①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、[縦]・[横] のいずれかクリックして選択します。

③180度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。



封筒に印刷する場合、封筒のフラップ（閉じ口）を開き、給紙方向に対して後ろに向けてセットする必要があります。そのため、封筒に印刷する場合は、［180 度回転印刷］を選択してください。

④拡大／縮小率

印刷データを拡大／縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% 〜 400% まで、1% 単位で指定できます。



拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。

⑤フォトコピー縮小

［拡大／縮小率］が 100% 未満の場合にクリックしてチェックマークを付けると、指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、次の［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

クリックしてチェックマークを付けると、印刷領域を約4%縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、［フォトコピー縮小］を選択している場合は、選択できません。

⑦ 印刷設定 ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

☞本書「［プリント］ダイアログ」92 ページ

⑧ フォント設定 ボタン

Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントをプリンタに内蔵されているフォントに置き換えて高速に印刷します。設定方法については、以下のページを参照してください。

☞本書「フォント設定の手順」89 ページ

⑨ カスタム用紙 ボタン

クリックすると［カスタム用紙］ダイアログが表示され、用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

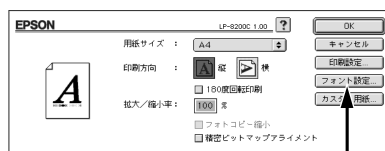
☞本書「カスタム用紙の設定 / 変更」91 ページ

Mac

フォント設定の手順

フォントの置き換えは、Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントを、プリンタに内蔵されているフォントに置き換えて印刷する機能です。この機能を使用すると、印刷速度が速くなります。

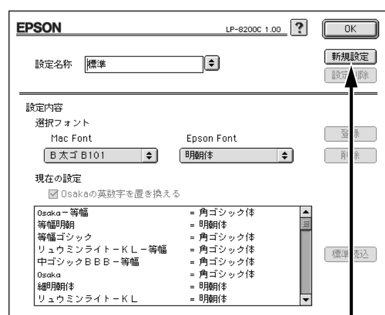
1 **［用紙設定］ダイアログで フォント設定 ボタンをクリックします。**



クリックします

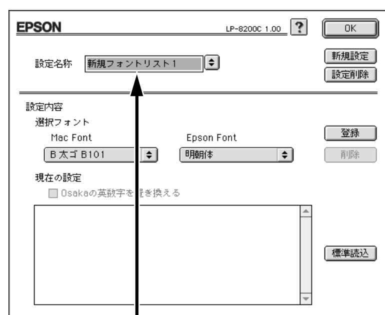
2 **新規設定 ボタンをクリックします。**

- すでに登録されているファイルを変更する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し **4** へ進みます。
- すでに登録されているファイルを削除するには、設定名称のポップアップメニューから選択し、設定削除 ボタンをクリックします。



クリックします

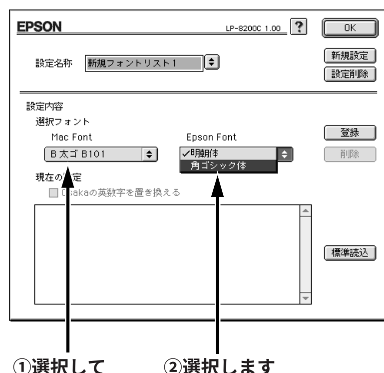
3 **［設定名称］ボックスに、登録名を入力します。**



入力します

4 **[Mac Font] リストから置き換え対象となるフォントを選択し、[Epson Font] リストから置き換えるプリンタフォントを選択します。**

標準読込 ボタンをクリックすると、標準で用意している置き換えフォントの設定を読み込むことができます。





ポイント

[標準] 以外の置き換えフォント登録では、Osaka フォントに限り漢字フォントと英数字フォントを別々に置き換え設定できます。

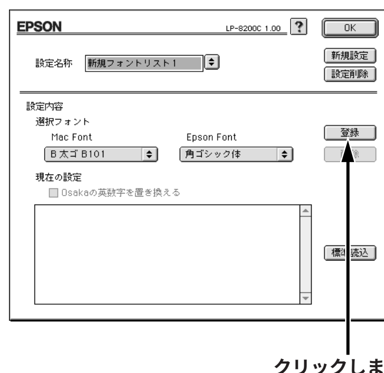
① [Mac Font] リストから Osaka フォントを選択します。

② Osaka の英数フォントを置き換えるには、[Osaka の英数字を置き換える] をクリックしてチェックマークを付けます。Osaka の漢字フォントを置き換えるには、[Osakaの英数字を置き換える] をクリックしてチェックマークを外します。

③ [Epson Font] リストから置き換える英数フォントを選択します。

5 **登録 ボタンをクリックします。**

- [現在の設定] に、登録されます。
- [現在の設定] に登録された置き換えの設定を削除する場合は、[現在の設定] の一覧から選択し、削除 ボタンをクリックします。



6 **ほかに置き換えたいフォントがある場合は、上記 4 と 5 をくりかえします。**

7 **OK ボタンをクリックします。**

以上で、置き換えフォントの登録が保存されました。



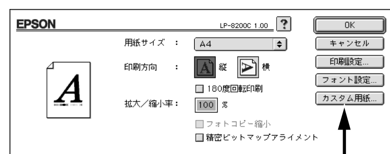
ポイント

- **保存した置換方法を使用する場合は、[設定名称] のポップアップメニューから設定した名称を選択してください。**
- **登録したフォント置換の設定は、[プリント] ダイアログで [プリンタフォント使用] のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。**

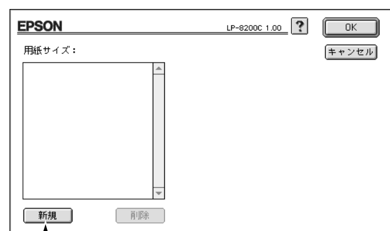
カスタム用紙の設定/変更

不定形の用紙サイズを設定/登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

1 **［用紙設定］ダイアログを開き、カスタム用紙 ボタンをクリックします。**



2 **新規 ボタンをクリックします。**





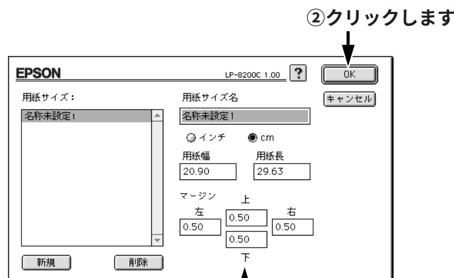
- **登録できる用紙サイズは、64までです。**
- **すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ]一覧から変更したい用紙サイズを選択します。**
- **用紙サイズ名をクリックしてから 削除 ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。**

3 **用紙サイズ名、単位（インチまたはcm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、OK ボタンをクリックします。**

設定できるサイズの範囲は次の通りです。

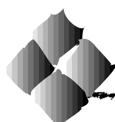
用紙幅：　9.00～32.80cm（3.54～12.91インチ）

用紙長：　13.97～45.30cm（5.5～17.83インチ）





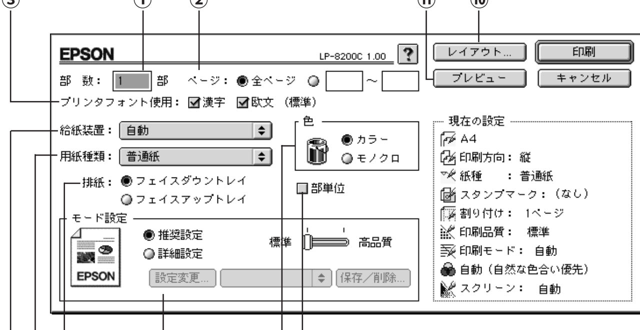
登録したカスタム用紙サイズは、[用紙設定]ダイアログの[用紙サイズ]リストから選択します。



印刷の設定

[プリント]ダイアログ

印刷する際、[プリント] ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。



①部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑧の［部単位］を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は[全ページ]をクリックしてチェックマークを付けます。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを 1 ～ 9999 の範囲で入力します。

③プリンタフォント使用

[フォント設定]ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。
☞本書「フォント設定の手順」89 ページ

漢字	：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文（標準）	：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。


ポイント

［詳細設定］-［印刷モード］で［CRT 優先］を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

④給紙装置

給紙装置を選択します。

自動	：印刷実行時に、[用紙サイズ] で選択したサイズおよび［用紙種類］で選択した用紙種類の用紙がセットされている給紙装置を探し給紙します。
用紙トレイ	：用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ] を選択します。
用紙カセット１	：標準の用紙カセットから給紙する場合は、［用紙カセット 1］を選択します。
用紙カセット２～４	：オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。オプションの用紙カセットは、上から 2、3、4 の番号が割り当てられています。



- **［自動］を選択して拡大／縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。**
- **用紙トレイはセットした用紙サイズを自動的に検知できませんので、必ず「操作パネル」で用紙サイズを設定してください。**
  ☞本書「ワンタッチ設定モード 2 での設定方法」131 ページ
- **指定された用紙がセットされていない、または正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。**

⑤用紙種類

［給紙装置］を［自動］に設定した場合は、給紙する用紙の種類をリストから選択します。[用紙種類] を選択することにより、[用紙サイズ] と [用紙種類］で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。

☞本書「用紙タイプ選択機能」9 ページ



- **［給紙装置］を［自動］以外に設定した場合は、［用紙種類］は設定できません。**
- **操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、[指定しない] を選択してください。**

⑥色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。［色］の設定によって、⑨の［モード設定］の設定が異なります。

⑦排紙

排紙装置を選択します。

フェイスダウントレイ：印刷面を下にして、本体上部のフェイスダウントレイに排紙します。フェイスダウントレイに排紙できる用紙は、B5サイズ以上の普通紙またはEPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙です。これ以外の用紙の場合は、自動的に［フェイスアップトレイ］に切り替わります。

フェイスアップトレイ：印刷面を上にして、本体左側のフェイスアップトレイに排紙します。

⑧部単位

クリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。


ポイント

オプションのハードディスクユニットをプリンタに装着している場合は、ハードディスクにデータを一時保存して部単位印刷を行います。ハードディスクユニットを取り付けていない場合は、設定できません。

⑨モード設定

印刷条件として［推奨設定］または［詳細設定］のどちらかを選択できます。

推奨設定　：一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。［標準］または［高品質］どちらかを選択できます。通常は［標準］の設定で標準的な印刷品質が得られます。［高品質］は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている用途別の選択肢。リストボックスの中に、一覧で表示される。

詳細設定　：［詳細］をクリックすると、プリセットメニュー[*1]のリストボックスと 設定変更 / 保存 / 削除 ボタンが有効になります。設定変更 ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。
詳細については、以下のページを参照してください。
☞本書「［詳細設定］ダイアログ」97 ページ

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン!3	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!3を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ColorSync	ColorSyncによるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

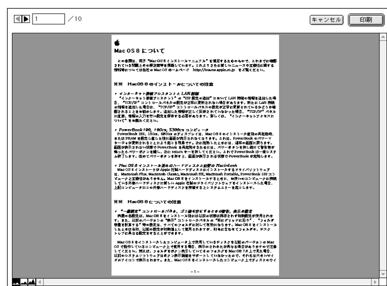
⑩ レイアウト ボタン

ボタンをクリックすると［レイアウト］ダイアログが表示され、レイアウトに関する設定ができます。詳細については、以下のページを参照してください。

☞本書「［レイアウト］ダイアログ」104 ページ

⑪ プレビュー ボタン

ボタンをクリックすると［プレビュー］ダイアログが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。




ポイント

- ［用紙設定］ダイアログで［180度回転印刷］を設定しても、ページを180度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。
- ［詳細設定］ダイアログの［印刷モード］で［自動］を選択している場合、［標準（プリンタ）/CRT優先］のどちらで印刷されているかが表示されます。

 ：表示するページを1ページごとに切り替えるボタンです。

2 ／10 ：表示させるページ番号を直接入力します。

キャンセル ：［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。

印刷 ：印刷を開始するボタンです。

 ：印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。

 ：印刷結果と同等のサイズで表示します。

 ：印刷データを拡大して表示します。

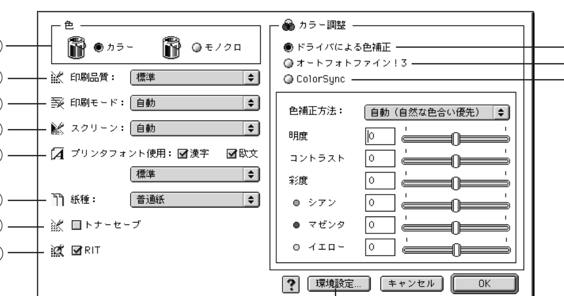
Mac

Mac

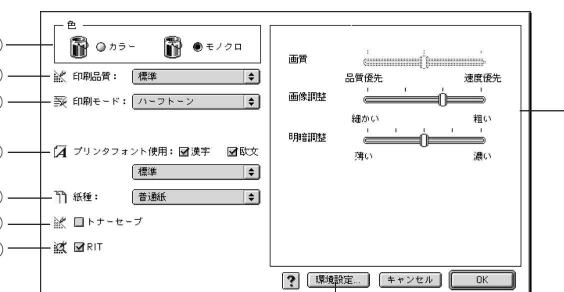
［詳細設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード設定］で［詳細設定］をクリックして 設定変更 ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

カラー印刷の場合



モノクロ印刷の場合



①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。［色］の設定によって、③の［印刷モード］とその調整方法が異なります。

②印刷品質

印刷品質とは印刷解像度のことで、［標準］（300DPI）または［高品質］（600DPI）のどちらかに設定できます。

［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］に設定してください。


ポイント

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、［印刷品質］を［標準］（解像度 300DPI）に設定してください。

Mac

③印刷モード

［印刷モード］は、［色］の設定によって異なります。

■カラー印刷の場合

［色］を［カラー］に設定した場合は、以下の印刷モードが選択できます。

自動	：印刷するデータを見て、［標準（プリンタ）］モードか、［CRT優先］モードかを自動で設定します。
標準（プリンタ）	：EPSON独自のCPGI（Color Photo & Graphics Improvement）機能により3原色の各色を最大256階調で再現することができ、写真やグラフィックスの微妙な色調やグラデーションを再現して印刷することができます。
CRT優先	：印刷データをすべてイメージデータとしてプリンタへ送ります。ほかの印刷モードで印刷しても、画面（CRT）通りの印刷結果が得られない場合や印刷が非常に遅い場合に選択します。


ポイント

「CRT優先」を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

■モノクロ印刷の場合

［色］を［モノクロ］に設定した場合は、グラフィックスイメージを処理する以下の印刷モードが選択できます。

白黒	：モノクロ印刷を行います。グレイスケールや中間色は再現しません。
ハーフトーン	：グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷します。イメージと図形などを重ねて印刷して、モニタ表示と同じように印刷されない場合、［ハーフトーン］を選択してください。
PGI	：PGI*1(Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGIを有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 PGI：
階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するEPSON独自の機能。


ポイント

- プリンタのメモリが少ないと、PGI で印刷できない場合があります。PGI処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質] を [標準] に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、[ハーフトーン] や [PGI] を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は [白黒] に設定して印刷してください。

④スクリーン(カラー印刷のみ)

スクリーン線数 (LPI) を選択します。ほかに設定した印刷条件によっては、グレー表示して設定できない場合があります。

自動　：スクリーン線数を自動的に設定します。

解像度優先　：スクリーン線数を 268LPI に設定し、解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

階調優先　：スクリーン線数を 165LPI に設定し、階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。


ポイント

⑨の色補正方法で [色補正なし] を選択している場合、[自動] は選択できません。

⑤プリンタフォント使用

[フォント設定] ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

☞本書「フォント設定の手順」89 ページ

漢字　：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。

欧文（標準）　：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。


ポイント

③の印刷モードで [CRT優先] を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

Mac

⑥紙種

用紙の種類を設定します。通常は［普通紙］を選択してください。

普通紙	：普通紙、再生紙などを使用する場合に選択します。
厚紙	：厚紙を使用する場合に選択します。
OHP シート	：OHP シートを使用する場合に選択します。


ポイント

使用する用紙に合わせて［紙種］を正しく設定しないと、印刷品質が劣化することがあります。

⑦トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。カラー印刷時は、色の表現力を低く押えて印刷し、モノクロ印刷時は輪郭部分のみを濃く印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

⑧RIT

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。

クリックしてチェックマークを付けると、RIT[*1](Resolution Improvement Technology)機能が有効になり、大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。.


ポイント

RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

⑨ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

クリックしてチェックマークを付けると、プリンタドライバで以下のカラー調整ができます。

色補正方法　：色の補正方法を選択できます。（モノクロ印刷では、設定できません。）

- ［自動（自然な色合い優先）］
  文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
- ［自動（鮮やかさ優先）］
  文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
- ［自然な色合い］
  より自然な発色になるようにカラー調整します。
- ［鮮やかな色合い］
  より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
- ［色補正なし］
  カラー調整しません。ColorSync用プロファイル[*1]を作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

*1 プロファイル：色補正データが記録されているファイル。

明度　：画像全体の明るさを調整します。

コントラスト　：画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度　：画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

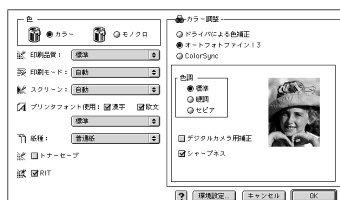
シアン
マゼンタ
イエロー　：各色の強さを調整します

	-25	←0→	+25
シアン	赤みが強くなります。		青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。		赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。		黄色（イエロー）が強くなります。

Mac

⑩ オートフォトファイン!3（カラー印刷のみ）

EPSON独自のオートフォトファイン!3機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像やPhoto CDのデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン!3］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整します。



色調	：色調を調整します。 ・［標準］ エプソン標準の色調に調整して印刷します。 ・［硬調］ メリハリのある色調に調整して印刷します。 ・［セピア］ セピア調の色調に調整して印刷します。
デジタルカメラ用補正	：デジタルカメラで撮った写真に対して最適な色補正を行う場合に、選択します。
シャープネス	：画像の輪郭を強調する場合に選択します。

⑪ ColorSync（カラー印刷のみ）

クリックしてチェックマークを付けると、ColorSyncによるカラーマッチング（色合わせ）を行います。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書「ColorSyncについて」114ページ

⑫ 印刷モード調整（モノクロ印刷のみ）

［色］を［モノクロ］に設定した場合は、③の［印刷モード］をさらに細かく調整できます。

画質	：［画質］を3段階に調整できます。印刷時間を短くしたい場合は［速度優先］に、印刷品質を上げたい場合は［品質優先］に設定します。［印刷モード］で［白黒］/［ハーフトーン］を選択した場合は、設定できません。
画像調整	：画像の粗密を、［細かい］から［粗い］の間で4段階に調整できます。［印刷モード］で［白黒］を選択した場合は、設定できません。
明暗調整	：画像の明暗を、［薄い］から［濃い］の間で5段階に調整できます。［印刷モード］で［白黒］を選択した場合は、設定できません。

⑬ 環境設定



上オフセット　：上下方向の印刷開始位置（垂直位置）のオフセット値を設定します。0.5mm単位で、次の範囲で設定できます。
-5mm（上方向）～6mm（下方向）

左オフセット　：左右方向の印刷開始位置（水平位置）のオフセット値を設定します。0.5mm単位で、次の範囲で設定できます。
-5mm（左方向）～6mm（右方向）

カラー／モノクロの自動判別を行う　：クリックしてチェックマークを付けると、印刷データがカラーまたはモノクロのどちらかを自動的に判別して印刷します。

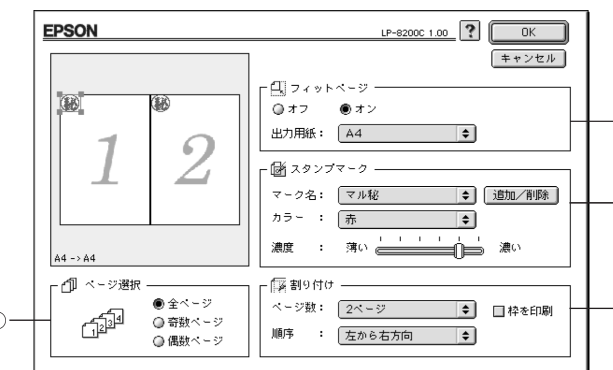
用紙サイズのチェックをしない　：クリックしてチェックマークを付けると、選択した給紙装置にセットされている用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷しても、用紙サイズエラーにはなりません。

白紙節約する　：白紙ページを印刷するかしないかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

Mac

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで レイアウト ボタンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定を行います。



①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大/縮小する機能です。フィットページ印刷をするには［オン］を選択し、［出力用紙］ポップアップメニューからプリンタにセットした用紙サイズを選択します。印刷を実行すると自動的に拡大 / 縮小して印刷します。


ポイント

- **拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。**
- **［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。**

③スタンプマーク

印刷データに ㊙ などのイメージを重ね合わせて印刷します。

プレビュー部 ：ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

マーク名 ：印刷するスタンプマークをリストから選択します。

カラー ：マークの印刷カラーをリストから選択します。ただし、新規に登録したマークの色指定はできません。

濃度 ：スタンプマークの印刷濃度を、[濃度] バーで調整します。

追加 / 削除 ボタン ：オリジナルのスタンプマークを追加したり削除するには、追加／削除 ボタンをクリックします。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトであらかじめ作成して、PICT[*1]形式で保存しておきます。登録 / 削除の手順については、以下のページを参照してください。

☞本書「オリジナルスタンプマークを登録 / 削除するには」106 ページ

*1 PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

④割り付け

2ページまたは4ページ分の連続した印刷データを、1ページに納まるように縮小して印刷する機能を割り付け印刷といいます。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

ページ数 ：1ページに割り付けるページ数を選択します。

順序 ：割り付けたページを、どのような順番で配置するか選択します。ページ数、用紙の向き(縦・横)によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

枠を印刷 ：クリックしてチェックマークを付ける、割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。


ポイント

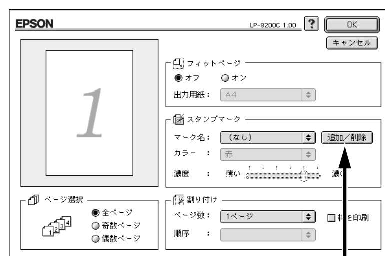
割り付け印刷を行わない場合は、[ページ数] リストから [1ページ] を選択します。

Mac

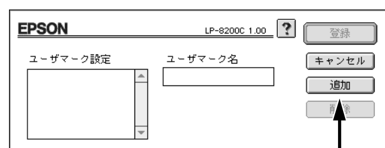
オリジナルスタンプマークを登録/削除するには

1 **アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT形式で保存します。**

2 **［レイアウト］ダイアログを開いて、追加/削除 ボタンをクリックします。**

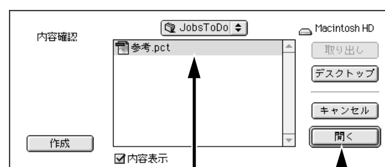


3 **追加 ボタンをクリックします。**



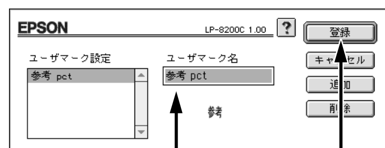
4 **保存したPICTファイルを選択し、開く ボタンをクリックします。**

作成 ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。



5 **［ユーザーマーク名］を入力して、登録 ボタンをクリックします。**

これでオリジナルスタンプマークがポップアップメニューに追加されました。



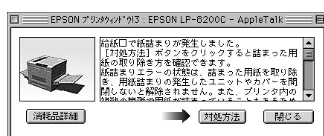


EPSONプリンタウィンドウ!3

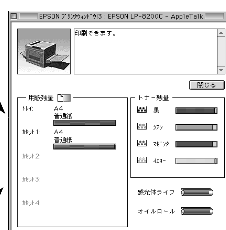
EPSON プリンタウィンドウ!3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、[プリンタ詳細] ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開きエラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。

EPSONプリンタウィンドウ!3の起動と終了

印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開きエラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。



ポップアップウィンドウ
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、[対処方法] ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。



[プリンタ詳細] ウィンドウ
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。



[アップル] メニューから [EPSON プリンタウィンドウ!3] を選択して、[プリンタ詳細] ウィンドウを開くこともできます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。
☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」109 ページ



EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

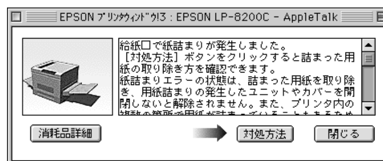
［方法 1］

［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ!3］をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ!3 が起動し、［詳細表示］ウィンドウが表示されます。



［方法 2］

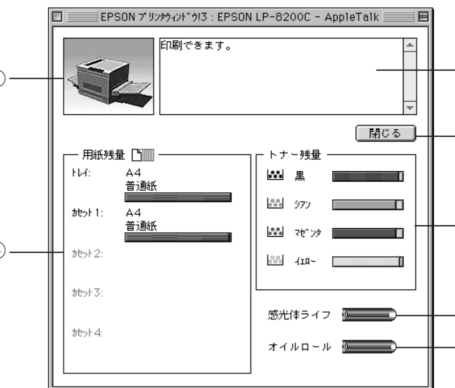
アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。



[プリンタ詳細]ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

Mac



① プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

② メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞本書「対処が必要な場合は」110 ページ

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときに 閉じる ボタンをクリックします。

④ 用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（給紙タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤ トナー残量

ET カートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

⑥ 感光体ライフ

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

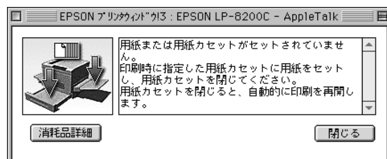
⑦ オイルロール

定着オイルロールがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

Mac

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。

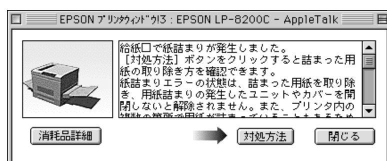


ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

- 消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
  ☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」109ページ

- 閉じる ボタンをクリックすると、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

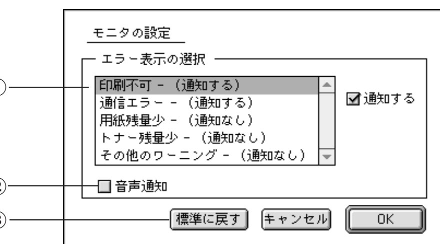
- 対処方法 ボタンがある場合は、クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。



［環境設定］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［環境設定］ウィンドウが表示されます。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなどEPSONプリンタウィンドウ!3 の動作環境を設定できます。

Mac



①エラー表示の選択

プリンタがエラー状態に陥った場合、どのようなエラー状態のときに通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択して、通知する ボタンをクリックします。

②音声通知

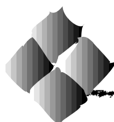
チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。



お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すには、標準に戻す ボタンをクリックします。



EPSONプリントモニタ!3

EPSONプリントモニタ!3は、Macintoshでバックグラウンドプリントを行うためのユーティリティです。このユーティリティは、プリンタドライバと同時にインストールされ、バックグラウンドプリントを実行すると自動的に起動します。

Mac

バックグラウンドプリントを行うには

バックグラウンドプリントとは、Macintoshがほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。Macintoshツールバー一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。



クリックします


ポイント

［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中もMacintoshで他の作業ができますが、Macintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が延びることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［オン］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ!3 が使用できます。

EPSON プリントモニタ!3は、印刷中にツールバー一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。



① プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

② プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③ プリント中止 ボタン

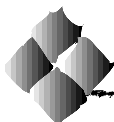
進行中の印刷を中止するには、［プリント中］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、プリント中止 ボタンをクリックします。



印刷を一時停止したり再開するには、EPSONプリントモニタ!3の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④ 削除 ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、削除 ボタンをクリックします。



ColorSyncについて

ColorSyncとは

カラー画像の入力から出力まで、スキャナ、モニタ、プリンタなどで再現する色は、それぞれのメーカー、機種によって異なります。そのためスキャナでコンピュータに取り込んだ色、モニタで表示する色、そしてプリンタで印刷する色、すべて一致させることは非常に困難でした。

たとえば、R（赤）、G（緑）、B（青）3原色ですべての色を再現するモニタと、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）4色ですべての色を再現するプリンタとでは、色を再現する方法が異なります。そこで、どちらの機器でも同じ色になるようにカラーマネージメント（管理）する必要があります。

機器間の色合わせ（カラーマッチング）を行うApple社独自のカラーマネージメント技術が、ColorSyncです。本機は、このColorSync 2.0/2.5に対応しています。


ポイント

- **このColorSyncによるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてがColorSyncに対応している必要があります。**
- **巻頭のカラーページで、カラーマッチングについて説明していますので、詳しくはそちらを参照してください。**
  ☞本書「より高度な色合わせについて」(12) ページ

ColorSyncを使用して印刷するには

本機で ColorSync を使用する場合は、次の基本手順に従ってください。

Mac

1 正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。
ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない場合は、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

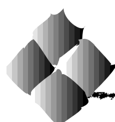
2 お使いのディスプレイの特性を Macintosh で設定します。
使用しているディスプレイで再現できる色の特性を定義したColorSyncプロファイルを、［コントロールパネル］の［ColorSync］から選択してください。ColorSync のバージョンによって、設定方法は異なります。

ColorSync2.0 の場合	ColorSync2.5 の場合
① コントロールパネルから［ColorSync システム特性］を選択します。 ② お使いのディスプレイが選択されているか確認します。選択されていない場合は、特性の設定ボタンをクリックします。 ③ お使いのディスプレイをリストの中から選択し、選ぶボタンをクリックします。 お使いのディスプレイがリストにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください。	① コントロールパネルから［ColorSync］を選択します。 ②お使いのディスプレイが［システム特性］リストで選択されているか確認します。選択されていない場合は、お使いのディスプレイをリストから選択します。お使いのディスプレイがリストにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください。（そのほかの項目は、設定する必要はありません。

3 印刷実行時に、ColorSync を設定します。
［プリント］ダイアログから［詳細設定］ダイアログを開き、［カラー調整］で［ColorSync］をクリックします。
☞本書「［詳細設定］ダイアログ」97 ページ

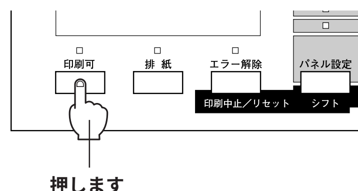

ポイント

- **ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例EPSON TWAIN）で ColorSyncを選択してから画像を取り込んでください。**
- **ColorSyncを使用する場合は、アプリケーションソフトをRGBモードに設定して作業してください。CMYKやLabモードでは、正しく色合わせすることができません。**
- **一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 6.5J、Photoshop 4.0J、Illustrator 7.0Jなど）では、ソフトウェア上でColorSyncの設定が行えます。この場合は、プリンタドライバの［カラー調整］ダイアログで［ドライバによる色補正］を選択して、［色補正方法］を［色補正なし］に設定してください。**



印刷の中止方法

1 **プリンタの 印刷可 スイッチを押します。**
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

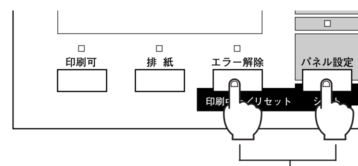


押します

Macintoshが印刷処理を続行しているときは、コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。

2 **データランプが点滅しなくなり、点灯していることを確認します。**
データランプの点滅中は、データを受信しています。データを受信し終えるまでお待ちください。

3 **シフト スイッチと エラー解除 スイッチを同時に押します。**
受信データが消去されます。



シフト（パネル設定）スイッチを押したまま エラー解除 スイッチを押します。


ポイント

シフト スイッチと エラー解除 スイッチを5秒以上押し続けると、電源投入時の状態まで初期化（リセットオール）されますのでご注意ください。
☞本書「リセットオールについて」161 ページ



プリンタドライバの削除

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタドライバをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Mac

1 起動しているアプリケーションソフトを終了します。

2 EPSON LP-8200Cプリンタソフトウェア CD-ROMを Macintoshにセットします。

3 ［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックして開きます。



ダブルクリックします

4 ［LP-8200Cインストーラ］アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

5 インストーラの画面左上にあるメニューから［削除］を選択します。



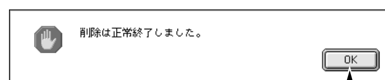
クリックして選択します

6 削除 ボタンをクリックします。



クリックします

7 **OK** **ボタンをクリックします。**



8 **終了** **ボタンをクリックします。**

これでプリンタドライバの削除は終了です。



第4章

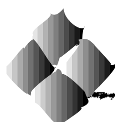
DOSからの印刷

LP-8200C

Printing on DOS

DOS

ここでは、DOS からの印刷について説明しています。



DOSアプリケーションソフトでのプリンタ設定

本機をDOSアプリケーションソフトで使用する場合は、モノクロ印刷のみ可能です。DOSアプリケーションソフトの場合、プリンタドライバのインストールは必要ありません。アプリケーション上でプリンタの機種名を選択することで、そのプリンタが使用可能になります。



不適切なプリンタ機種名を選択した場合や、他のプリンタドライバで代用する場合は、本機の機能を100%利用できない場合があります。

DOS

設定項目の名称や設定方法は、ご使用のアプリケーションソフトによっても異なりますが、多くの場合「プリンタ名の選択・設定」、「プリンタ設定」などの項目でプリンタ名を指定するようになっています。
詳しくはお使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

海外版アプリケーションソフトを使用する場合

海外版ソフトウェアを使用する場合は、次の優先順位でプリンタ名を選択します。

1	LQ-850/1050
2	LQ-510/1010
3	LQ-800/1000
4	LQ-1500

- **お使いのアプリケーションソフトに関するお問い合わせは、各アプリケーションソフトのメーカーへお願いします。**
- **画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/Pモードにしてください。**
- **１行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を22mmにしてください。**
- **半角の記号がカタカナになる場合は、操作パネルで文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。**
  ☞本書「階層設定モードでの設定方法」133ページ

国内版アプリケーションソフトを使用する場合

1 **DOS アプリケーションソフトを起動します。**

2 **DOSアプリケーションソフトを操作して、プリンタの機種名を設定する画面を表示します。**
使用しているDOSアプリケーションソフトの取扱説明書を参照して実行してください。

DOS

3 **LP-8200C を選択します。**
LP-8200Cがない場合は、次の優先順位でプリンタ機種名を指定します。

ESC/Page プリンタが選択できる場合

1	LP-9200SX/9200S/9200
2	LP-8400/8300/8300S/8200
3	LP-9000
4	LP-1700/1700S/1800
5	LP-1600
6	LP-8000/8000S/8000SE/8000SX
7	LP-8500
8	ESC/Page
9	LP-1500/1500S/2000/3000
10	LP-7000/7000G

ESC/Page プリンタが選択できない場合

1	ESC/P-24-J84 *1,*2
2	VP-1000/4800/3000 *1,*2
3	ESC/P-24-J83 *1,*2
4	VP-135K/130K *1,*2
5	上記プリンタが見つからない場合は、PC-PR201Hなどのプリンタを選択します。*1,*3

*1： 1行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を 22mm にしてください。
半角の記号がカタカナになる場合は、文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。
*2： 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/Pにしてください。
*3： PC-PR201H を選択した場合、プリンタモードはESC/PS（購入時設定）でなければ印刷できません。
☞本書「階層設定モードでの設定方法」133 ページ

- **プリンタモードは、基本的に ESC/PS（購入時設定のまま）で使用してください。画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されない場合に限り変更してください。**
- **連続紙用のデータを印刷する場合は、操作パネルでの連続紙の指定が必要です。**
☞本書「階層設定モードでの設定方法」133 ページ

DOSアプリケーションソフトでの印刷実行の流れ

1 レイアウトを指定して、文書を作成します。

文書を作成する前に、まず作成する文書のレイアウト（用紙サイズ、方向など）をアプリケーションソフト上で指定します。アプリケーションソフトによって手順が異なりますので、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2 印刷の設定をします。

印刷する用紙サイズや方向、給紙装置などを、アプリケーションソフト上で設定します。アプリケーションソフトで設定できないときは、操作パネルまたはEPSON Remote!でプリンタの設定を変更します。

☞本書「階層設定モードでの設定方法」133ページ
☞本書「EPSON Remote!(DOS/NetWare)」123ページ

	設定方法	
	アプリケーションソフト*1	操作パネル
印刷前に必ず設定する項目	給紙方法、用紙サイズ、用紙方向	ー
必要に応じて設定する項目	コピー枚数、縮小、解像度	トレイ紙サイズ

*1 ソフトウェアで設定できないときは、操作パネルまたはEPSON Remote!で設定します。

3 印刷を実行します。

アプリケーションソフトから印刷を実行します。



EPSON Remote!（DOS/NetWare）

EPSON Remote!は、プリンタの設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトです。DOS版、NetWare版の2種類を用意しています。ここではその概略を説明します。インストール方法や設定方法など詳しくは、EPSON LP-8200Cプリンタソフトウェア　CD-ROMに収められているそれぞれのテキストファイルを参照してください。

テキストファイルの確認方法

DOS

EPSON Remote!の取り扱いについてはCD-ROM内の「EPMANUAL.TXT」ファイルに記載されています。CD-ROMをコンピュータにセットしアプリケーションソフトなどでご確認いただくか、以下のコマンドを実行してご確認ください。

D:\>TYPE□EPMANUAL.TXT□|MORE
↑　　（□はスペースを意味します。）
CD-ROMをセットしたドライブ名です。

キーを押すと、次ページに進みます。

DOS版またはNetWare版EPSON Remote!

DOS環境またはNetWare環境で利用できるEPSON Remote!は、それぞれの環境でプリンタの各種設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトです。

- EPSON Remote!は、コンピュータを使用している環境に応じて、DOS版、NetWare版のどちらかを選んで使用します。

DOS版（98用、DOS/V用）	DOSアプリケーションソフトを使って印刷する場合に使用します。印刷の基本的な設定はアプリケーションソフトで行います。しかし、ソフトによっては一部設定が変更できないことがあります。そのような場合に、EPSON Remote!をご利用ください。
NetWare版	NetWare環境下で 印刷する場合に使用します。NetWare版EPSON Remote!には、EPSON PCシリーズ/NEC PC-9800シリーズ用のMS-DOS版と、DOS/Vコンピュータ用のDOS/V版があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。



NetWare版EPSON Remote!は、スーパーバイザ（ネットワーク管理者）による設定とクライアントマシン設定が必要です。インストールする場合は必ずスーパーバイザにご相談ください。

- EPSON Remote!は、設定する内容や目的に応じて次のユーティリティを選択することができます。

DOS版（98用、DOS/V用）	スタートアップユーティティ
	設定ユーティリティ
	簡易設定ユーティリティ
NetWare版	設定ユーティリティ
	簡易設定ユーティリティ

DOS

スタートアップユーティリティ

プリンタの初期設定値（電源投入時の設定）を変更するユーティリティです。すべての設定が変更できます。変更した内容はプリンタに記憶され、電源をオフにしても設定は保持されます。

設定ユーティリティ

使用頻度の高い項目に絞ったユーティリティです。設定した内容はプリンタに記憶され、電源をオフにしても設定は保持されます。



スタートアップユーティリティと設定ユーティリティで同じ項目を設定した場合、あとから設定した内容が有効になります。

簡易設定ユーティリティ

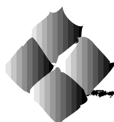
設定ユーティリティで設定した内容を実行ファイルとして保存しておき、印刷前に実行することができます。印刷する前にファイルの実行コマンドを実行するだけで、プリンタの各種設定を一度に変更できます。設定を変更しても、リセット / 電源オフ / プリンタモード変更のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。

第5章

操作パネルでの設定

LP-8200C
Control Panel

ここでは、操作パネルの設定方法について説明しています。



プリンタの設定方法について

プリンタの設定は、以下の方法で実行できます。通常の印刷に必要な設定は、プリンタドライバまたはアプリケーションソフト上で設定できますが、それ以外の設定は操作パネル上から実行する必要があります。

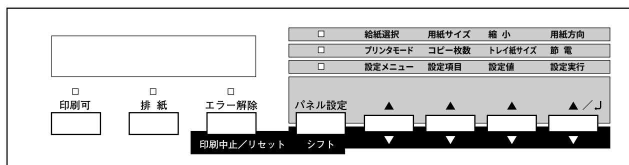

ポイント

プリンタドライバと操作パネルで重複する設定項目（トレイ紙サイズは除く）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

●プリンタドライバからの設定

- 通常の印刷に必要な設定は、プリンタドライバ上から実行できます。
  ☞本書「Windows からの印刷」19 ページ
  「Macintoshからの印刷」83ページ

●操作パネルからの設定



- 本機に用意された全ての設定は、操作パネルから実行できます。
- 通常の印刷に必要な設定は、プリンタドライバ上から実行できますが、ドライバにない項目については、操作パネル から設定する必要があります。
  ☞本書「操作パネルでの設定方法」128 ページ

●「EPSON Remote!」からの設定

- MS-DOSから印刷する場合は、パネル設定ユーティリティ「EPSON Remote!」からプリンタの設定ができます。
  ☞本書「EPSON Remote!（DOS/NetWare）」123 ページ

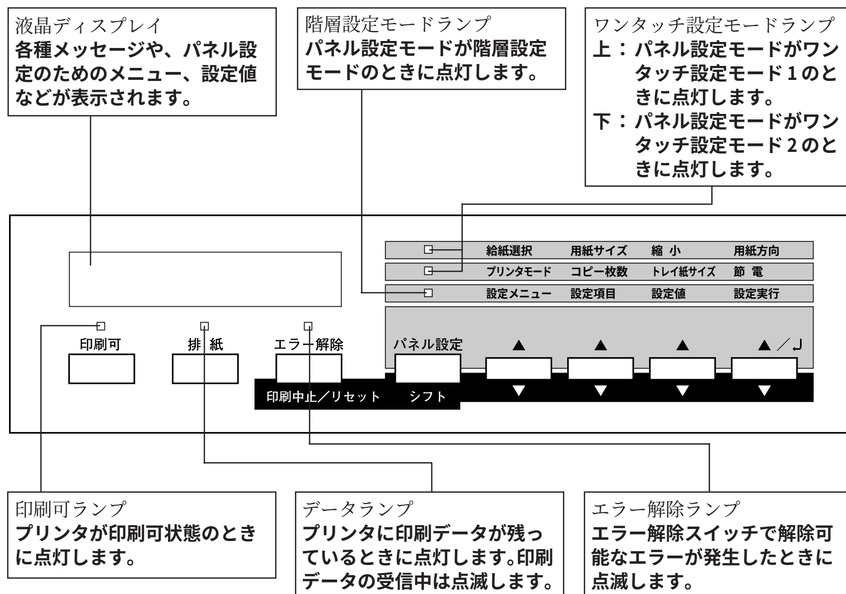


操作パネルについて

操作パネル上のランプ、スイッチの名前と機能を説明します。

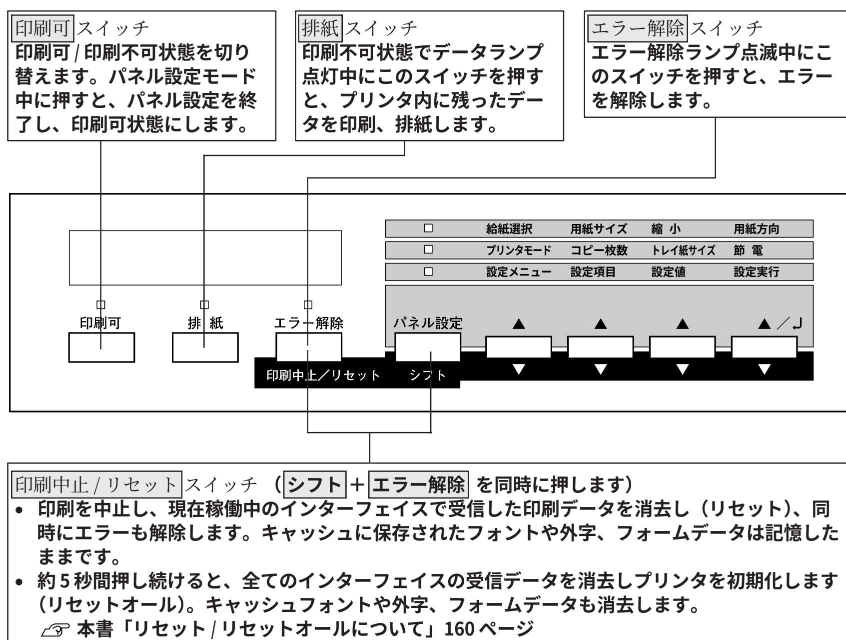
ランプ/ディスプレイ

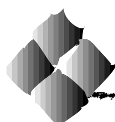
操作パネル上のランプ、ディスプレイで現在のプリンタの状態がわかります。



スイッチ

操作パネルのよく使うスイッチと、各スイッチの機能は以下の通りです。





操作パネルでの設定方法

ここでは操作パネルでの設定変更の方法について説明します。

操作パネルでの設定変更の注意事項

操作パネルで設定変更を行う場合、次の点に注意してください。
一部の項目、および設定値については、それに関係するオプションが装着されているときのみ表示されます。
下記のメニューは、プリンタの持つ機能を実行するためのものです。設定値は変更できません。

	設定メニュー	設定項目
特定の処理を行うための項目	テストインサツメニュー	ステータスシート ネットワークジョウホウ オプションI/F ジョウホウ ROM モジュールA ジョウホウ ROM モジュールB ジョウホウ
	キョウツウメニュー	セッテイショキカ

下記のメニューは、プリンタの状態を表示するのみで、設定値は変更できません。

	設定メニュー	設定項目
現在のプリンタの状態を表示する項目	キョウツウメニュー	カセット1ヨウシサイズ カセット2ヨウシサイズ カセット3ヨウシサイズ カセット4ヨウシサイズ
	キョウツウメニュー 2	C トナーザンリョウ M トナーザンリョウ Y トナーザンリョウ K トナーザンリョウ ノベインサツマイスウ カラーインサツマイスウ B/W インサツマイスウ

パネル設定モードの種類

操作パネルでの設定変更には、次の 3 つのモードがあります。
- ワンタッチ設定モード 1/2 は、使用頻度の高い項目の設定変更を簡単に行うためのモードです。
- 階層設定モードは、全ての項目の設定変更を行うためのモードです。

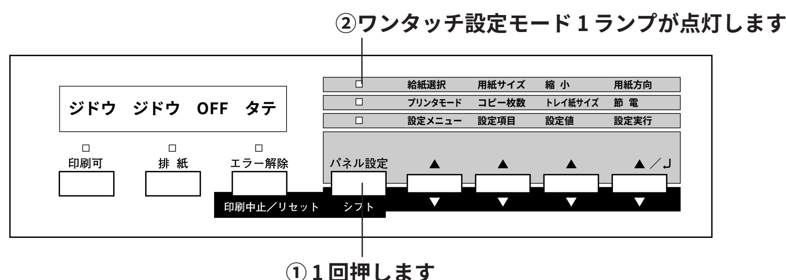
モード	設定項目
ワンタッチ設定モード 1	①給紙選択②用紙サイズ③縮小④用紙方向
ワンタッチ設定モード 2	①プリンタモード②コピー枚数③トレイ紙サイズ④節電
階層設定モード	すべての設定項目 本書「設定項目の説明」135 ページ

ワンタッチ設定モード１での設定方法

設定項目	設定項目の説明と注意事項
給紙選択	• 印刷時にどの給紙装置から給紙するか選択します。 • 「ジドウ」に設定すると、アプリケーションソフト側で指定している用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
用紙サイズ	• アプリケーションソフトで作成した印刷データの用紙サイズを選択します。 • 「ジドウ」に設定すると、「給紙装置」で設定した給紙装置にセットされている用紙のサイズが指定されたことになります。 • 「給紙装置」と「用紙サイズ」の両方を「ジドウ」に設定すると、アプリケーションソフト側の設定に従って給紙されます。アプリケーションソフト側で設定していない場合は、用紙カセット１にセットされている用紙が給紙されます。
縮小	• 印刷データを約 80%に縮小して印刷します。
用紙方向	• 「用紙方向」は、用紙に対して縦方向、横方向のどちらで印刷するかを指定する項目です。用紙を縦にセットするか、横にセットするかを指定する項目ではありません。

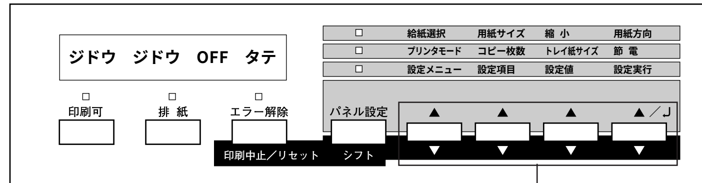
ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 パネル設定 スイッチを１回押します。



2 設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。

各スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。



いずれかのスイッチを押して設定を変更します

スイッチ（割り当てられている設定項目）	設定値
設定メニュー スイッチ（給紙選択）	ジドウ→トレイ→カセット 1→カセット 2*→カセット 3*→カセット 4*
設定項目 スイッチ（用紙サイズ）	ジドウ→A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→MON→C10→DL→A3W（ノビ）
設定値 スイッチ（縮小）	OFF→80%
設定実行 スイッチ（用紙方向）	タテ→ヨコ

*「給紙装置」の「カセット 2」〜「カセット 4」は、オプションの増設カセットユニットを装着している場合のみ表示されます。

シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

3 設定を変更したら、印刷可 スイッチを押します。

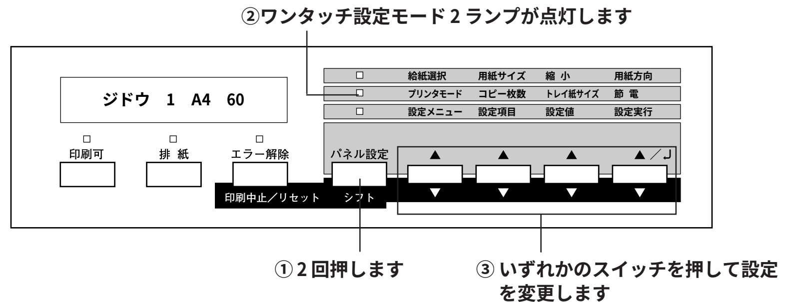
ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

ワンタッチ設定モード2での設定方法

設定項目	設定項目の説明と注意事項
プリンタモード	• プリンタが動作するモードを設定します。詳細は以下のページを参照してください。 本書「プリンタモードメニュー」142 ページ •「プリンタモード」の初期設定はパラレルインターフェイスの「ジドウ」です。コントロールコードを自動判別するため、基本的には変更する必要はありません。 • 変更する必要があるのは次のような場合です。 ESC/P に変更する　：国内版DOSアプリケーションソフトを使用していて、画面とは違う文字が印刷される場合または、海外版DOSアプリケーションソフトを使用する場合 ESC/Page に変更する：自作プログラムを使用する場合など
コピー枚数	• 印刷する枚数を設定します。（1 ～ 999）
トレイ紙サイズ	• 用紙トレイにセットした用紙サイズに合わせて設定します。 A3W（ノビ）、A3、B4、B5、A4、LT、官製はがき、 A5、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、MON、C10、DL
節電	• 印刷待機中に、プリンタの消費電力を節約できます。プリンタが節電状態になるまでの時間を設定します。 60 分、120 分、180 分、OFF • 本機の節電状態には2つのレベルがあります。詳しくは以下のページを参照してください。 本書「本機の節電機能について」156 ページ

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 **パネル設定 スイッチを 2 回押します。**



2 **設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。**

スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。

スイッチ（割り当てられている設定項目）	設定値
設定メニュー スイッチ（プリンタモード）*	ジドウ→ ESC/PS → ESC/P → ESC/Page
設定項目 スイッチ（コピー枚数）	1 〜 999
設定値 スイッチ（トレイ紙サイズ）	A4 → A3 → A5 → B4 → B5 →ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → A3W
設定実行 スイッチ（節電）	60 → 120 → 180 → OFF

* ワンタッチ設定モード 2 の［プリンタモード］に割り当てるインターフェイスは、階層設定モードの［プリンタモードメニュー］で選択します。

本書「プリンタモードメニュー」142 ページ

シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

3 **設定の変更が終了したら、印刷可 スイッチを押します。**

ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

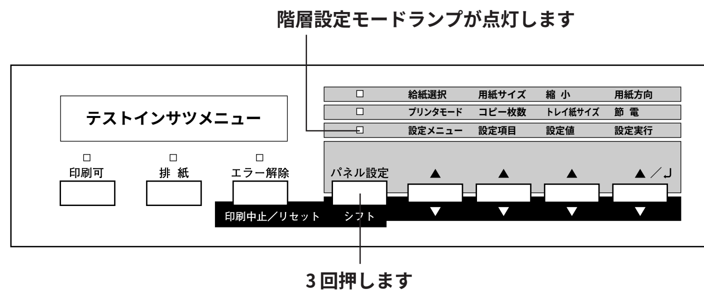
階層設定モードでの設定方法

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

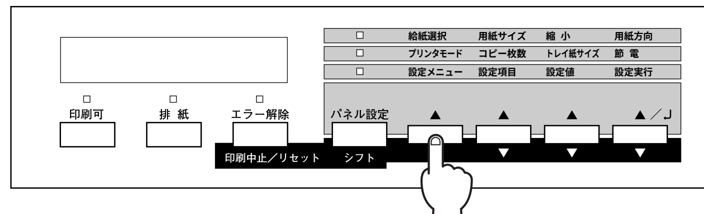
1 **本書135ページ「設定項目の説明」を参照して、変更したい設定項目がどの設定メニューにあるかを確認します。**

2 **パネル設定 スイッチを3回押します。**

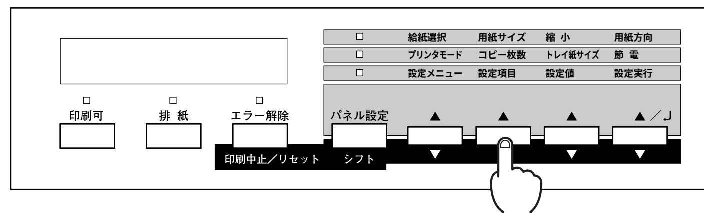
このときディスプレイには「テストインサツメニュー」と表示されます。



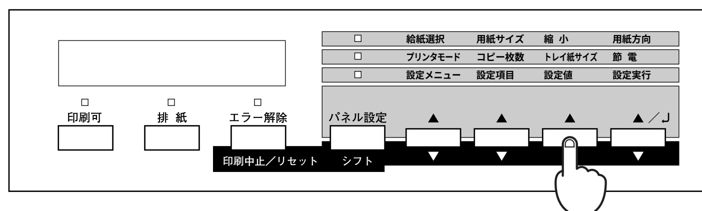
3 **1で確認した設定メニューの名前が表示されるまで、設定メニュー スイッチを押します。**



4 **1で確認した設定項目の名前が表示されるまで、設定項目 スイッチを押します。**



5 **変更したい設定値が表示されるまで、設定値 スイッチを押します。**



シフト スイッチを押しながら 設定値 スイッチを押すと、逆の順番に設定が切り替わります。

6 **設定実行 スイッチを押します。**

変更した設定値が有効になります。

設定実行 スイッチを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。

7 **印刷可 スイッチを押します。**

ディスプレイの表示が「インサツカノウ」になり、階層設定モードが終了します。



設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定変更できる項目と、各項目の内容について説明します。


ポイント

操作パネルのディスプレイ上では、漢字やひらがなはすべてカタカナで表示されます。

で表示された項目は、プリンタドライバで設定可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
テストインサツメニュー	ステータスシート	138
	ネットワーク情報	138
	オプション I/F 情報*1	138
	ROM モジュール A 情報*2	138
	ROM モジュール B 情報*2	138
キョウツウメニュー	I/F 切り替え	139
	I/F タイムアウト	139
	節電	139
	トレイ用紙サイズ	139
	カセット 1 用紙サイズ	140
	カセット 2 用紙サイズ*3	140
	カセット 3 用紙サイズ*3	140
	カセット 4 用紙サイズ*3	140
	トレイタイプ	140
	カセット 1 タイプ	140
	カセット 2 タイプ*3	140
	カセット 3 タイプ*3	140
	カセット 4 タイプ*3	140
	表示言語	140
	設定初期化	140
キョウツウメニュー 2	C トナー残量	141
	M トナー残量	141
	Y トナー残量	141
	K トナー残量	141
	のべ印刷枚数	141
	カラー印刷枚数	141
	B/W 印刷枚数	141
プリンタモードメニュー	パラレル	142
	ネットワーク	142
	オプション*1	142
	ワンタッチ	142
インサツメニュー	給紙	143
	用紙サイズ	143
	用紙方向	143
	排紙	144
	コピー枚数	144
	縮小	144
	解像度	144
	イメージ補正	144
	白紙節約	145
	自動排紙	145

設定メニュー	設定項目	参照ページ
デバイスメニュー	RIT トナーセーブ 上オフセット 左オフセット 紙種 用紙サイズフリー 自動エラー解除	145 145 145 145 146 146 147
	ページエラー回避	147
パラレル I/F セッテイメニュー	ACK 幅 双方向 受信バッファ	147 147 148
ネットワーク I/F メニュー	ネットワーク設定 IP アドレス設定 IP Byte 1 IP Byte 2 IP Byte 3 IP Byte 4 SM Byte 1 SM Byte 2 SM Byte 3 SM Byte 4 GW Byte 1 GW Byte 2 GW Byte 3 GW Byte 4 受信バッファ	148 149 149 149 149 149 149 149 149 149 149 149 149 149 149
オプション I/F セッテイメニュー [*1]	I/F ボード設定 IP アドレス設定 IP Byte 1 IP Byte 2 IP Byte 3 IP Byte 4 SM Byte 1 SM Byte 2 SM Byte 3 SM Byte 4 GW Byte 1 GW Byte 2 GW Byte 3 GW Byte 4 NetWare AppleTalk NetBEUI I/F ボード初期化 受信バッファ	150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 151 151 151 151 151
ESC/PS カンキョウメニュー	連続紙 文字コード 給紙位置 各国文字 ゼロ 用紙位置 右マージン 漢字書体	152 152 152 152 153 153 153 153

設定メニュー	設定項目	参照ページ
ESC/Page カンキョウメニュー	復帰改行 改ページ CR LF FF エラーコード フォントタイプ フォームオーバーレイ*4 フォーム番号*4	154 154 154 154 154 154 154 155 155

*1 オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示され、選択できます。

*2 オプションの ROM モジュールが装着されていて、ROM モジュール内に情報があるときに表示され、印刷できます。フォント ROM モジュール装着時は表示されません。

*3 オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示されます（表示のみ）。

*4 オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。

テストインサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ステータスシート	現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	ネットワークジョウホウ	プリンタのネットワーク設定に関する情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	オプションI/F ジョウホウ	オプションのインターフェイスカードがインターフェイスカードの設定値などの一覧を印刷する機能をサポートしている場合、装着したときに表示され、オプションインターフェイスカードの情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	ROM モジュール A ジョウホウ（ROM モジュール B ジョウホウ）	ROM モジュール用ソケット A/B に装着されているオプションのROMモジュールにROMモジュール情報が存在するときだけ表示され、ROMモジュール情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

キョウツウメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F キリカエ	自動切り替えモードか、単一のインターフェイスだけがデータを受信してプリンタを動作させるモードかのどちらかを指定します。単一のインターフェイスだけがプリンタを動作させるモードを選択した場合、他のインターフェイスはデータ受信を一切行いません。
設定値	ジドウ（初期設定値）	インターフェイス自動切り替えモードになります。
	パラレル	パラレルインターフェイスからのデータのみを受信します。
	ネットワーク	Ethernetインターフェイスからのデータのみを受信します。
	オプション	オプションのインターフェイスカードからのデータのみを受信します。（オプションのインターフェイスカード装着時のみ）

設定項目	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れた後、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。
設定値	20 ～ 600 ビョウ	10 秒単位で設定可能。（初期設定 60 ビョウ）

設定項目	セツデン	頻繁に印刷をしない場合などに、印刷待機中のプリンタの消費電力を節約するための機能です。最後の印刷の終了から指定した時間の半分が経過すると「節電レベル 1」状態になり、さらに時間が経過して指定した時間になると「節電レベル2」状態になります。 本書「節電の設定方法」156 ページ
設定値	60 プン（初期設定）	それぞれ、「節電レベル2」状態になるまでの時間を指定します。「OFF」にすると、節電機能を使用しません。
	120 プン	
	180 プン	
	OFF	

設定項目	トレイヨウシサイズ	用紙トレイにセットした用紙サイズを指定または表示します。
設定値	A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT(Letter)、HLT（Half Letter)、LGL（Legal)、GLT（Government Letter)、GLG（Government Legal)、B（Ledger)、EXE（Executive)、F4、MON（Monarch)、C10（Commercial 10)、DL、A3W（ノビ）	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カセット１ヨウシサイズ	カセット１（標準装備のカセットユニット）にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可スイッチを押して終了します。

設定項目	カセット２ヨウシサイズ	増設カセットユニットの用紙カセットにセットされている用紙のサイズを液晶ディスプレイに表示します。 上段の用紙カセットから順番に、「カセット 2」〜「カセット 4」の番号が割り当てられています。 （オプションの増設カセットユニット装着時のみ）
	カセット３ヨウシサイズ	
	カセット４ヨウシサイズ	
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可スイッチを押して終了します。


ポイント

用紙カセットにセットされた用紙のサイズは、プリンタが自動的に認識するため［カセット＊ヨウシサイズ］は表示のみになります。

設定項目	トレイタイプ	用紙トレイにセットする用紙の種類を選択します。
設定値	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、ボンドシ、サイセイシ、イロツキ、OHP フィルム、ラベル	

設定項目	カセット１タイプ	カセット１（標準装備のカセットユニット）にセットする用紙の種類を選択します。
設定値	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、ボンドシ、サイセイシ、イロツキ	

設定項目	カセット2タイプ	増設カセットユニットの用紙カセットにセットする用紙の種類を選択します。 上段の用紙カセットから順番に、「カセット 2」〜「カセット 4」の番号が割り当てられています。 （オプションの増設カセットユニット装着時のみ）
	カセット3タイプ	
	カセット４タイプ	
設定値	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、ボンドシ、サイセイシ、イロツキ	

設定項目	ヒョウジゲンゴ	ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	ニホンゴ（初期設定）	日本語で表示します。
	ENGLISH	英語で表示します。

設定項目	セッテイショキカ	プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定は除く[*1]）をすべて初期化します。（工場出荷時の設定に戻します。）
設定値		設定値はありませんので、設定実行スイッチを押して実行します。

*1 ：インターフェイスの設定を含めたすべてのパネル設定値を初期化するには、エラー解除スイッチを押しながらプリンタの電源をオンにします。

キョウツウメニュー2

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	C トナーザンリョウ M トナーザンリョウ Y トナーザンリョウ K トナーザンリョウ	各ETカートリッジのトナーの残量を表示します。 表示 E＊＊＊＊F ： 100% ≧トナー残量＞ 75% E＊＊＊ F ： 75% ≧トナー残量＞ 50% E＊＊ F ： 50% ≧トナー残量＞ 25% E＊ F ： 25% ≧トナー残量＞ 0% E F ： トナー残量 ＝ 0% C/M/Y/Kは、次のようにトナーの色を示します。 • C:シアン • M:マゼンタ •Y:イエロー • K:黒
設定値		表示のみでは変更できません。印刷可スイッチを押して終了します。



トナーの消費量は印刷の状態により異なるため、液晶ディスプレイの表示と実際の残量の間に誤差が生じる場合があります。液晶ディスプレイ上の表示はトナー残量の目安としてご覧ください。

設定項目	ノベインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでに印刷した累計枚数をディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可スイッチを押して終了します。

設定項目	カラーインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでにカラー印刷した累計枚数を表示します。
	B/W インサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでにモノクロ印刷した累計枚数を表示します。
設定値		表示のみで変更できません。印刷可スイッチを押して終了します。

プリンタモードメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル ネットワーク オプション	インターフェイスごとにプリンタが動作するモード（エミュレーション）を設定します。パラレルインターフェイス、Ethernetインターフェイス、そしてオプションのインターフェイスに分けて、プリンタモードを設定します。 （オプションは、オプションのインターフェイスカード装着時のみ設定可能）
設定値	ジドウ（初期設定）	受信したコマンドに合わせて、自動的にプリンタモードを選択します。通常は、この設定で使用してください。
	ESC/PS	ESC/Pスーパーモードになります。DOSアプリケーションソフトを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド（コントロールコード）がESC/Pであるか、PC-PR201Hであるかを自動判別します。たいていのDOSアプリケーションソフトでは、ESC/Pageモードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P（VP-100）エミュレーションモードになります。海外版DOSアプリケーションソフトを使用する場合や、国内版DOSアプリケーションソフトで画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Pageモードになります。通常は設定する必要はありません。

設定項目	ワンタッチ	ワンタッチ設定モード2の［プリンタモード］に割り当てるインターフェイスを選択します。
設定値	パラレル（初期設定）	パラレルインターフェイスに設定します。
	ネットワーク	Ethernetインターフェイスに設定します。
	オプション	オプションのインターフェイスに設定します。（オプションは、オプションのインターフェイスカード装着時のみ）

インサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	キュウシ	給紙方法を選択します。
設定値	ジドウ（初期設定）	印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置から自動的に給紙します。
	トレイ	用紙トレイから給紙します。
	カセット 1	標準カセットユニットの用紙カセットから給紙します。
	カセット 2	増設カセットユニットの一番上の用紙カセットから給紙します。（オプションの増設カセットユニット装着時のみ）
	カセット 3	増設カセットユニットの二番目の用紙カセットから給紙します。（オプションの増設カセットユニット装着時のみ）
	カセット 4	増設カセットユニットの一番下の用紙カセットから給紙します。（オプションの増設カセットユニット装着時のみ）



- **［キュウシ］［ヨウシサイズ］ともに［ジドウ］を選択している場合は、アプリケーションソフトの給紙装置選択に従って給紙します。ソフトウェア上で指定されない場合は、カセット 1 から給紙します。**
- **［キュウシ］に［トレイ］を選択した場合は、［トレイヨウシサイズ］をセットしてある用紙のサイズに設定してください。**
- **［ヨウシサイズ］を封筒に設定した場合は、常に用紙トレイより給紙します。**
- **［カミシュ］を［アツガミ］または［OHP シート］に設定した場合は、常に用紙トレイより給紙します。**

設定項目	ヨウシサイズ	アプリケーションソフトで作成した書類（これから印刷する書類）の用紙のサイズを設定します。
設定値	ジドウ（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT(Letter)、HLT (Half Letter)、LGL (Legal)、GLT (Government Letter)、GLG (Government Legal)、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、MON (Monarch)、 C10（Commercial 10）、DL、A3W（ノビ）	

設定項目	ヨウシホウコウ	用紙方向を選択します。「タテ」のとき、用紙の長辺を縦方向として印刷します。「ヨコ」のとき、用紙の長辺を横方向として印刷します。
設定値	タテ（初期設定）	印刷結果が縦長になる用紙方向で印刷します。（ポートレート）
	ヨコ	印刷結果が横長になる用紙方向で印刷します。（ランドスケープ）



［ヨウシホウコウ］の選択は、プリンタにセットする用紙の向きを変更・指定することではありません。用紙に対する印刷の向きを指定するものです。用紙のセット方向については、以下のページを参照してください。
☞セットアップガイド「用紙のセット」24 ページ

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ハイシ	印刷した用紙を、フェイスダウントレイに排紙するか、フェイスアップトレイに排紙するかを設定します。
設定値	FD（初期設定）	フェイスダウントレイ（本体上面の排紙トレイ）に排紙します。
	FU	フェイスアップトレイ（本体左側の排紙トレイ）に排紙します。



- **FU（フェイスアップトレイ）に排紙する場合、用紙は印刷面が上を向いて排紙されます。このためFUを選択した場合は、1ページ目が一番下に、最終ページが一番上になってしまいます。Windowsでは、プリンタドライバ上で、逆順印刷を設定して印刷することにより、正しい順番で印刷されます。**
- **フェイスダウントレイへの排紙が不可能な用紙の場合、FDに設定しても自動的にフェイスアップトレイに排紙されます。**

設定項目	コピーマイスウ	同じデータを複数枚印刷する場合に、印刷する枚数を設定します。印刷するデータが何ページもある場合、ここで設定した枚数を印刷したあと、次のページのデータを印刷します。
設定値	1～999	（初期設定：1）

設定項目	シュクショウ	印刷データを約80%に縮小して印刷します。
設定値	80%	80%縮小で印刷します。
	OFF（初期設定）	100%で印刷します。

設定項目	カイゾウド	印刷の解像度の選択をします。
設定値	ハヤイ（初期設定）	300DPIで印刷します。
	キレイ	600DPIで印刷します。



設定を［キレイ（600DPI）］にした場合、印刷するデータの容量が大きいと、メモリの不足で印刷ができないことがあります。このときは、［ハヤイ（300DPI）］で印刷してください。［キレイ（600DPI）］で印刷するためには、プリンタのメモリ増設が必要です。

設定項目	イメージホセイ	イメージデータ補正方式を選択します。
選択	1（初期設定）	標準の補正方式。
	2	ESC/P または ESC/PS モードのとき： 罫線が途切れるときに設定します。 ESC/Page モードのとき： 本機に対応していないドライバを使用していて、グラフィックに問題があるときに設定します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ハクシセツヤク	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH等）が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
設定値	スル（初期設定）	白紙ページを印刷しません。
	シナイ	そのまま白紙ページを印刷（排紙）します。

設定項目	ジドウハイシ	印刷データによっては、最後に排紙コマンドを送らないものがあります。そのような場合、この自動排紙を行う設定にしておくことにより、I/F タイムアウトで設定した時間、プリンタが次のデータを受信しなかった場合に、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
設定値	スル（初期設定）	プリンタ内にデータがある場合、タイムアウト時間経過後、自動排紙します。
	シナイ	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。

デバイスメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	RIT (Resolution Improvement Technology)	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能（RIT）の ON/OFF を選択します。
設定値	ON（初期設定）	輪郭を補正します。
	OFF	輪郭を補正しません。

設定項目	トナーセーブ	トナーの消費量を削減します
設定値	シナイ（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	スル	トナーセーブ機能を使用します。


ポイント

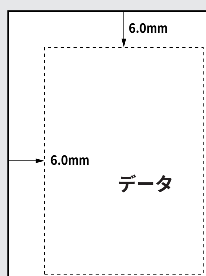
トナーセーブを［スル］にすると、カラー印刷時は色の表現能力を低く押さえて印刷し、トナー使用量を約30%削減します。モノクロ印刷時は輪郭部分のみを濃く印刷してトナー使用量を約 50% 削減します。

設定項目	ウエオフセット	用紙の上端に対して、印刷の開始位置を-5.0mmから +6.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。
設定値	-5.0 ～ +6.0mm（0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

設定項目	ヒダリオフセット	用紙の左端に対して、印刷の開始位置を-5.0mmから +6.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。
設定値	-5.0 ～ +6.0mm（0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

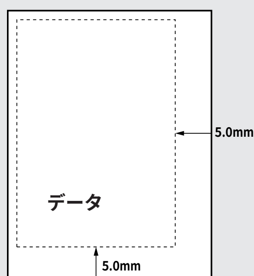


例 1）ウエオフセット 6.0mm、ヒダリオフセット 6.0mm に設定の場合



オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

例 2）ウエオフセット -5.0mm、ヒダリオフセット -5.0mm に設定の場合



オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カミシュ	紙の種類を選択します。
設定値	フツウ（初期設定）	普通紙、EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙を使用するときに選択します。
	アツガミ	ハガキ、封筒、ラベル紙などの特殊用紙や厚紙を使用する場合に選択します。なお、用紙サイズをハガキか封筒サイズにした場合には、自動的にアツガミのときと同じ処理が行われます。（表示は変わりません）。厚紙はフェイスアップトレイに排紙されます。
	OHP シート	EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシートを使用するときに選択します。OHPシートはフェイスアップトレイに排紙されます。

設定項目	ヨウシサイズフリー	「ヨウシコウカン xxxxx yyyy」と「ヨウシサイズエラー」のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	上記 2 つのエラーと警告を検出した場合、ディスプレイにメッセージを表示します。
	ON	上記 2 つのエラーと警告を表示しません。



ヨウシサイズフリーを「ON」にすると、印刷速度は「OFF」の場合の半分以下になります。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ジドウエラーカイジョ	エラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
選択	シナイ（初期設定）	「ページエラーオーバーラン」､「ヨウシコウカン」､「メモリオーバー　メモリガタリマセン」のエラーが発生したときに、エラー解除スイッチを押してエラー状態を解除しないかぎりプリンタの動作は停止し、処理を再開しません。
	スル	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約5秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

設定項目	ページエラーカイヒ	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷するとき、印刷動作に対し画像データ作成が追いつかないため、ページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷の所要時間が長くなりますので、通常の使用ではOFFに設定し、ページエラーが発生するときだけONに設定します。
設定値	ON	ページエラー回避機能を使用します。
	OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。



ページエラー回避をONにすると、「メモリオーバー メモリガタリマセン」エラーも回避できる場合があります。なお、ONにしても「メモリオーバー メモリガタリマセン」エラーが発生した場合は、メモリを増設してください（受信バッファの設定を「サイショウ」にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

パラレルI/Fセッテイメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ACKハバ	パラレルインターフェイスのACK信号のパルス幅を選択します。
設定値	ヒョウジュン	約10μSに設定します。
	ミジカイ（初期設定）	約1μSに設定します。

設定項目	ソウホウコウ	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284準拠）のモード設定を行います。
設定値	ニブル（初期設定）	双方向通信について､ニブルモードに対応します。
	ECP	双方向通信について、ECPモードに対応します。
	OFF	双方向通信を行いません。



「ニブル」「ECP」は、どちらも双方向通信のモードです。
「ECP」に設定して使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトがECPモードに対応している必要があります。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用、データ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。コンピュータ側の印刷処理は早く終わりますが、印刷時にメモリ不足になる可能性があります。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。大きいサイズのデータが印刷できますがコンピュータ側での印刷処理の時間が長くなります。



「ジュシンバッファ」の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。
☞本書「リセットオールについて」161 ページ

ネットワークI/Fセッテイメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ネットワークセッテイ	Ethernet インターフェイスのネットワーク設定を、操作パネルで行うか、行わないかを選択します。
設定値	シナイ（初期設定）	設定は行えません。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的にこの［しない］に設定されてネットワークの設定項目は表示されなくなりますので、不用意に設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定した場合に、選択できます。
設定値	パネル（初期設定）	［ネットワークI/Fセッテイメニュー］で設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワークからDHCPでIPアドレスを自動的に取得します。取得したIP アドレスは、プリンタに記憶されないため、電源をオフにすると無効になります。
	PING	ネットワークから PING コマンドで IP アドレスを設定します。設定した IP アドレスは、プリンタに記憶され、プリンタ電源のオン・オフまたはリセット後から有効となります。

設定項目	IP Byte 1～IP Byte 4	TCP/IP の IP アドレスを、0～255 の範囲で設定します。［IP アドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットした後から有効となります。
設定値	0～255	（初期設定値：192, 168, 192, 168）

設定項目	SM Byte 1～SM Byte 4	TCP/IP の Subnet Mask を、0～255 の範囲で設定します。［IP アドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットした後から有効となります。
設定値	0～255	（初期設定値：255, 255, 255, 0）

設定項目	GW Byte 1～GW Byte 4	TCP/IP の Gateway アドレスを、0～255 の範囲で設定します。［IPアドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットした後から有効となります。
設定値	0～255	（初期設定値：255, 255, 255, 255）

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。


ポイント

［ネットワーク I/F セッテイメニュー］の各項目を設定変更した場合は、必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。
本書「リセット／リセットオールについて」160 ページ

オプションI/Fセッテイメニュー

オプションのインターフェイスカードを装着した場合のみ設定できる項目です。装着したインターフェイスによって、設定できる項目や初期設定は異なります。（設定する必要のない項目は表示されません。）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F ボードセッテイ	オプションのインターフェイスカードの設定を、操作パネルで行うか、行わないかを選択します。
設定値	シナイ	設定は行えません。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的にこの［しない］に設定されてネットワークの設定項目は表示されなくなりますので、不用意に設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。［I/F ボードセッテイ］を［スル］に設定した場合に、選択できます。
設定値	パネル	［オプションI/Fセッテイメニュー］で設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワークからDHCPでIPアドレスを自動的に取得します。取得したIPアドレスは、プリンタに記憶されないため、電源をオフにすると無効になります。
	PING	ネットワークから PING コマンドで IP アドレスを設定します。設定した IP アドレスは、プリンタに記憶され、プリンタ電源のオン・オフまたはリセット後から有効となります。

設定項目	IP Byte 1～IP Byte 4	TCP/IP の IP アドレスを、0～255 の範囲で設定します。［IP アドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットした後から有効となります。
設定値	0～255	

設定項目	SM Byte 1～SM Byte 4	TCP/IP の Subnet Mask を、0～255 の範囲で設定します。［IP アドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットした後から有効となります。
設定値	0～255	

設定項目	GW Byte 1～GW Byte 4	TCP/IP の Gateway アドレスを、0～255 の範囲で設定します。［IPアドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットした後から有効となります。
設定値	0～255	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	NetWare	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタがNetWare環境で使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON	プリンタは NetWare 環境で使用できます。
	OFF	プリンタは NetWare 環境で使用できません。

設定項目	AppleTalk	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタがAppleTalkネットワークで使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON	プリンタは AppleTalk ネットワークで使用できます。
	OFF	プリンタはAppleTalkネットワークで使用できません。

設定項目	NetBEUI	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタがNetBEUIを使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON	プリンタは NetBEUI を使用できます。
	OFF	プリンタは NetBEUI を使用できません。

設定項目	I/F ボードショキカ	オプションのインターフェイスカードの設定を初期化します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行スイッチを押して実行します。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。


ポイント

［オプション I/F セッテイメニュー］の各項目を設定変更した場合は、必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

☞本書「リセット／リセットオールについて」160 ページ

ESC/PSカンキョウメニュー

ESC/PS、またはESC/Pモードで選択できる設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	レンゾクシ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 連続紙用の印刷データを、単票用紙（カット紙）に縮小して印刷するかどうかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	縮小しません。
	F15→B4ヨコ	15インチ×11インチの連続紙へのデータをB4横長の用紙に縮小して印刷します。 B4
	F15→A4ヨコ	15インチ×11インチの連続紙へのデータをA4横長の用紙に縮小して印刷します。 A4
	F10→A4タテ	10インチ×11インチの連続紙へのデータをA4縦長の用紙に縮小して印刷します。 A4

設定項目	モジコード	• ESC/P用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コードを切り替えます。
設定値	カタカナ（初期設定）	カタカナコード表を選択します。
	グラフィック	拡張グラフィックスコード表を選択します。

設定項目	キュウシイチ	• ESC/P用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 用紙の印刷開始位置を選択します。
設定値	8.5mm（初期設定）	8.5mmにします。
	22mm	22mmにします。

設定項目	カッコクモジ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
設定値	ニホン（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ゼロ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
設定値	0（初期設定）	「0」を選択します。
	ø	「ø」を選択します。

設定項目	ヨウシイチ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 横方向の印字範囲（136桁）の幅のなかで、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定でPC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、「チュウオウ」を選択してください。なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
設定値	ヒダリ（初期設定）	左合わせに設定します。
	チュウオウ	中央合わせに設定します。
	チュウオウ -5	中央合わせで、オフセット量を -5mm にします。
	チュウオウ +5	中央合わせで、オフセット量を +5mm にします。

設定項目	ミギマージン	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 右マージンを選択します。
設定値	ヨウシハバ（初期設定）	使用する用紙の印刷可能領域いっぱいにします。
	136 ケタ	用紙サイズに関係なく136桁（13.6インチ）にします。136桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。

設定項目	カンジショタイ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 漢字に使用する書体を選択します。
設定値	ミンチョウ（初期設定）	明朝体を選択します。
	ゴシック	角ゴシック体を選択します。
	セイカイショ *	正階書体を選択します。
	マルゴシック *	丸ゴシック体を選択します。
	キョウカショ *	教科書体を選択します。
	ギョウショ *	行書体を選択します。

* オプションのフォントROMモジュールを装着すると、「セイカイショ」「マルゴシック」「キョウカショ」「ギョウショ」の4種類が表示されます。装着したフォントROMモジュール名を選択してください。

ESC/Pageカンキョウメニュー

ESC/Page モードで選択できる設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フッキカイギョウ	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に復帰改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動復帰改行動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カイページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動改ページ動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	CR	CR の動作を選択します。
設定値	CR ノミ（初期設定）	CR（復帰）動作のみを行います。
	CR+LF	CR（復帰）と同時に LF（改行）動作も行います。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	LF	LF（改行）の動作を選択します。
設定値	CR+LF（初期設定）	LF（改行）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	LF ノミ	LF（改行）動作のみを行います。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	FF	FF（改ページ）の動作を選択します。
設定値	CR+FF（初期設定）	FF（改ページ）と同時に CR （復帰）動作も行います。
	FF ノミ	FF（改ページ）動作のみを行います。

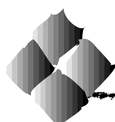
スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
設定値	OFF（初期設定）	無視します。
	ON	スペースに置き換えます。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
設定値	1（初期設定）	15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	全角フォントを優先して印刷します。
	3	半角フォントを優先して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォームオーバーレイ *	フォームオーバーレイを実行するかを選択します。オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。
設定値	OFF（初期設定）	フォームオーバーレイを実行しません。
	ON	フォームオーバーレイを実行します。ここで設定すると、ESC/P モードでも実行されます。

設定項目	フォームバンゴウ *	実行するフォームオーバーレイの番号を選択します。フォームデータが書き込まれたフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着されている場合に表示されます（オプション装着時）。
設定値	1 ～ 512	フォームオーバーレイROMモジュールをROMモジュール用ソケット A/B 両方に装着している場合、フォームデータの番号はソケット A→ソケット B の順番で設定されます。

* フォームデータの作成 / 使用方法や、フォームオーバーレイ ROM モジュールへの登録方法については、「EPSON Form!4」、「フォームオーバーレイ ROM モジュール」に添付の取扱説明書を参照してください。



節電の設定方法

節電機能を使用すると、印刷待機時の消費電力を節約することができます。

本機の節電機能について

本機は「節電レベル 1」と「節電レベル 2」の 2 つの節電状態があります。

節電状態	節電状態になるまでの時間	説明
節電レベル 1	設定した時間の半分 (初期設定の場合:30 分)	プリンタ内部の定着器の温度を低くするなどの処理により、節電を行います。 節電レベル2状態より消費電力は高い状態ですが、印刷再開時のウォーミングアップに要する時間は短くなります。
節電レベル 2	設定した時間	プリンタ内部の定着器の温度を低くするなど(初期設定値:60 分)の処理により、節電を行います。 節電レベル1状態より消費電力は低くなりますが、印刷再開時のウォーミングアップに要する時間は長くなります。

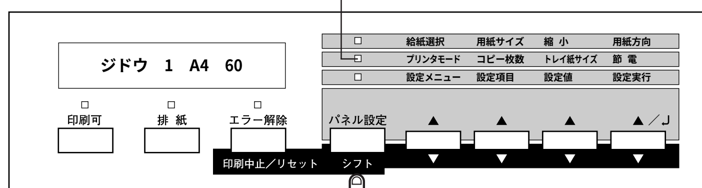
設定方法

節電機能の設定は、「節電レベル 2」状態になるまでの時間を指定することで行います。節電は、ワンタッチ設定モード 2 または階層設定モードのどちらかで設定できます。ここでは、操作の簡単なワンタッチ設定モード 2 での設定手順を説明します。



- **初期設定値は、節電状態（節電レベル 2）に入るまでの時間が 60 分に設定されています。**
- **節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始までしばらく時間がかかります。**

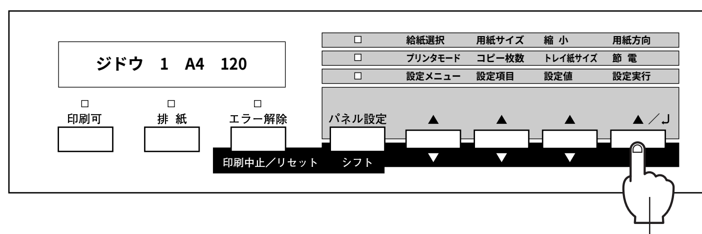
1 パネル設定 スイッチを 2 回押します。



2 **設定実行 スイッチを押します。**

スイッチを押すごとに、設定が切り替わります。

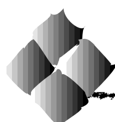
60 → 120 → 180 → OFF



スイッチを押して設定を
変更します

3 **印刷可 スイッチを押します。**

ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。



ステータスシートの印刷

ステータスシートは、プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものです。ステータスシートを印刷することにより、プリンタの現在の情報を知ることができます。

ステータスシートは、プリンタドライバがインストールされているコンピュータからも印刷できます。
☞セットアップガイド「ステータスシートの印刷」Windows 49 ページ
Macintosh 58 ページ


ポイント

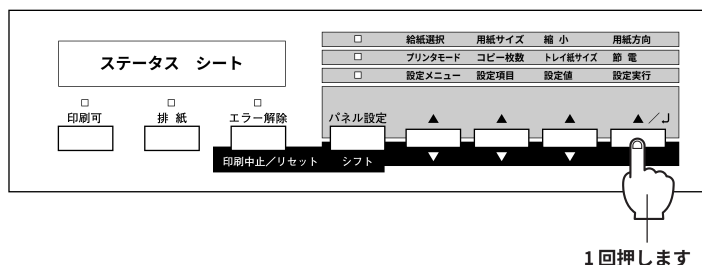
ステータスシートの印刷は、次の場合に行います。
- **プリンタの動作に異常がないかを確認する場合**
- **プリンタの現在の設定状態を確認したい場合**
- **プリンタにオプションを装着した場合（装着したオプションが正しく認識されていれば、ステータスシートの印刷内容に、そのオプションが追加されます。）**

1 **電源 スイッチをオンにし、印刷可状態にします。**
印刷可ランプが点灯します。
プリンタに用紙がセットされていない場合は、用紙トレイか用紙カセットに A4 サイズの用紙をセットしてください。


ポイント

パネル設定で、設定した給紙装置に用紙がセットされているか確認してください。セットされていない場合は用紙をセットするか給紙装置を変更してください。
☞本書「ワンタッチ設定モード 1 での設定方法」129 ページ

2 **設定実行 スイッチを押します。**
ディスプレイに「ステータスシート」と表示されます。



3 **もう一度 設定実行 スイッチを押し、ステータスシートを印刷します。**
- ディスプレイの表示が点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を始めるまで十数秒間がかかります）。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯します。

ステータスシートがうまく印刷されないときは、「困ったときは」を参照してください。



16進ダンプ印刷

16進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字で印刷する機能です。コンピュータからプリンタへ正しくデータが送られているかどうか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに使うと便利です。

1 **電源 スイッチがオフであることを確めます。**
プリンタに用紙がセットされていない場合は、用紙トレイか用紙カセットに A4 サイズの用紙をセットしてください。

2 **排紙 スイッチを押しながら、電源 スイッチをオンにします。**
ディスプレイに「ヘキサダンプモード」と表示されるまで 排紙 スイッチを押し続けます。
スイッチから手を離すとディスプレイに以下のように表示され、16進ダンプモードに入ります。

ヘキサダンプ

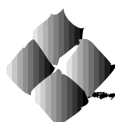
3 **コンピュータからプリンタへデータを送ります。**
プリンタは送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字などで印刷します。


ポイント

印刷中は電源をオフにしないでください。用紙詰まりの原因になります。

4 **印刷が終了したら、データランプが消灯していることを確認します。**
データランプが点灯している場合、プリンタ内に印刷されていないデータが残っています。この場合は 印刷可 スイッチを押して印刷不可状態にした後、排紙 スイッチを押すと、プリンタ内のデータが印刷されて排紙されます。

5 **16 進ダンプの印刷が終了したら、16 進ダンプモードを解除します。**
電源 スイッチをオフにする、またはリセットオールすると、次の電源オンからは通常のモードで起動します。



リセット/リセットオールについて

リセットについて

リセットを行うと、プリンタは印刷を中止します。
また、現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。キャッシュ[*1]されたフォントは記憶しています。
次のような場合に、リセットしてください。

*1 キャッシュ：一度印刷したフォントをメモリに記録しておき、再びそのフォントが必要な時はメモリに記録したフォントを使用することで印刷を高速化する手法。

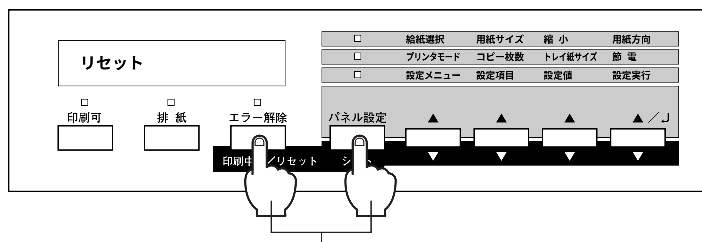
- **同一のデータを複数枚コピー印刷している時の、印刷のキャンセル**
- **不正なデータ（画面とは違う文字など）が印刷され始めたときの、印刷の中止**
- **ディスプレイに「リセットシテクダサイ」と表示されたとき**

リセットのしかた

シフト スイッチ（パネル設定 スイッチ兼用）を押したまま エラー解除 スイッチを押します。


ポイント

両方のスイッチを5秒以上押したままにするとリセットオールされてしまいますので、注意してください。




ポイント

プリンタが印刷データの処理をしているとき、あるいは一部のDOSアプリケーションで印刷中もしくは印刷データ待ちのときにパネル設定を変更すると、[リセットシテクダサイ] と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

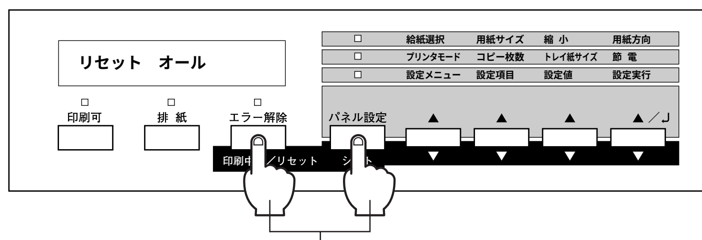
リセットオールについて

リセットオールを行うと、プリンタは印刷を中止します。
プリンタは電源スイッチをオンにした直後の状態まで初期化され､全てのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データとキャッシュに保存されたフォントを消去します。
次のような場合に、リセットオールを行ってください。

- **いずれかのインターフェイスの[受信バッファサイズ]の設定を変更した場合**

リセットオールのしかた

シフト スイッチ(パネル設定 スイッチ兼用)を押したまま エラー解除 スイッチを､ディスプレイに「リセットオール」と表示されるまで（約5秒間）押したままにします。



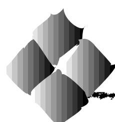
シフト（パネル設定）スイッチを押したまま エラー解除 スイッチを液晶ディスプレイに「リセットオール」と表示されるまで（5 秒間）押したままにします

第6章

オプションについて

LP-8200C Options

ここでは、オプションについて説明しています。



オプションの紹介

オプションの入手方法

本機のオプションを購入される場合は、本機を購入された販売店にお問い合わせください。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

<table>
<tr><th></th><th>メーカー</th><th>機種</th><th>接続ケーブル</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="3">DOS/V 系</td><td>EPSON</td><td rowspan="2">DOS/V 仕様機</td><td rowspan="3">PRCB4N</td><td rowspan="3">ー</td></tr>
<tr><td>IBM、富士通、東芝、他各社</td></tr>
<tr><td>NEC</td><td>PC-98NX シリーズ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">98 系</td><td rowspan="2">EPSON</td><td>EPSON PC シリーズデスクトップ</td><td>＃ 8238</td><td>*1*2</td></tr>
<tr><td>EPSON PC シリーズ NOTE</td><td>市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。</td><td>*1*2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">NEC</td><td>PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）</td><td>PRCB5N</td><td>*1</td></tr>
<tr><td>PC-9801 シリーズデスクトップ（14 ピン）</td><td>＃ 8238</td><td>*1*2*3</td></tr>
<tr><td>PC-9801 シリーズ NOTE（ハーフピッチ 20 ピン）</td><td>市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。</td><td>*1*2*3</td></tr>
</table>

*1 ：拡張漢字（表示専用 7921 ～ 7C7E）は印刷できません。

*2 ：Windows95/98 の双方向通信機能および EPSON プリンタウィンドウ!3 は、コンピュータの機能制限により対応できません。

*3 ：ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。


ポイント

- **NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。**
- **NEC PC-9801LV/LX/LS/Nシリーズは NEC 製の専用ケーブルを使用してください。**
- **富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。**
- **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウエアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウエアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。**
- **ECP モード対応コンピュータを ECP モードで接続する場合、PRCB4N をご使用ください。**

ネットワーク接続用インターフェイスケーブル

シールドツイストペアケーブル（カテゴリー5）

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。
設定などについてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。
標準装備のインターフェイスについては、以下のページを参照してください。
☞セットアップガイド「コンピュータとの接続」31ページ

型　番	名称	解説
PRIF5E	IEEE-1284 双方向パラレルI/Fカード	本機にIEEE-1284規格準拠の双方向パラレルインターフェイスを増設するためのオプションです。
PRIF13	IBM5577プリンタ エミュレーションカード	本機に装着することで、IBM5577-H02プリンタのエミュレーションを実現するオプションです。
PRIFNW1S	マルチプロトコル Enternet I/Fカード	本機をEnternetで接続するための増設オプションです。 IPX/SPX（Netware,Windows95/98/NT4.0）、 TCP/IP（Windows95/98/NT4.0）、 NetBEUI（Windows95/98/NT4.0/OS2/Warp）、 AppleTalkに対応しています。 接続には次のいずれかのケーブルが必要です。 • PRIFNW1S Enternet 10Base2シン（THIN）同軸ケーブルまたはEnternet 10Base-Tツイストペアケーブル • PRIFNW2S Ethernet 10Base-Tツイストペアケーブル Ethernet 100Base-TXツイストペアケーブル（カテゴリー5）
PRIFNW2S	100Base-TX マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	
PRIF14	IEEE1394対応 I/Fカード	本機にIEEE-1394規格（FireWire）のインターフェイスを増設するためのオプションです。


ポイント

- **本機をオプションのインターフェイスカードでEthernet接続するためには、次のいずれかのケーブルが別途必要です。**
  PRIFNW1S:
  Ethernet 10Base2シン（THIN）同軸ケーブル
  Ethernet 10Base-Tツイストペアケーブル
  PRIFNW2S:
  Ethernet 10Base-Tツイストペアケーブル
  Ethernet 100Base-TXツイストペアケーブル（カテゴリー5）
- **ネットワーク環境との接続は、Ethernetインターフェイスコネクタとネットワーク側（HUB）とを上記ケーブルで接続します。**

A3W（ノビ）用紙カセット

本機に標準で装着されている用紙カセットの代わりに差し込んで使用することができます。

型番	商品名	備考
LPCYC1W	用紙カセット（A3W（ノビ））	使用できる用紙サイズ:A3W（ノビ）用紙 セット容量:最大 250 枚


ポイント

A3W（ノビ）用紙カセット（LPCYC1W）は、オプションの増設カセットユニット（LPCWC1/LPCWC2）には、装着できません。
また、使用可能な用紙サイズはA3W（ノビ）：328mm × 453mmのみです。
A3 ノビ：329mm × 483mm は使用できません。

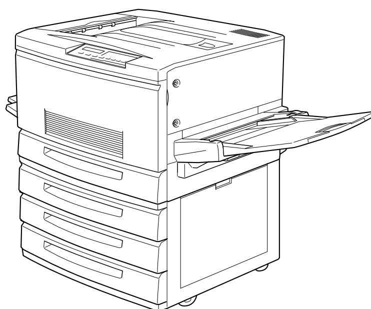
増設カセットユニット

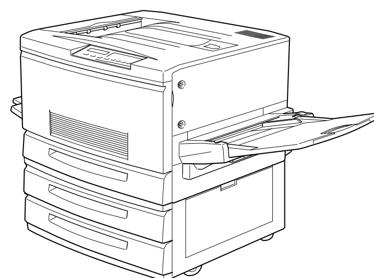
本機に標準装備の用紙カセットと同じ用紙カセットが2基または3基装備されたユニットです。プリンタ下部に装着することにより、標準で装着されているものも含めて最大で 4 段にすることができます。

型番	商品名	備考
LPCWC1[*1]	増設カセットユニット 用紙カセット（容量250枚）×3段	使用できる用紙サイズ： A3、A4、B4、B5、B、LT、LGL 用紙カセット容量：最大 250 枚
LPCWC2[*2]	増設カセットユニット 用紙カセット（容量250枚）×2段	

[*1] ：キャスター付きです。

[*2] ：キャスター付きですが、フット（脚）に付け替えて台の上に置くこともできます。


LPCWC1 装着時


LPCWC2 装着時

増設メモリ

*1 DIMM：
複数個のメモリチップを搭載した基板。
モジュール。

*2 SPD：
メモリの持つパフォーマンスやメモリのタイプ容量などの情報をメモリ内に格納しておく機能。BIOS によってはこの情報に従ってパラメータを自動設定することができます。

本機は、市販の DIMM[*1] を使用することにより、最大 256MB まで内部メモリを増設することができます。メモリを増設することにより、複雑な印刷データも高解像度で印刷できるようになります。また、コンピュータを早く解放したり、アウトラインフォント使用時の処理を高速化できます。
使用できる DIMM の種類は以下の通りです。詳しくは FAX インフォメーションをご利用ください。FAXインフォメーションの問い合わせ先は本書裏表紙をご覧ください。

- DRAM タイプ　：SDRAM（シンクロナス DRAM）
- 容量　：32、64、128、256MB
- 形状　：168 ピン DIMM（デュアルインラインパッケージ）
- データバス幅　：64bit
- アクセスタイム：66.66MHz 以上
- 電源　：3.3V
- SPD[*2]　：使用
- バッファ　：なし
- JEDEC 準拠
（パリティ機能のないものも使用できます）


ポイント

- **増設できる DIMM は 2 枚です。**
- **本機が扱えるメモリは最大 256MB です。標準のメモリ（32MB）と DIMM の合計が 256MB より大きい場合、256MB を超えた分のメモリは使用されません。**
- **使用できる SDRAM については、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。インフォメーションセンターは本書裏表紙をご覧ください。**

フォントROMモジュール

オプションのフォント ROM モジュールです。
オプションの ROM モジュールを 2 枚装着することができます。

型　番	商品名
LPFR1	正楷書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR2	行書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR3	教科書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR4	丸ゴシック体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR5	太角ゴシック体・太明朝体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR6	太丸ゴシック体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR7	太行書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFROCB	OCR フォント / バーコード ROM モジュール

フォームオーバーレイユーティリティ

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを別々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷された用紙を用意しなくても帳票などを印刷することができます。

フォームオーバーレイユーティリティ「EPSON Form!4」は、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。作成したフォームデータを使用しての印刷はWindowsプリンタドライバ上で行います。

型　番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4（カラーのフォームデータを作成できます。Windows95/98/NT4.0上で使用可能です。）

オーバーレイROMモジュール

オプションの専用フォームエディタEPSON Form!（3以降のバージョン）で作成したフォームデータ（書式のデータ）を登録するためのROMモジュールです。

モノクロのフォームデータのみ登録できます。

フォームオーバーレイROMモジュールに登録したフォームデータは、Windowsプリンタドライバ上で呼び出して使用できます。

フォームオーバーレイROMモジュールからフォームデータを呼び出す場合、ROMモジュールソケットA/Bどちらに装着してもかまいません。

フォームオーバーレイROMモジュールにフォームデータを登録する場合は、ROMモジュール用ソケットAに装着したフォームオーバーレイROMモジュールに対してのみ可能です。

型　番	商品名
LPFOLR1M	フォームオーバーレイROMモジュール（1MB）
LPFOLR4M	フォームオーバーレイROMモジュール（4MB）


ポイント

- **フォームオーバーレイROMモジュールには、モノクロのフォームデータのみ登録可能です。**
- **フォームデータの登録は、ROMモジュール用ソケットAに装着したフォームオーバーレイROMモジュールに対してのみ可能です。**
- **モノクロのフォームデータはモノクロ印刷でのみ使用できます。Windows95/98/NT4.0でモノクロのフォームデータを使用する場合は、プリンタドライバでモノクロ印刷の設定にしてください。（［基本設定］画面で［色］を［黒］に設定）**

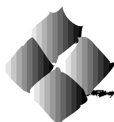
ハードディスクユニット

プリンタにハードディスクユニットを装着すると、プリンタ側での部単位印刷ができるようになります。

型番	商品名
LPHD1	ハードディスクユニット

オプション装着後の設定（Windows）

Windows をご利用の場合、オプションによっては、プリンタドライバでオプションの設定をする必要があります。
☞セットアップガイド「オプションと給紙装置の設定」47 ページ



メモリ/ROMモジュール/ハードディスクユニットの取り付け

取り付け作業にはプラスドライバが必要です。ご用意ください。

取り付け手順

⚠ 注意

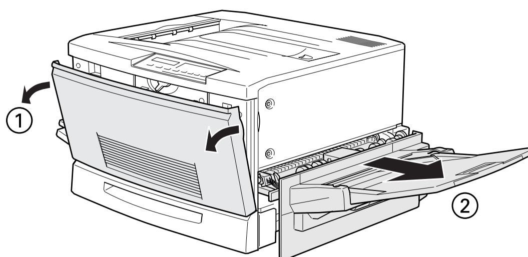
カバーの内側や内部のバネなどで、手などを傷付けないように注意しながら作業を行ってください。



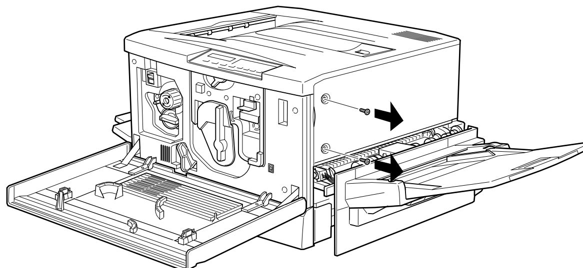
- **作業の前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態でメモリ/ROMモジュール/ハードディスクユニットにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。**
- **必ずプリンタの電源をオフにして作業を行ってください。**

1 **プリンタの電源をオフにします。**

2 **前カバーを開け、紙送りユニットを10cm以上引き出します。**



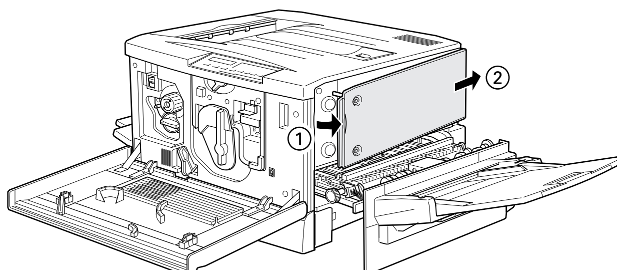
3 **右上カバーのネジ（2本）を外します。**



4 **次の手順で右上カバーを外します。**

①右上カバーの、プリンタ後方側を支点にしてプリンタ正面側を図のように 20 〜 30 度回転させるように開きます。

②右上カバーをプリンタ後方にずらして取り外します。



5 **増設メモリ用ソケット、ROM モジュール用ソケット、ハードディスクユニット接続コネクタの位置を確認します。**


注意

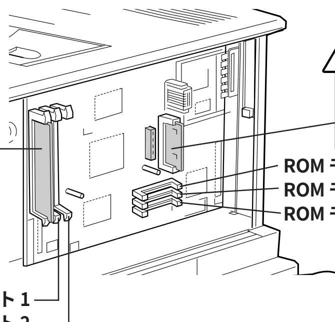
プリンタ内部にはじめから装着されているメモリは絶対に取り外さないでください。取り外すと、プリンタが動作しなくなります。



標準メモリは取り外さないでください。



標準 ROM は取り外さないでください。



ROM モジュール用ソケット A
ROM モジュール用ソケット B
ROM モジュール用ソケット C
増設メモリ用ソケット 1
増設メモリ用ソケット 2


ポイント

3 つの ROM モジュールソケットの内、使用可能なソケットは A、B の 2 つです。ROM モジュール用ソケット C は、ROM モジュールを装着しても使用できません。

6 次の手順で増設メモリ、ROMモジュール、ハードディスクユニットを装着します。



- 装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。

増設メモリを装着する場合

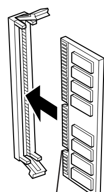


本機に装着できる増設メモリの仕様は、以下の通りです。
- DRAMタイプ ：SDRAM（シンクロナスDRAM）
- 容量 ：32、64、128、256MB
- 形状 ：168ピンDIMM

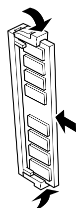
メモリは最大256MBまで増設できます。標準のメモリ（32MB）と増設メモリの合計が256MBより大きい場合、256MBを超えた分のメモリは使用されません。使用できるSDRAMについては、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。インフォメーションセンターについては本書裏表紙をご覧ください。

ソケット1または2のどちらから装着してもかまいません。また1枚のみの装着でもかまいません。

① 増設メモリをまっすぐにソケットに差し込みます。



② 増設メモリが正しく差し込まれると、ソケット左右のツメが増設メモリの左右の切り欠きにかみ合い、固定されます。

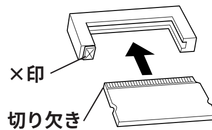


ROM モジュールを装着する場合

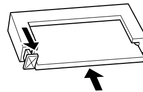
ソケット A または B：

・フォームオーバーレイ ROM モジュールにフォームを登録する場合は、ソケット A に装置します。登録したフォームを利用するには、ソケット A または B どちらに装着してもかまいません。
・フォント ROM モジュールは、ソケット A または B どちらに装着してもかまいません。
・ソケット A と B には、フォームオーバーレイ ROM モジュールとフォント ROM モジュールを混在させてもかまいません。

① ROM モジュールの切り欠きのある側を、ソケット端の×印のある側に向け、図のようにまっすぐソケットに差し込みます。



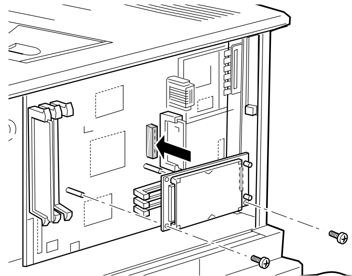
② ROMモジュールが正しく装着されると、ソケット端の×印の部分が飛び出した状態になります。



ハードディスクユニットを装着する場合

オプションのハードディスクユニットは、装着して初めてプリンタの電源をオンにすると自動的に初期化されます。

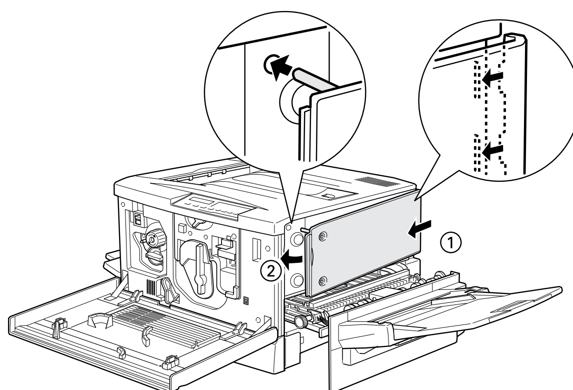
①ハードディスクユニットの接続コネクタを、プリンタの基盤上の接続コネクタに差し込みます。
②付属のネジ（2 本）でハードディスクユニットを固定します。



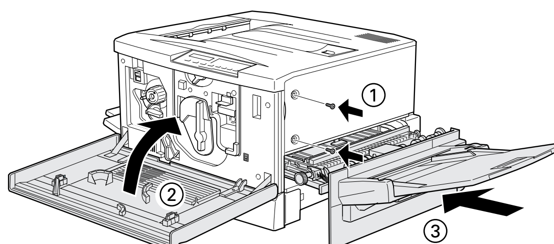
7 **次の手順で右上カバーを取り付けます。**

①右上カバーのプリンタ後方側のフックをプリンタ本体の溝に引っかけます。

②右上カバー内側の突起とプリンタ本体の穴の位置を合わせて、カバーを閉じます。



8 **右上カバーをネジ（2 本）で固定してから、前カバーと紙送りユニットを閉じます。**





メモリを増設したり、ROMモジュールやハードディスクユニットを取り付けた場合、Windowsでは、プリンタドライバでオプション設定をする必要があります。

☞セットアップガイド「オプションと給紙装置の設定」47 ページ

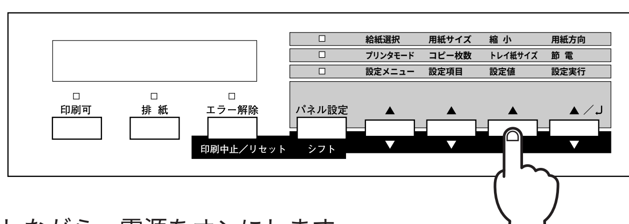
ハードディスクユニットの初期化

ハードディスクユニットは、装着して初めてプリンタの電源をオンにすると、自動的に初期化されます。ハードディスクに関連するエラーが発生し、正常に動作しない場合のみ、以下の手順で初期化してください。


ポイント

初期化を行うと、ハードディスクに保存した内容は消去されます。

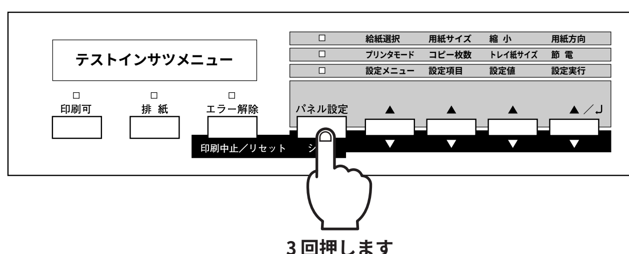
1 **設定値 スイッチを押しながら、電源をオンにします。**



押しながら、電源をオンにします

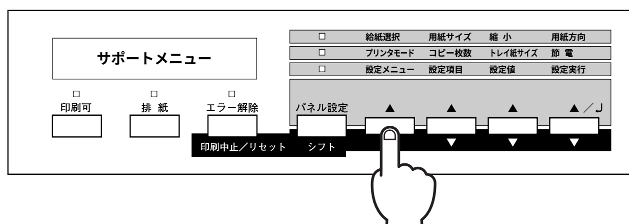
2 **パネル設定 スイッチを 3 回押します。**

このときディスプレイには「テストインサツメニュー」と表示されます。階層設定モードランプが点灯します



3 回押します

3 **[サポートメニュー] がディスプレイに表示されるまで、設定メニュー スイッチを押します。**

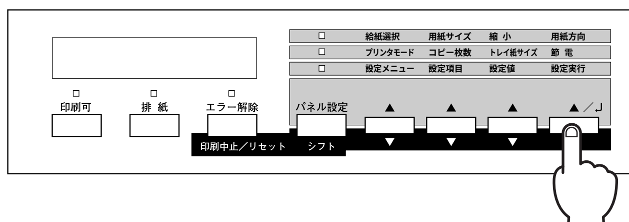


4 **設定項目 スイッチを押して、設定項目を選択します。**

設定項目	説明
HDD ショキカ	ハードディスクユニットの初期化（フォーマット）を行います。保存していたデータはすべて消去されます。

5 **設定実行 スイッチを押します。**

選択した初期化作業が開始され、終了すると自動的にプリンタが再起動して通常の状態に復帰します。



以上でハードディスクユニットの初期化は終了です。



インターフェイスカードの取り付け

取り付け作業にはプラスドライバが必要です。ご用意ください。



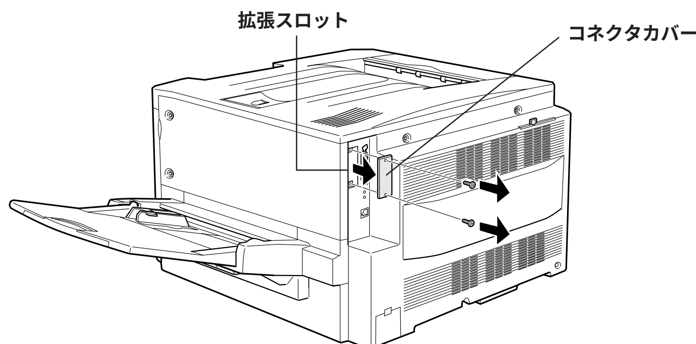
注意

- **インターフェイスカードの取り付けの前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態で作業を行うと、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。**
- **必ずプリンタの電源をオフにして作業を行ってください。**

1 **プリンタの電源をオフにします。**

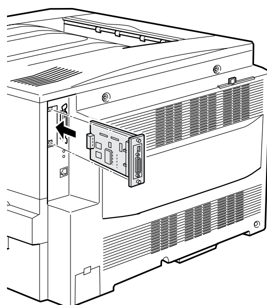
2 **インターフェイスカードの取扱説明書を参照して、カード上のスイッチ類などの設定を行います。**

3 **プリンタ本体背面のコネクタカバーのネジ（2 本）を外し、コネクタカバーを取り外します。**

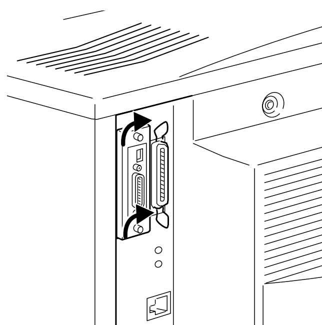


取り外したコネクタカバーは大切に保管しておいてください。

4 インターフェイスカードの上面を外側に向け、スロット内部の溝に合わせてまっすぐに差し込みます。



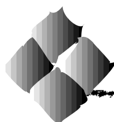
5 インターフェイスカードを、ネジ（2 本）で固定します。



第7章
消耗品の交換について

LP-8200C
Maintenance

ここでは、消耗品の交換手順と、どのようなときに交換すれば良いかについて説明しています。



消耗品のご案内

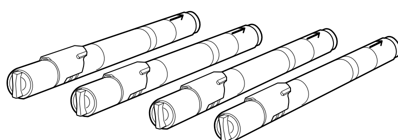
消耗品の入手方法

本機の消耗品を購入される場合は、本機を購入された販売店にお問い合わせください。

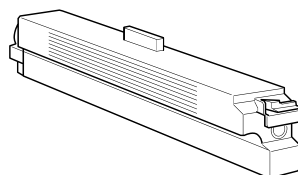
消耗品

次の消耗品は、各消耗品の寿命が近づくと本機の液晶ディスプレイやEPSONプリンタウィンドウ!3に交換をうながすメッセージが表示されます。これらのメッセージが表示された場合、早めの交換をお薦めします。

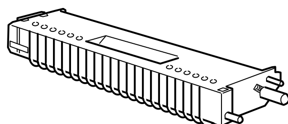
●ET カートリッジ（4 種類）
（型番： LPCA3ETC1C(シアン)
LPCA3ETC1M(マゼンタ)
LPCA3ETC1Y(イエロー)
LPCA3ETC1K(黒)）



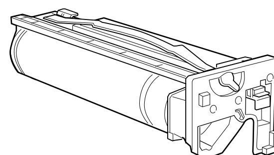
●廃トナーボックス
（型番：LPCA3HTB1）



●定着オイルロール
（型番：LPCA3TOR1）



●感光体ユニット（廃トナーボックス含む）
（型番：LPCA3KUT1）



次の消耗品は、最良の印刷結果を得るための本機専用の用紙です。
印刷の目的に応じてご使用ください。

●EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙
（型番： LPCPPA4(A4 サイズ)
LPCPPB4(B4 サイズ)
LPCPPA3(A3 サイズ)
LPCPPA3W
(A3W（ノビ）サイズ)）

●EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シート
（型番：LPCOHPS1（A4サイズ））



上記以外のEPSON製専用紙、およびEPSON製OHPシートは本機で使用しないでください。また、他社製プリンタ用の専用紙は本機で使用しないでください。紙詰まりや故障の原因となります。



ETカートリッジの交換

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。

ETカートリッジについて

本機で使用可能な ET カートリッジは次の通りです。
ET カートリッジは、トナーの色によって 4 種類があります。

● ET カートリッジ（シアン）　：型番 LPCA3ETC1C
● ET カートリッジ（マゼンタ）：型番 LPCA3ETC1M
● ET カートリッジ（イエロー）：型番 LPCA3ETC1Y
● ET カートリッジ（黒）　　　：型番 LPCA3ETC1K

取り扱い上の注意

- ET カートリッジ装着部の色を確認して、同じ色の ET カートリッジを装着してください。
- 一度プリンタに取り付けた ET カートリッジは再利用しないでください。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、ET カートリッジを室温に慣らすため 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに洗い流してください。
  トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

⚠ 警告

使用済みの ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

保管上の注意

- ET カートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35℃
  湿度範囲：15 ～ 80%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT ディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

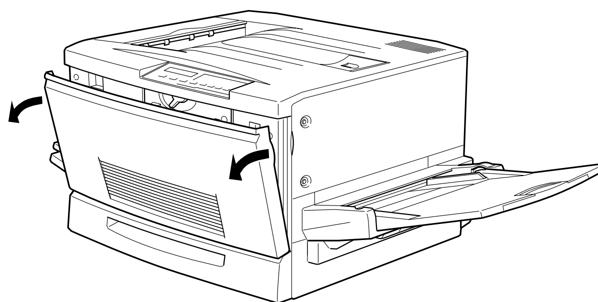
資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みETカートリッジの回収方法については、新しいETカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済みETカートリッジを処分される場合は、ビニール袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

ETカートリッジの交換手順

1 **操作パネルの液晶ディスプレイのメッセージを参照して、交換するETカートリッジの色を確認します。**

2 **プリンタ本体の前カバーを開きます。**



3 **ETカートリッジの装着口のETカートリッジの色を確認します。**

交換する色のETカートリッジが装着口の位置にある場合は次ページの**4**に進みます。

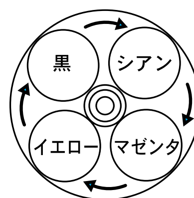
交換する色のETカートリッジが装着口の位置にない場合は、下図の①、②を繰り返して、交換する色のETカートリッジが装着口に来るようにします。

①スイッチを上に押し上げます

② ノブを矢印の方向に止まるまで回します。ノブが止まると、装着口の右側のETカートリッジが装着口の位置に来ます。

スイッチを上げたら、スイッチから指を離してください。



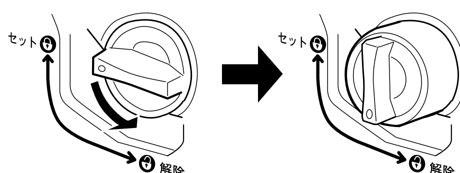




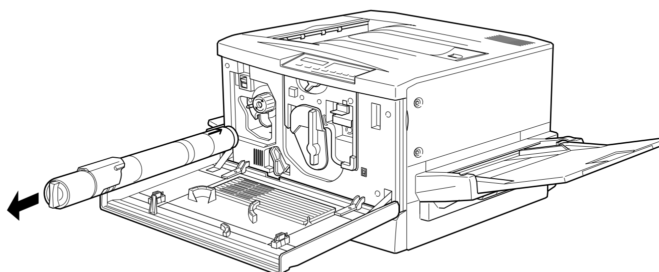
スイッチを上に押し上げていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さずに、スイッチを押し上げてから回してください。

4 交換するETカートリッジを、次の手順で取り出します。

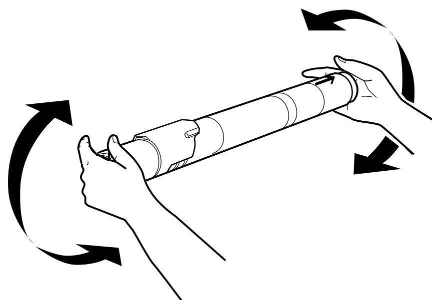
①ETカートリッジ後端のツマミを持ち、ツマミの○が解除の位置にくるまで矢印の方向に約90度回します。ツマミを回すと同時にETカートリッジが装着口から引き出されます。
ツマミが垂直になり、これ以上回らなくなったら②に進みます。



②ETカートリッジをまっすぐ引き出します。

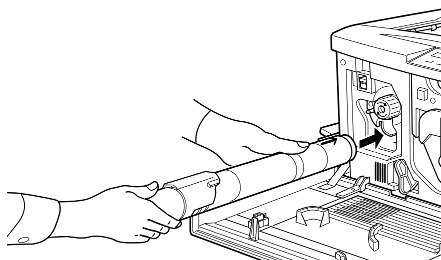


5 新しいETカートリッジを梱包から取り出したら、図のように左右に傾けて7～8回振り、中のトナーを均一にします。

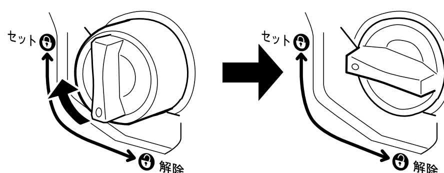


6 ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、次の手順で装着します。

①ETカートリッジ先端のオレンジ色の矢印を上に向け、装着口に差し込みます。
ETカートリッジ先端が装着口の奥に当たるまで差し込んだら、②に進みます。



②ETカートリッジ後端のツマミを持ち、ツマミの○がセットの位置に来るまで矢印の方向に約90度回します。ツマミを回すと同時にETカートリッジが装着口に押し込まれます。ツマミが水平になり、これ以上回らなくなったらETカートリッジの装着は完了です。





ETカートリッジのツマミは、セット位置に止まるまでしっかりと回してください。装着が不完全な場合は、トナー供給不足やトナー漏れの原因となります。

7 他の色のETカートリッジも交換する場合は、3～6の手順を繰り返して交換を行います。

8 プリンタの前カバーを閉めて操作パネルの液晶ディスプレイを確認します。

交換が必要なETカートリッジをすべて交換して、前カバーを閉じると自動的に印刷可能な状態に戻ります。またプリンタ内部のトナー残量のカウンタは、新しいETカートリッジを取り付けることでリセットされます。



定着オイルロールの交換

ここでは、定着オイルロールの交換方法を説明しています。

定着オイルロールについて

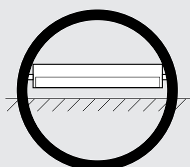
定着オイルロールは、定着器にトナーが付かないように、定着器のローラ部分にオイルを塗布する装置です。
本機で使用可能な定着オイルロールは次の通りです。
●定着オイルロール：型番 LPCA3TOR1

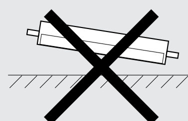
取り扱い上の注意

- 定着オイルロールの白いロール部分には直接触れないようにしてください。白いロール部分にはオイルが塗布されています。オイルは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなるため、オイルが手や衣服に付いた場合はすぐに洗い流してください。
- 定着オイルロールの白いロール部分に触れたり、傷を付けないように注意してください。オイル漏れの原因となります。また、印刷品質低下の原因となります。
- 定着オイルロールを置く場合は、定着オイルロールを立てかけたり、斜めにしないようにしてください。定着オイルロールは平らな場所に置いてください。



定着オイルロールは、常に水平の状態で扱ってください。立てかけたり、斜めにすると、オイルが漏れて印字品質などに影響が出ます。





⚠ 警告

定着オイルロールは、絶対に火の中に投じたり、火に近づけたりしないでください。引火により火災の原因となることがあります。

保管上の注意

- 定着オイルロールは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 〜 35℃
  湿度範囲：15 〜 80%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てかけた状態で保管しないでください。平らな場所で保管してください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

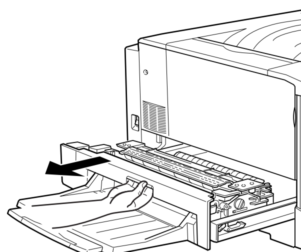
使用済みの消耗品のお取り扱いについて

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み定着オイルロールの回収方法については、新しい定着オイルロールに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済み定着オイルロールを処分される場合は、ビニール袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

定着オイルロールの交換手順

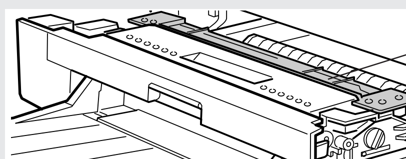
1 **定着ユニット（左側下部のユニット）を図の方向に止まるまで引き出します。**

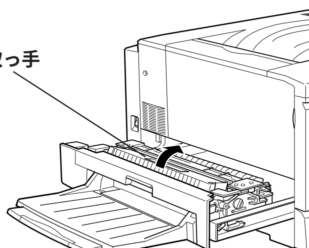


2 **定着オイルロールの取っ手を持ち、図の矢印の方向にプリンタ本体から取り出します。**



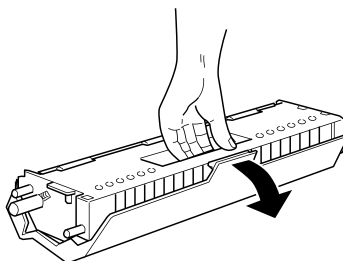
プリンタ内部の定着器やその周辺部分には絶対に触れないでください。高温のため、火傷の原因となることがあります。



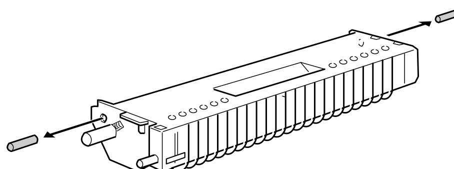


3 **新しい定着オイルロールを梱包から取り出し、次の手順で保護材を取り外します。**

①定着オイルロールのカバーを、図の方向に取り外します。



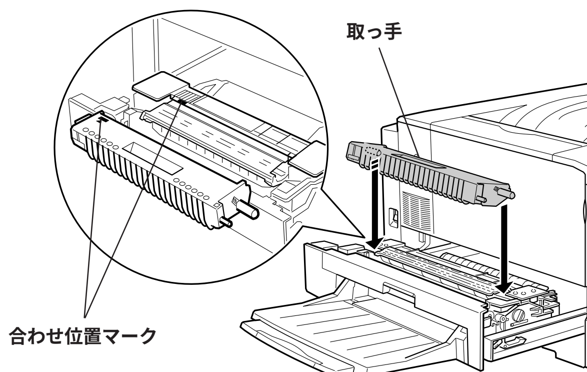
②定着オイルロール側面のピンを、図の方向に抜いて取り外します。



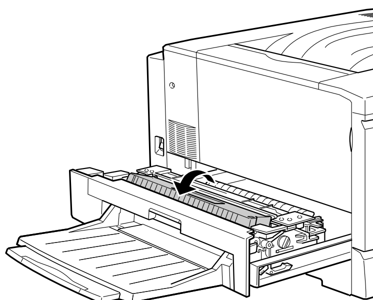


- **定着オイルロールの白いロール部分には直接触れないようにしてください。**
  白いロール部分にはオイルが塗布されています。オイルは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなるため、オイルが手や衣服に付いた場合はすぐに洗い流してください。
- **定着オイルロールの白いロール部分に触れたり、傷を付けないように注意してください。オイル漏れの原因となります。また、印刷品質低下の原因となります。**

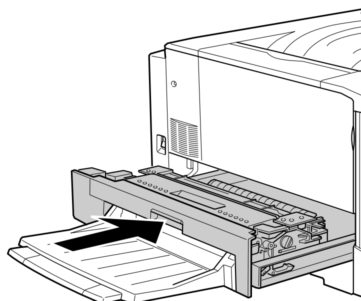
4 **定着オイルロールの取っ手を持ち、緑色の「合わせ位置」マークを合わせて差し込みます。**



5 定着オイルロールを図の矢印の方向に回転させ、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



6 定着ユニットを、プリンタ本体に押し込んで閉じます。





感光体ユニットの交換

ここでは、感光体ユニットの交換方法を説明しています。

感光体ユニットについて

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置です。感光体（青い円筒部分）、感光体クリーナ、帯電ロール、廃トナーボックスで構成されています。
本機で使用可能な感光体ユニットは次の通りです。
●感光体ユニット：型番 LPCA3KUT1

取り扱い上の注意

- 感光体（青い円筒部分）の表面は手で触らないでください。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。
  感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れがつくと良好な印刷ができなくなります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。
  室内の明かりの下でも、感光体ユニットを5分以上放置しないでください。
- 感光体表面に傷が付かないよう、作業は平らな机の上で行ってください。
- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。

⚠警告

- **プリンタ内部の定着器やその周辺部分には絶対に触れないでください。**
- **使用済みの感光体ユニットおよび廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。**

保管上の注意

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35℃
  湿度範囲：15 ～ 80%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT ディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くには置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み感光体ユニットの回収方法については、新しい感光体ユニットに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済み感光体ユニットを処分される場合は、ビニール袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

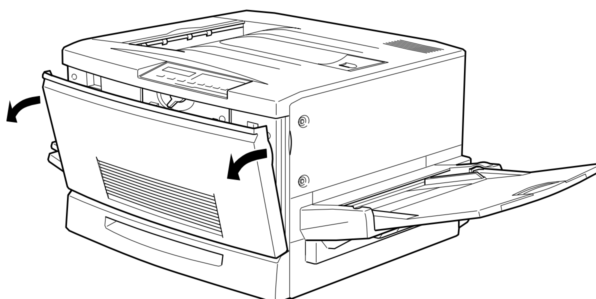
感光体ユニットの交換手順


ポイント

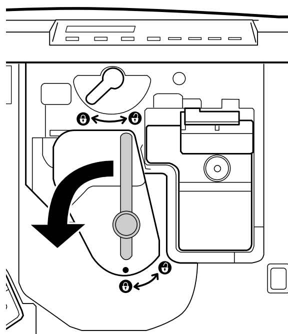
感光体ユニットの交換は、必ず電源をオフにして行ってください。

1 **本機の電源をオフにします。**

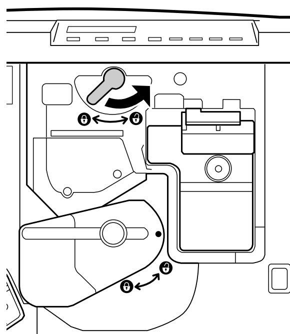
2 **プリンタ本体の前カバーを開きます。**



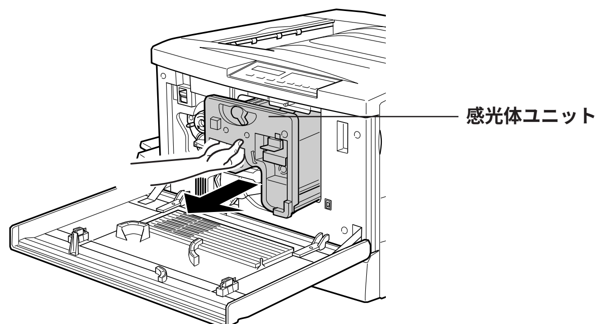
3 **図の黄色いレバーを矢印の方向に、🔓まで回します。**



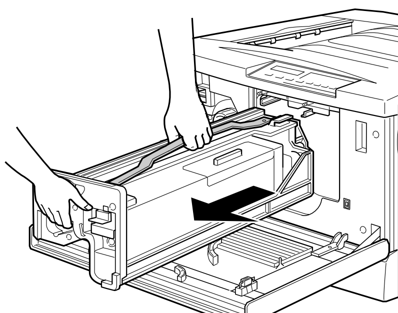
4 図の黄色いレバーを矢印の方向に、🔓まで回します。



5 感光体ユニットの取っ手を持って、20cmほど手前に引き出します。



6 感光体ユニット上面のオレンジ色の取っ手を持って、ゆっくりと引き出して取り出します。

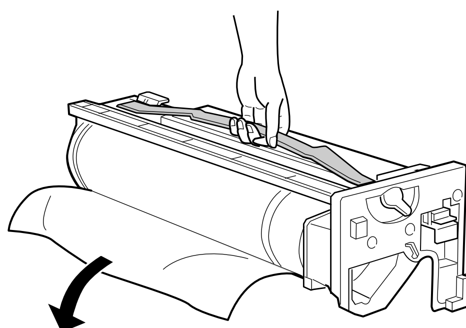


7 新しい感光体ユニットを梱包から取り出し、保護シートをはがします。

感光体ユニットは、机の上などに置かず、必ず持ったままの状態で作業を行ってください。

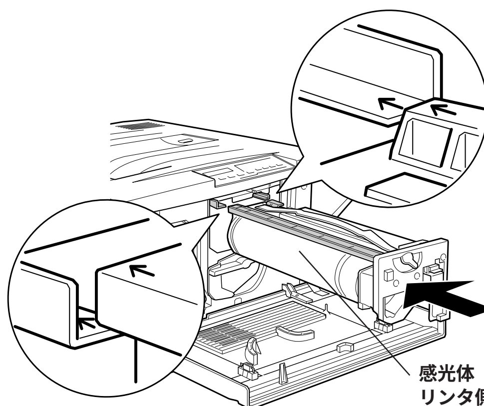


- **感光体（青い円筒形の部分）の表面は手で触らないでください。また感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり傷が付くと、印刷品質が悪くなります。**
- **感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 5 分以上放置しないでください。**



8 感光体ユニットの上部のオレンジ色の取っ手を持ち、左右のガイド部をプリンタ内のレールに合わせて、まっすぐ押し込みます。

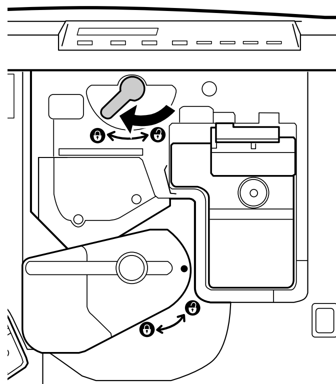
感光体はプリンタの奥までしっかり押し込んでください。



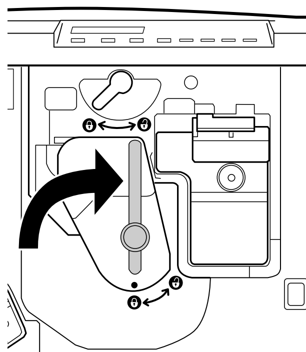


感光体ユニットのガイドは、プリンタ内のレールに正しく合わせて、プリンタの奥までしっかり押し込んでください。その際に、感光体（青い円筒部分）を他の部品に接触させないよう十分注意してください。

9 黄色いレバーを矢印の方向に、まで回します。



10 黄色いレバーを矢印の方向に、まで回します。



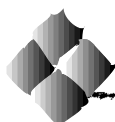
11 プリンタの前カバーを閉めます。



前カバーが閉じない場合は、レバーをしっかりと回しているか確認してください。

⚠警告

使用済みの感光体ユニットや廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。



廃トナーボックスの交換

ここでは、廃トナーボックスの交換方法を説明しています。

廃トナーボックスについて

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。本機で使用可能な廃トナーボックスは次の通りです。

●廃トナーボックス：型番 LPCA3HTB1

廃トナーボックスは、感光体ユニット（型番 LPCA3KUT1）にも組み込まれています。感光体ユニットの寿命よりも廃トナーボックスの寿命が先に終わった場合に、廃トナーボックスを交換してください。

取り扱い上の注意

使用済みの廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。



使用済みの廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

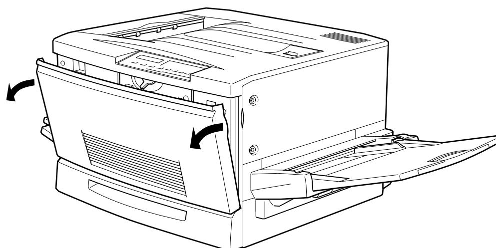
資源の有効活用と地球の環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み廃トナーボックスの回収方法については、新しい廃トナーボックスに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済み廃トナーボックスを処分される場合は、ビニール袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示従って廃棄してください。

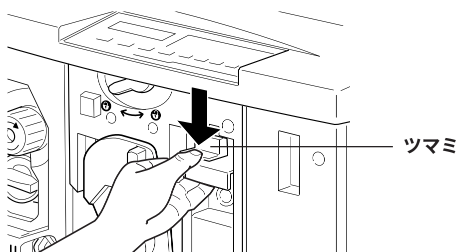
廃トナーボックスの交換手順



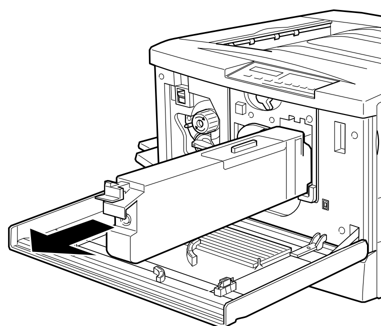
プリンタ本体の前カバーを開きます。



2 **廃トナーボックスの取っ手を持ち、ツマミの部分を下に押し下げます。**

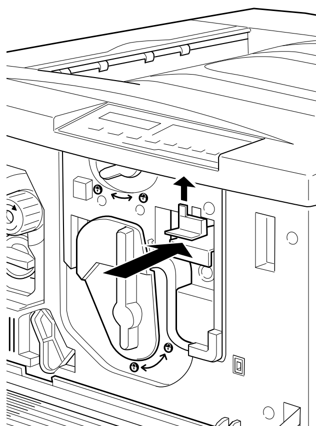


3 **廃トナーボックスを、まっすぐに引き出して取り外します。**



4 **新しい廃トナーボックスを梱包から取り出します。**

5 **新しい廃トナーボックスの取っ手を持ち、プリンタに差し込みます。**
取っ手の上部のツマミがカチッと音をたて、プリンタ側とかみ合うまで差し込んでください。



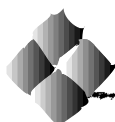
6 **プリンタ本体の前カバーを閉めます。**
廃トナーボックスを新しい物に交換し、前カバーを閉めると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。
また廃トナーボックスの空き容量算出用のカウンタもリセットされます。

第8章

困ったときは

LP-8200C Troubleshooting

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。



故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらまず、以下の項目をチェックしてください。それでも症状が改善されない場合は、それぞれのお問い合せ先へご連絡ください。

チェック項目

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選びそれぞれのページをご覧ください。



操作パネルのメッセージ

ステータスメッセージ

プリンタが正常に動作している場合に、現在の状態を表示します。
メッセージはアイウエオ順に記載してあります。

表示・説明	処置
ROMモジュールA　カキコミチュウ	ソケットAのROMモジュールにデータを書き込み中です。
インサツカノウ	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォームアップ	ウォーミングアップ中です。
エンジン　チョウセイチュウ	良好な印刷品質を保つために、プリンタが印刷機能の自動調整を行っています。 印刷実行中に本メッセージが表示された場合、印刷処理を一時中断します。 自動調整が完了するとメッセージが消え、自動的に印刷を再開します。また、リセットまたはリセットオールを行うと印刷データはすべて削除されます。
オフライン	印刷データの作成やデータ受信は行いますが、印刷動作を開始しない状態です。 印刷可スイッチまたはエラー解除スイッチを押すことにより、、現在の状態を表示します。
システムチェック	自己診断と、初期化を行っています。
ジョブ　キャンセル	何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷処理を中止しました。
セツデン　レベル1	節電で指定した時間の半分が経過し、節電レベル1の状態になっています。 節電レベル2より消費電力は多い状態ですが、印刷再開時のウォーミングアップ時間は短くなります。 データの受信、またはリセットで解除されます。
セツデン　レベル2	節電で指定した時間が経過し、節電レベル2の状態になっています。 節電レベル1より消費電力は少ない状態ですが、印刷再開時のウォーミングアップ時間は長くなります。データの受信、またはリセットで解除されます。
ヨウシハイシチュウ	プリンタ内に残っている印刷データを、排紙スイッチによって印刷・排紙中です。
リセット（オール）	リセット（オール）処理中です。
リセットシテクダサイ	印刷実行中にパネル設定を変更しました。以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) リセットまたはリセットオールを行います。直後に変更が反映されますが、印刷データはすべて削除されます。 (2) 印刷可スイッチを押します。印刷実行後に変更が反映されます。

ワーニングメッセージ

何らかの注意、警告を表示します。
メッセージが表示された状態でも印刷は可能ですが、以下の説明を参照して、できるだけ早く必要な処置を行ってください。
エラー解除 スイッチを押すことにより、一時的にワーニングメッセージを消すことができますが、電源をオフ / オンすると再度表示されます。

ワーニングメッセージが複数発生している場合は、エラー解除 スイッチを一回押すと次のワーニングメッセージが操作パネルに表示されます。

表示・説明	処置
＊＊＊＊ トナーガ　スクナクナリマシタ 「＊＊＊＊」に表示される色の ET カートリッジのトナー残量が少なくなりました。	「＊＊＊＊」に表示される色の ET カートリッジを新しいものに交換します。
ROM モジュール x フォーマットエラー 書き込み可能で未フォーマットの ROM モジュールがソケットxに装着されています。	はじめて書き込むROMモジュールであれば問題ありません。エラー解除 スイッチを押して表示を消してください。書き込み終了後の ROM モジュールの場合は、以下の操作を行ってください。 (1) エラー解除 スイッチを押して表示を消し、再度書き込みを行います。 (2) 再度このメッセージが表示された場合は、ROMモジュールが破損している可能性があります。プリンタの電源をオフにした後、ROM モジュールを取り外します。
オイルロール　コウカン　マヂカ 定着オイルロールのオイル残量が少なくなりました。	定着オイルロールを新しいものに交換します。
カイゾウドヲ　オトシマシタ メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。印刷後に表示を消すには、エラー解除 スイッチを押します。 再度印刷するときは、解像度が 300DPI になるようプリンタドライバで設定してください。解像度が 600DPI で印刷するには、メモリの増設が必要です。
カンコウタイユニット　コウカン　マヂカ 感光体ユニットの寿命が近づきました。	感光体ユニットを新しいものに交換します。
ハイシグチ　シティエラー フェイスダウントレイに排紙できない用紙のため、フェイスアップトレイに排紙します。	メッセージは エラー解除 スイッチを押すと消えます。プリンタドライバの排紙装置の設定をフェイスアップトレイに設定してください。フェイスダウントレイに排紙する場合は、印刷データの用紙サイズと紙種を変更してください。
ハイトナーボックス　コウカン　マヂカ 廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。	廃トナーボックスを新しいものに交換します。（廃トナーボックスは感光体ユニットに含まれています。感光体ユニットを交換すると廃トナーボックスも交換されます。）

表示・説明	処置
ブスウシテイ デキマセンデシタ 指定した部数の印刷データを扱うためのメモリまたはハードディスクの容量が足りないため、1 部だけ印刷します。	プリンタドライバの設定を［標準］にすることで、プリンタが扱う印刷データの量が少なくなり、複数部の印刷が可能になる場合があります。
プリフィード エラー プリンタが排紙を始めたが、印刷データがエンジンの設定時間に用意できなかったため、強制排紙（白紙印刷）しました。	メッセージは エラー解除 スイッチを押すと消えます。
メモリノ ゾウセツヲ オススメシマス 印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。 印刷後に表示を消すには、エラー解除 スイッチを押します。再度印刷するときは、プリンタドライバを［標準］に設定して印刷してください。 ［高品質］で印刷するためには、メモリの増設が必要です。
ヨウシサイズエラー 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］がシナイに設定されている場合は、エラー解除 スイッチを押します。 ［デバイスメニュー］の［ヨウシサイズフリー］をON に設定しておくことにより、「ヨウシサイズエラー」のメッセージは表示されなくなります。
ヨウシタイプ エラー 印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。	メッセージは エラー解除 スイッチを押すと消えます。 操作パネルの設定で、各給紙装置の用紙タイプの設定を確認してください。

エラーメッセージ

トラブルの発生を表示します。同時に印刷を停止します。印刷を再開するには、以下の説明を参照して、エラー状態の解除に必要な処置を行ってください。

用紙が詰まったときの対処については、本書「用紙が詰まったときは」208 ページを参照してください。
消耗品の交換については、本書「消耗品の交換について」179ページを参照してください。

表示・説明	処置
＊＊＊＊ カートリッジガ　アリマセン 「＊＊＊＊」に表示される色の ET カートリッジがセットされていません。 **＊＊＊＊ トナーカートリッジ　コウカン** 「＊＊＊＊」に表示される色の ET カートリッジが空になりました。	「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、取り付けまたは交換が必要なETカートリッジの色を示します。 C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー K：黒 表示される色のETカートリッジの取り付け、または交換を行います。続いて前カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。 本書「ET カートリッジの交換」181 ページ
＊＊＊＊＊ヲ　セットシテクダサイ 給紙しようとした用紙カセット（＊＊＊＊＊）が抜けています。	抜けている用紙カセットをセットすると、自動的にエラーを解除して、処理を続行します。
＊＊＊＊＊ヲ　ヨコナガニ　イレテクダサイ 給紙方向に対し横長の状態でセットする用紙＊＊＊＊＊が縦長にセットされています。	用紙＊＊＊＊＊の向きを、給紙方向に対し横長の状態にしてセットし直します。
HDD エラー オプションのハードディスクユニットにエラーが発生しました。	プリンタの電源をオフにした後、ハードディスクユニットが正しく装着されているか確認します。
OHP シートガ　タダシクアリマセン EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シートが間違った向きでセットされました。または他の OHP シートがセットされました。	給紙口に詰まっている OHP シートを取り除き、正しい向きで用紙トレイにセットします。 続いて紙送りユニットを開閉するとエラー状態が解除され、紙詰まりの発生した印刷データから印刷を再開します。
ROM モジュール A カキコミエラー 書き込み不可の ROM モジュールに書き込もうとしたか、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケット A に ROM モジュールが装着されていません。	プリンタの電源をオフにした後、右上カバーを取り外して、ROM モジュールを確認します。
ROM モジュール x リードエラー 本プリンタでは利用できない ROM モジュールが装着されています。	プリンタの電源をオフにした後、ROM モジュールを取り外します。 本プリンタで使用可能な ROM モジュールかどうか型番などで確認してください。
Service Req　xxxxx サービスコールエラーが発生しました。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。

表示・説明	処置
オイルロール　ガ　アリマセン プリンタ内部に定着オイルロールがセットされていません。	定着オイルロールの取り付け、または交換を行います。 続いて定着ユニット（本体左側）を閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。 本書「定着オイルロールの交換」185ページ
オイルロール　コウカン 定着オイルロールのオイルがなくなりました。	
オプション I/F カード　エラー 本プリンタでは使用できないインターフェイスカードが挿入されています。	電源をオフにした後、インターフェイスカードを抜きます。
カミオクリユニット　ガ　アイテイマス 紙送りユニット（本体右側）が引き出されています。または確実に閉じていません。	紙送りユニット（本体右側）を確実に閉じます。 紙送りユニットを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
カンコウタイユニット　ガ　アリマセン プリンタ内部に感光体ユニットがセットされていません。 または感光体ユニットが正しくセットされていません。	感光体ユニットの取り付け、または交換を行います。 感光体ユニットの取り付けまたは交換は、本機の電源をオフにして行います。交換後、電源をオンにするとエラー状態が解除されます。 本書「感光体ユニットの交換」189 ページ
カンコウタイユニット　コウカン 感光体ユニットの寿命が終わりました。	
カンコウタイ　ガ　コショウデス 感光体ユニットはセットされていますが、故障が生じています。	
カンコウタイ　ガ　タダシクアリマセン 本機で使用可能なものと異なる感光体ユニットが装着されています。	
ジャム　xxxxx xxxxxの部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。 用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、xxxxx の部分には最大 3 箇所まで表示されます。	本書「用紙が詰まったときは」（208 ページ）を参照して、xxxxxの部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。
テイチャクユニット　ガ　アイテイマス 定着ユニット（本体左側）が引き出されています。または確実に閉じていません。	定着ユニット（本体左側）を確実に閉じます。 定着ユニットを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
ノウド　エラー　インサツ　フカノウ 印刷色が異常に濃い値に設定された印刷データが送られました。	給紙口に詰まっている用紙を取り除きます。 続いて紙送りユニットを開閉して、本機の電源をオフ/オンするとエラー状態が解除されます。 エラーの発生したデータは、アプリケーションソフト側で、色を薄くするなどの設定を行ってください。
ハイシカバー　ガ　アイテイマス 排紙カバー（本体左側）が開いています。または確実に閉じていません。	排紙カバー（本体左側）を確実に閉じます。 排紙カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
ハイトナーボックス　ガ　アリマセン プリンタ内部に廃トナーボックスがセットされていません。	廃トナーボックスの取り付け、または交換を行います。 続いて前カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。 本書「廃トナーボックスの交換」194ページ
ハイトナーボックス　コウカン 廃トナーボックスの空き容量がなくなりました。	

表示・説明	処置
フィーダーカバー　ガ　アイテイマス オプションの増設カセットユニット装着時、増設カセットユニットの給紙カバー（本体右側）が開いています。または確実に閉じていません。	増設カセットユニットのフィーダーを確実に閉じます。 給紙カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
ページエラー　オーバーラン 印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追いつきません。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合は、以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) エラー解除 スイッチを押します。 (2) リセットまたはリセットオールを行います。 ［デバイスメニュー］の［ページエラーカイヒ］を［ON］にすると、このエラーは発生しにくくなります。 ［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］［スル］にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します。
マエカバー　ガ　アイテイマス 前カバーが開いています。または確実に閉じていません。	前カバーを確実に閉じます。 前カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
メモリオーバー　メモリガタリマセン 処理中にメモリ不足が発生し、動作が続行できなくなりました。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合は、以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) エラー解除 スイッチを押します。 (2) リセットまたはリセットオールを行います。再度印刷するときは、プリンタドライバで解像度を300DPIに設定するか、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げてください。または、メモリを増設してください。 ［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します。
ヨウシカクニン xxxx yyyy ESC/Pageコマンドでマニュアルフィードモードが指定されたとき、印刷を開始する前に選択された給紙装置 xxxx と用紙サイズ yyyy を表示します。	給紙装置 xxxx にサイズ yyyy の用紙をセットします。☞セットアップガイド「用紙のセット」24 ページ エラー解除 スイッチまたは 印刷可 スイッチを押すと、印刷を開始します。
ヨウシコウカン xxxxx yyyy 給紙を行おうとした給紙装置xxxxxにセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ yyyy が異なっています。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］に設定されている場合は、以下の3つのうち、どれかの操作を行ってください（［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 (1) 給紙装置xxxxxにサイズyyyyの用紙をセットします。☞セットアップガイド「用紙のセット」24 ページ エラー解除 スイッチを押して印刷します。 (2) 用紙を交換しないで エラー解除 スイッチを押します。セットされている用紙に印刷します。 (3) リセットまたはリセットオールを行います。

表示・説明	処置
ヨウシナシ xxxxx yyyy 以下のような場合に表示されます。 (1) 印刷のために給紙しようとした給紙装置xxxxxに、用紙がセットされていません。 (2) すべての給紙装置に用紙がセットされていません。	(1) の場合 給紙装置xxxxxにサイズyyyyの用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。 セットアップガイド「用紙のセット」24 ページ (2) の場合 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。

メンテナンスサービスコールが表示された場合

メンテナンスサービスコール発生時の対処

メンテナンスサービスコールは、本機の定期交換部品の交換時期が近づいたことを示すワーニングメッセージです。

「メンテナンスサービスコール＊＊＊＊」と表示された場合、本機を購入された販売店または保守サービス実施店に連絡し、定期交換部品の交換をご依頼ください。


ポイント

「メンテナンスサービスコール＊＊＊＊」の末尾の数字（＊＊＊＊）は、どの定期交換部品の交換時期が近づいているかを示すコードです。
メンテナンスサービスコールについて連絡される場合、この数字も必ずお伝えください。

メンテナンスサービスコール発生時の印刷

メンテナンスサービスコールが表示されている状態でも、定期交換部品の寿命が終わるまでは通常通り印刷が行えます。また エラー解除 スイッチを押すことによって、一時的にメッセージを消すことができます。しかし、良好な印刷品質を保つために、早めの交換をお薦めします。

定期交換部品の寿命が終わると「サービスコールエラー（Service Req）」が表示され、自動的に印刷を停止します。この場合、寿命の終わった定期交換部品を新しいものに交換しないと印刷を再開することはできません。このため「メンテナンスサービスコール」が表示された場合、できるだけ早く定期交換部品の交換を行ってください。

サービスコールエラー(Service Req)が表示された場合

サービスコールエラー発生時の対処

サービスコールエラーは次の場合に表示されるエラーメッセージです。

- エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生した場合
- 定期交換部品の寿命が尽きた場合

サービスコールエラーが表示された場合、プリンタは自動的に印刷を停止します。

1. **プリンタの電源をオフにします。**

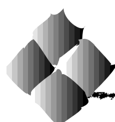
2. **プリンタにオプションを装着している場合、それらのオプションが正しく装着されているか、また本機で使用可能なものかを確認します。**

3. **プリンタの電源をオンにして、操作パネルに表示されるメッセージを確認します。**

4. **プリンタの起動後、再び「Service Req＊＊＊＊＊」と表示される場合は、本機を購入された販売店または保守サービス実施店に連絡してください。**



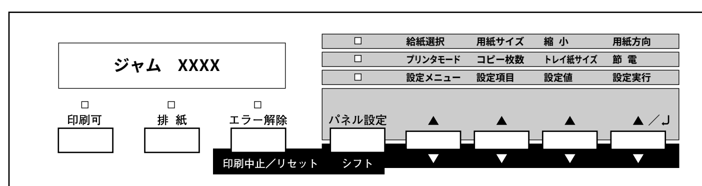
- **「Service Req＊＊＊＊＊」の末尾の英数字（＊＊＊＊）は、どんなトラブルが発生したかを示すコードです。**
  サービスコールエラーについて連絡される場合、この数字も必ずお伝えください。
- **サービスコールエラーは一度に1つしか表示されません。複数のトラブルが発生している場合、トラブルの対処後にプリンタの電源をオンにすると、次のサービスコールエラーが表示されます。**
  トラブルの対処が完了したらプリンタの電源をオンにして、他のサービスコールエラーが表示されていないか確認してください。



用紙が詰まったときは

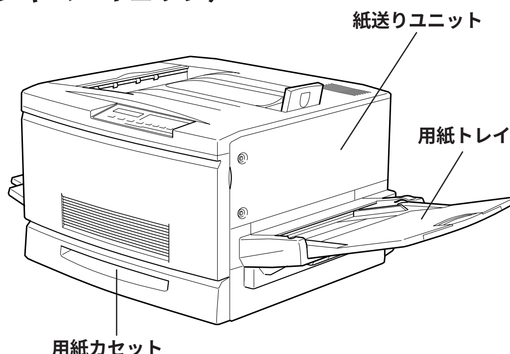
用紙詰まりのメッセージ

本プリンタで用紙詰まりが発生した場合、どこで用紙が詰まったかを示すメッセージが操作パネルの液晶ディスプレイやEPSON プリンタウィンドウ!3上に表示されます。
用紙詰まりが発生したときは、操作パネルやEPSON プリンタウィンドウ!3で、どこに用紙が詰まったかを確認し、該当箇所のカバーを開いて詰まった用紙を取り除いてください。
詰まった用紙を取り除き、用紙カセットやカバーを閉じると、用紙詰まりの発生したページから、印刷を自動的に再開します。

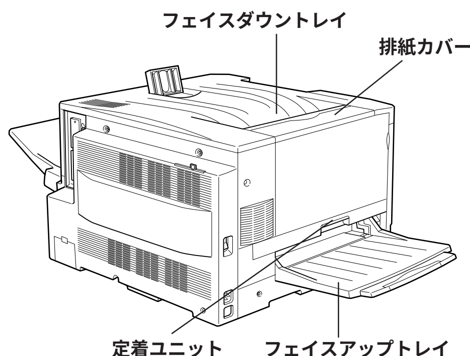


上図の XXXX の部分には、用紙詰まりが発生した箇所が表示されます。
用紙詰まりが複数箇所で発生している場合、XXXXの部分には最大3箇所まで表示されます。

給紙口付近（ジャム　キュウシ）



定着口付近および排紙口付近（ジャム　テイチャク/ハイシ）

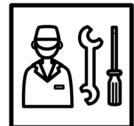


用紙の取り出しの注意

詰まった用紙を取り除くときは、次の点に注意してください。

- 用紙が破れてプリンタ内部に残らないよう、用紙に無理な力をかけずにゆっくりと引っ張って取り除いてください。
- 用紙を取り除く際に、破れた用紙がプリンタ内部に残ってしまった場合、また本書に記載の方法で取り除くことができない場所に用紙が詰まった場合は、無理に取り除こうとせずに、本機を購入された販売店または保守サービス実施店に連絡してください。
- プリンタ内部には、高温になっている箇所があります。「高温注意」を示すラベルが貼付してあるところには触れないよう注意してください。
- 用紙詰まりのエラー状態は、用紙を取り除いた後、用紙詰まりが発生した箇所のカバーやユニットを開閉することで解除されます。
  用紙カセットや用紙トレイから用紙を引き出して取り除いた場合、エラー状態を解除するために、紙送りユニットを一度開閉してください。
- フェイスアップトレイやフェイスダウントレイから用紙を引っ張って取り除くことはしないでください。
  この場合、必ず排紙カバーか定着ユニットを開けて取り除いてください。

用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、見えない場所で紙詰まりが発生している可能性がありますので、お買い求めいただいた販売店または保守サービス実施店へご相談ください。

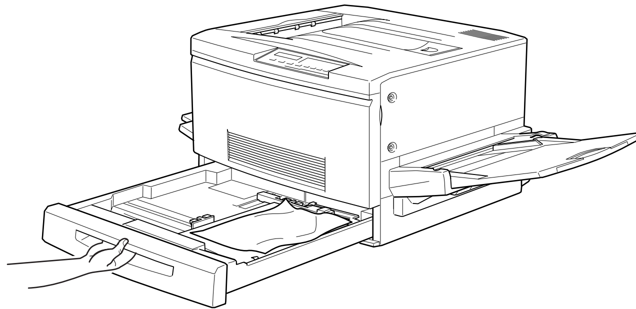


ジャム　キュウシ

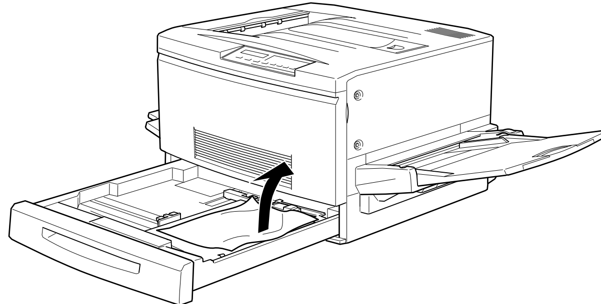
用紙カセット / トレイの給紙口や紙送りユニット（本体右側のユニット）内部で用紙詰まりが発生しました。
EPSON プリンタウィンドウ!3 では「給紙口で紙詰まりが発生しました」と表示されます。

用紙カセットからの用紙の取り出し

1 **用紙カセットをゆっくり、止まるまで引き出します。**
紙詰まりを起こした用紙が破れないように注意して引き出してください。



2 **詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。**





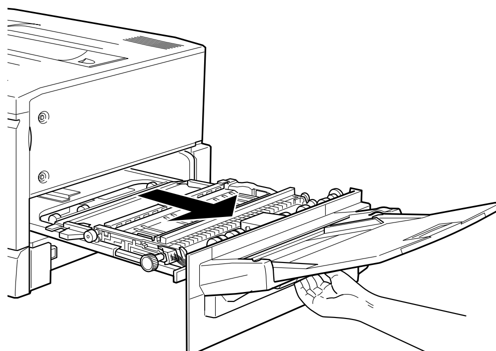
用紙を取り除く際に用紙が破れてしまった場合、プリンタ内部に紙片が残っていないかを確認して、残っている紙片を取り除いてください。

3 **用紙カセットの用紙をセットし直し、用紙カセットを閉じます。**

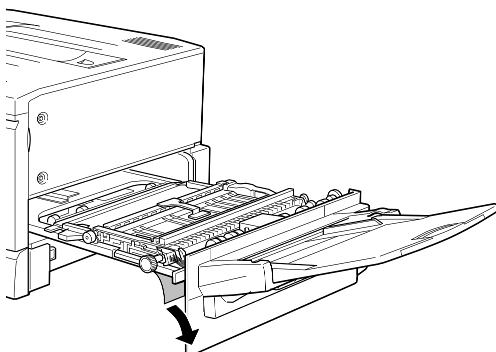


用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、用紙詰まりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。
上記の方法で用紙を取り除いた場合、次の説明に従って、必ず紙送りユニットを調べてください。

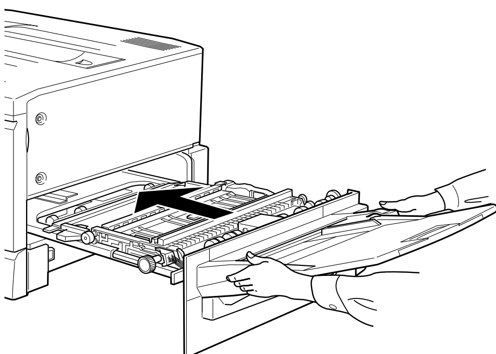
4 **本体右側の紙送りユニットを、止まるまで引き出します。**
詰まっている用紙が破れないようにゆっくり引き出してください。



5 **紙送りユニットの裏側から詰まっている用紙を引き出して取り除きます。**

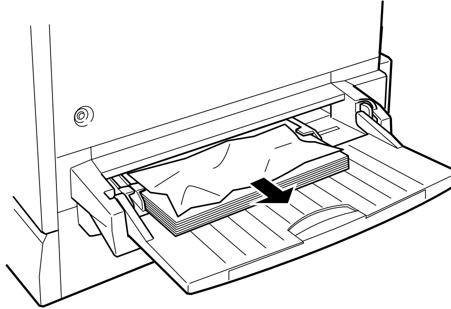


6 **紙送りユニットを閉じます。**
プリンタの右側面に向けてまっすぐに押し、最後に紙送りユニットが閉じた手応えがあるまで押してください。



用紙トレイからの用紙の取り出し

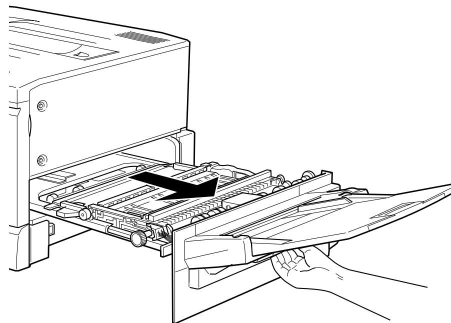
1 **詰まっている用紙を、図のようにゆっくり引き出して取り除きます。**



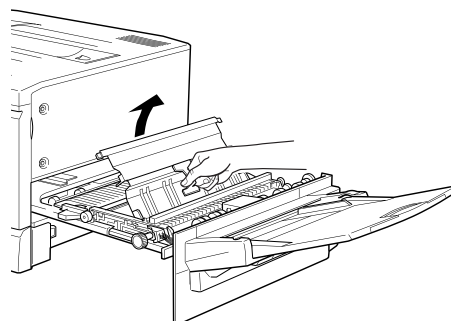

ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、用紙詰まりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。
上記の方法で用紙を取り除いた場合、次の説明に従って、必ず紙送りユニットを調べてください。

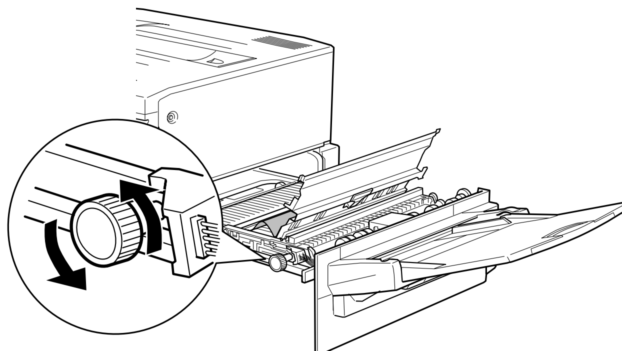
2 **本体右側の紙送りユニットを、止まるまで引き出します。**
詰まっている用紙が破れないようにゆっくり引き出してください。



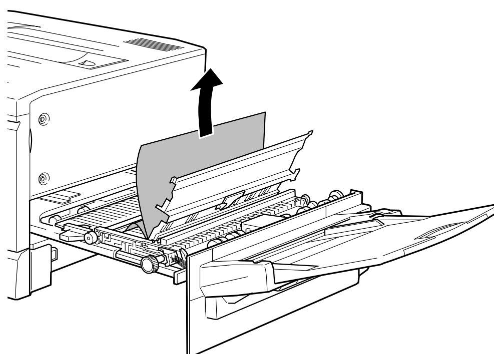
3 **紙送りユニット内部の取っ手を持ち上げ、カバーを開きます。**



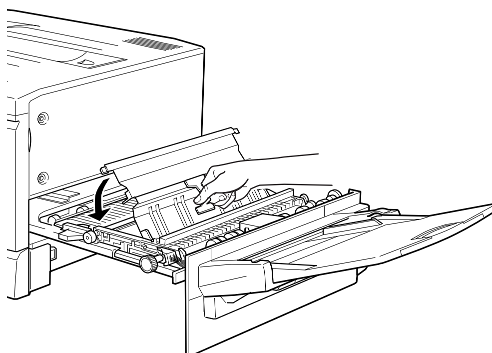
4 **紙送りユニット内部のノブを、矢印の方向に回します。**
ノブを回すと詰まっている用紙が送り出されます。



5 **詰まっている用紙が送り出されたら、用紙を矢印の方向に引き出して取り除きます。**



6 **紙送りユニットのカバーを閉じます。**

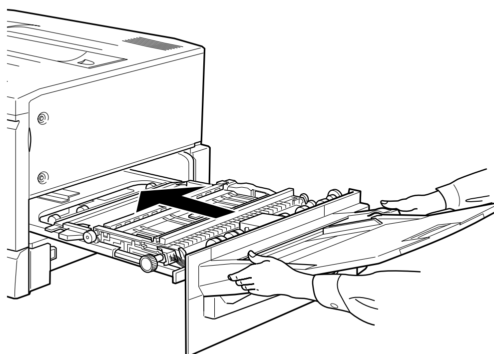




紙送りユニットを閉じます。

プリンタの右側面に向けてまっすぐに押し、最後に紙送りユニットが閉じた手応えがあるまで押してください。

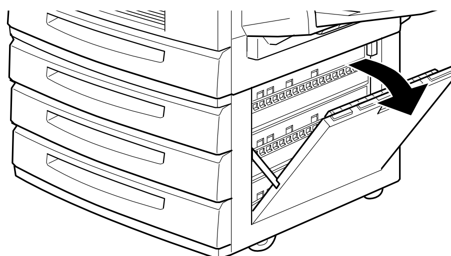
> ポイント
> **紙送りユニットを閉じた後、操作パネルに「カミオクリユニットガアイテイマス」とメッセージが表示されていたら、紙送りユニットを確認してください。**



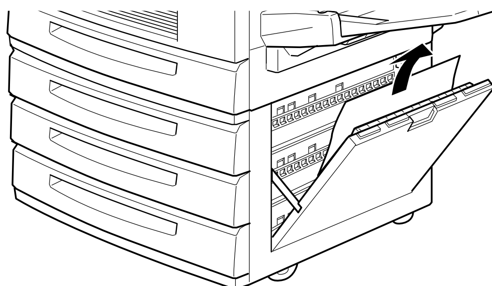
増設カセットユニットからの用紙の取り出し

オプションの増設カセットユニットを装着している場合、次のようにしてフィーダーカバーから用紙を取り出してください。
なお、増設カセットユニットの用紙カセットからの用紙の取り出しについては、「用紙カセットからの用紙の取り出し」210ページを参照してください。
増設カセットユニット（3段）を例にしています。

1 **増設カセットユニット右側のフィーダーカバーを図のように開きます。**



2 **詰まっている用紙の端を持ち、破れないように注意してゆっくりと引き出します。**



3 **フィーダーカバーを閉じます。**

ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、用紙詰まりの発生したユニットやカバーを開閉することで解除されます。
増設カセットユニットのフィーダーカバーを開閉すると、紙送りユニットを開閉した場合と同様にエラー状態が解除されます。上記の方法で用紙を取り除いてもエラー状態が解除されない場合、紙送りユニット内部に紙詰まりがないか確認してください。

本書「用紙トレイからの用紙の取り出し」212ページ

ジャム　テイチャク

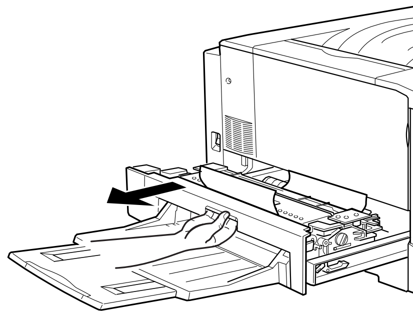
定着ユニット（本体左側のユニット）で用紙詰まりが発生しました。
EPSONプリンタウィンドウ!3は「プリンタ内部で紙詰まりが発生しました」と表示されます。

定着ユニットからの用紙の取り出し



フェイスアップトレイに排紙される途中で詰まった用紙は、必ず定着ユニットを開けて取り除いてください。フェイスアップトレイから引っ張って取り除かないでください。

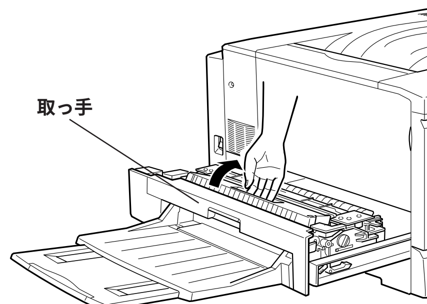
1 **本体左側の定着ユニットを、止まるまで引き出します。**
詰まっている用紙が破れないようにゆっくり引き出してください。



2 **定着オイルロールの取っ手を持ち、上に持ち上げて取り外します。**



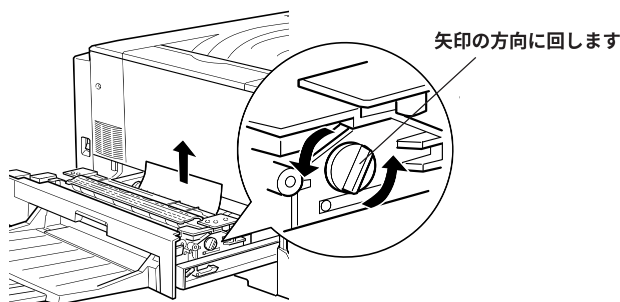
- **プリンタ内部の定着器やその周辺部分には絶対に触れないでください。高温のため、火傷の原因となることがあります。**
- **定着オイルロールは、用紙を取り除いたらすぐに取り付けてください。**
- **定着オイルロールを斜めにしたり、立てかけたりしないでください。オイル漏れの原因となり、印刷品質低下の原因となります。定着オイルロールは水平な状態で扱ってください。**



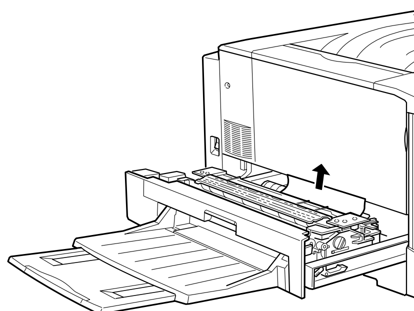
3 定着ユニット内部のノブを矢印の方向に回して用紙を送り出します。


ポイント

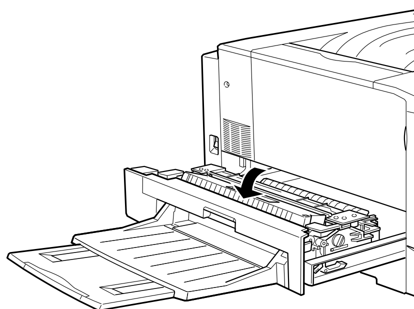
定着ユニットで詰まった用紙は、必ず下図の方向に送り出して取り除いてください。



4 詰まっている用紙を、下図の矢印の方向に引き出して取り除きます。



5 定着オイルロールを定着ユニットにセットします。



6 定着ユニットを閉じます。

プリンタの左側面に向けてまっすぐに押し、最後に定着ユニットが閉じた手応えがあるまで押してください。


ポイント

定着ユニットを閉じた後、操作パネルに「テイチャクユニットガアイテイマス」とメッセージが表示されていたら、定着ユニットを確認してください。

ジャム　ハイシ

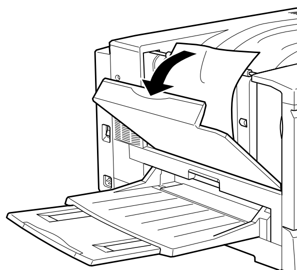
排紙カバー（本体左側のカバー）内部で用紙詰まりが発生しました。
EPSONプリンタウィンドウ!3では、「排紙部で紙詰まりが発生しました」と表示されます。

排紙カバーからの用紙の取り出し

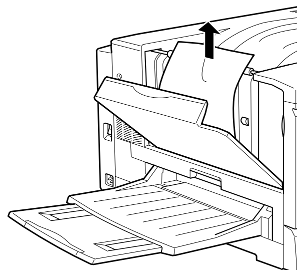

ポイント

フェイスダウントレイに排紙される途中で詰まった用紙は、必ず排紙カバーを開けて取り除いてください。フェイスダウントレイから引っ張って取り除かないでください。

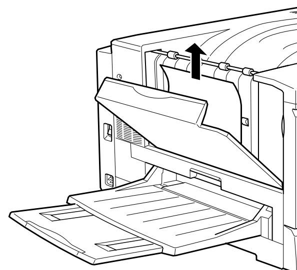
1 本体左側の排紙カバーを下図のように開きます。



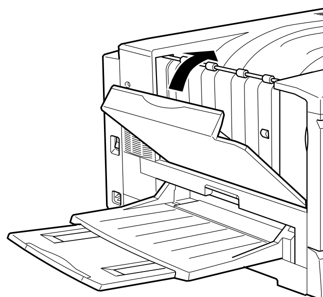
2 フェイスダウントレイで詰まった用紙を取り除きます。



3 排紙カバーの下部に詰まっている用紙の端を持ち、破れないように注意してゆっくりと引き出します。

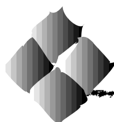


4 排紙カバーを閉じます。



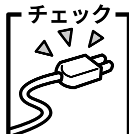

ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、用紙詰まりの発生したユニットやカバーを開閉することで解除されます。
上記の方法で用紙を取り除いた場合、必ず排紙カバーを開閉してください。

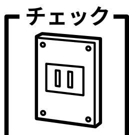


電源が入らない

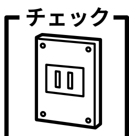
プリンタの電源が入らない



電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか?
電源コードをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

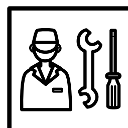


コンセントに電源は来ていますか?
ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

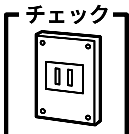


正しい電圧(AC100V、15A)のコンセントに接続していますか?
コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

以上の3点を確認の上で 電源 スイッチをオンにしても電源が入らない場合は、お買求めいただいた販売店、または保守サービス実施店へご相談ください。



ブレーカが動作してしまう

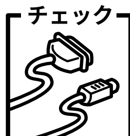


ブレーカの定格は十分ですか?
ブレーカの定格が十分であるにも関わらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。
または本機用に専用配線を用意してください。



印刷できない

プリンタとコンピュータの接続を確認します

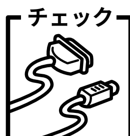


インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタ[*1]とコンピュータのコネクタ側にインターフェイスケーブルがしっかり接続されているかを確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。

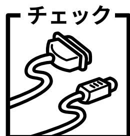
（予備のケーブルをお持ちの場合は､差し換えてご確認ください｡）

*1 コネクタ：インターフェイスケーブルの先端と、その先端を差し込むところ。



コネクタのピンが折れたりしていませんか？

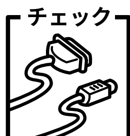
コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。



インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インタフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

☞セットアップガイド「コンピュータとの接続」31 ページ

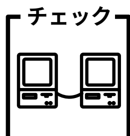


ローカル接続の場合コンピュータとプリンタはケーブルで直結していますか？

プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファ[*2]および延長ケーブルを使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できません。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。

*2 プリンタバッファ：コンピュータから送られた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

ネットワークの状態を確認します



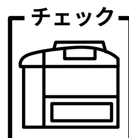
ほかのコンピュータから印刷できますか？

同じネットワーク上で、本機と接続しているほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。

印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータに問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。

印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談の上、別冊「ネットワーク設定ガイド」を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

プリンタの状態を確認します



操作パネルにエラーが表示されていませんか？

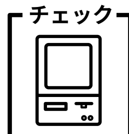
プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示を確認します。

液晶ディスプレイにエラーが表示されている場合は、「操作パネルのメッセージ」の項目を参照し、対処して、印刷可 スイッチを押します。

プリンタの消耗品が正しく取り付けられているか、消耗品が空になっていないか、各部のカバー / ユニットが確実に閉じてあるかも確認してください。

☞本書「操作パネルのメッセージ」199 ページ

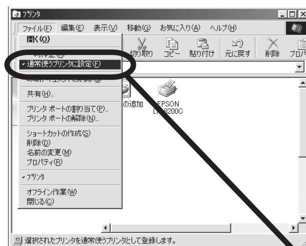
プリンタドライバの状態を確認します



LP-8200C用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows

LP-8200C用のWindowsプリンタドライバが、コントロールパネルやアプリケーションソフトで、通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。



確認方法

① スタート ボタンをクリックしカーソルを［設定］に合わせ、［プリンタ］をクリックします。

② ［EPSON LP-8200C］を選択し［ファイル］メニューを確認します。「通常使うプリンタに設定」になっているか確認します。

「通常使うプリンタに設定」になっているか確認します。

Macintosh

LP-8200C用のMacintoshプリンタドライバ［LP-8200C（AT)］がセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。



選択したプリンタドライバが正しいか確認します。



プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログの解像度（Windows）印刷品質（Macintosh）の設定が「高品質」になっていませんか？
設定が「高品質」の場合、解像度600DPIで印刷します。この設定で印刷するとプリンタのメモリが足りなくなり、メモリ関連のエラーが発生する場合があります。
設定を「標準」にすると印刷できる場合があります。

コンピュータの状態を確認します



プリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか?
印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows95/98 の場合


確認します

① スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックして開きます。
② ［EPSON LP-8200C］を選択して［ファイル］メニュー内の［一時停止］にチェックがついている場合はクリックして「✔」をはずします。

WindowsNT4.0 の場合


確認します

① スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックして開きます。
② ［LP-8200C］アイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］の［一時停止］をクリックして「✔」をはずします。



プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先が合っていますか？
プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。
☞本書「プリンタ接続先の設定（Windows95/98）」63 ページ



Macintoshのシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh用プリンタドライバは、Macintosh本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルのRAMキャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

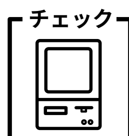
印刷時に必要な空きメモリ容量については、以下のページを参照してください。

☞セットアップガイド「システム条件の確認」52ページ

● Macintoshでのメモリの設定

① アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、その中の「メモリ」を起動します。

② メモリのウィンドウで「ディスクキャッシュ」や「仮想メモリ」の設定を変更します。

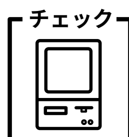


コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」「用紙がありません。」と表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタのランプがエラーを示していないか確認してください。

アプリケーションソフトを確認します

ここでは、トラブルが特定のアプリケーションソフトまたは特定のデータだけに起こるものなのかどうかについて判断します。

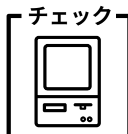


違うデータを印刷した場合、またはデータ量が少ない場合は正常に印刷が可能ですか？

データが壊れているなどの理由により、特定のデータだけ印刷ができないという可能性があります。他のデータを印刷することで確認してください。

データ量が大きいときだけ印刷ができない場合は、アプリケーションソフトとメモリの関係、コンピュータのシステムなどに問題がある可能性があります。

もう一度コンピュータを確認します



システム条件を確認しましょう。

お使いのコンピュータのシステム条件によっては、LP-8200C をご利用になれない場合もあります。もう一度システム条件の確認をしてください。

☞セットアップガイド「システム条件の確認」Windows 36 ページ
Macintosh 52 ページ



BIOS の設定を確認してください。

コンピュータのBIOS[*1]システムセットアップのパラレルポートのモード設定が EPP などとなっている場合には、Bi-Directional、Compatible、ECP などに変更してください。

BIOSシステムセットアップの方法が各社､各機種により異なりますので､コンピュータの取扱説明書などを参照して､設定の確認､変更を行ってください。

*1 BIOS：(Basic Input/Output System) コンピュータの基本的な動作を命令するプログラム。



OS は正常に動作していますか？

以下の方法で､簡単なOSのチェック､修復ができます｡詳しい方法はそれぞれの取扱説明書などを参照してください。

Windows95/98 の場合

スタート から［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［スキャンディスク］を起動し、Windows95/98 が入っているドライブのチェック、修復を行ってください。

WindowsNT4.0 の場合

［マイコンピュータ］の中から、WindowsNT4.0 が入っているドライブを選択し、［プロパティ］-［ツール］-［エラーチェック］を行ってください。

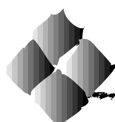
Macintosh の場合

漢字 Talk（MacOS）に添付の［DiskFirstAid］を実行することにより、OS のチェック、修復が行えます。詳しくは、漢字 Talk（MacOS）の取扱説明書を参照してください。



プリンタドライバを再度インストールしてみましょう。

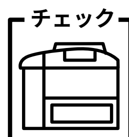
以上のことを確認しても、まったく印刷が行えない場合、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。LP-8200Cプリンタドライバを再度インストールしてみましょう。Windows の場合は、一度削除（アンインストール）してから再度インストールしてください。



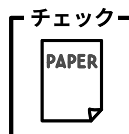
用紙に関するトラブル

用紙が詰まった場合は、以下のページを参照して用紙を取り除いてください。
☞本書「用紙が詰まったときは」208 ページ

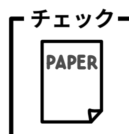
用紙が詰まる/給排紙されない



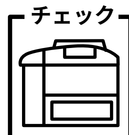
操作パネルにエラーが表示されていませんか？
プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示を選択します。
☞本書「操作パネルのメッセージ」199 ページ



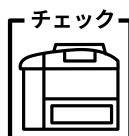
本機で使用可能な用紙を使用していますか？
使用可能な用紙を使用してください。
☞本書「用紙について」2 ページ



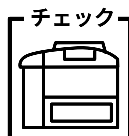
用紙をセットする前によくさばいていますか？
用紙を複数枚セットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。



用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？
用紙を正しくセットしてください。
☞セットアップガイド「用紙のセット」24 ページ



セットした用紙が正しく検知されていますか？
ステータスシートまたは、操作パネルで用紙トレイ／カセットの用紙サイズを確認してください。
☞本書「ステータスシートの印刷」158 ページ
正しく検知されていない場合は､用紙をセットし直してください。
☞セットアップガイド「用紙のセット」24 ページ



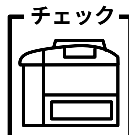
特殊紙の場合、用紙トレイにセットしていますか？
特殊紙（定形サイズの普通紙以外の用紙）は、用紙トレイにセットしてください。封筒は、フラップ（閉じ口）を開いて後ろに向けてください。EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シートは、シート上の印を確認して、表側を上にしてください。
☞本書「特殊紙への印刷について」12 ページ



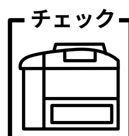
アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？
給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定を優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。



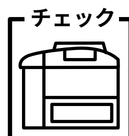
改ページ命令がアプリケーションソフトから送られていますか？
アプリケーションソフトによっては、データの最後に改ページ命令をださないものもあります。印刷可 スイッチを押して 印刷可 ランプを消してから 排紙 スイッチを押してください。



給紙ローラが汚れていませんか？
用紙トレイから給紙されない場合は、給紙ローラのクリーニングを行ってください。
☞本書「給紙ローラのクリーニング」245 ページ

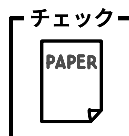


プリンタは水平な場所に設置されていますか？プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

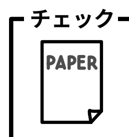


見えない場所で、紙詰まりが発生していませんか？
用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、見えない場所で紙詰まりが発生している可能性があります。お買い求めいただいた販売店、または保守サービス実施店へご相談ください。

用紙を二重送りしてしまう



用紙同士がくっついていませんか？
用紙をよくさばいてください。



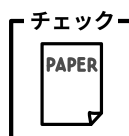
官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

その他の症状

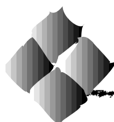
印刷の途中で用紙が排紙されてしまう



インターフェイスタイムアウトの設定が短くありませんか？
パネル設定でインターフェイスタイムアウトの設定を長くしてください。
☞本書「キョウツウメニュー」139 ページ



裏面に印刷された紙を使用していませんか？
何も印刷されていない用紙を使用してください。



カラー印刷に関するトラブル

カラー印刷ができない



プリンタドライバの設定が、カラー印刷になっていますか？

Windowsの場合、プリンタドライバの［基本設定］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログで［色］が［黒］に設定されているとカラー印刷ができません。
Macintoshの場合、プリンタドライバの［プリント］ダイアログで［色］が［モノクロ］に設定されているとカラー印刷ができません。
設定を確認してください。

☞本書 Windows「［基本設定］ダイアログ」24 ページ
☞本書 Macintosh「［プリント］ダイアログ」92 ページ



ソフトウェアの設定がカラーデータになっていますか？

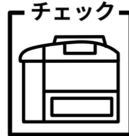
ソフトウェア上でカラーデータになっているか確認してください。
例）アプリケーションソフト「Adobe　Photoshop」の場合は［モード］メニューをクリックしてモードがカラーになっているかどうかを確認します。



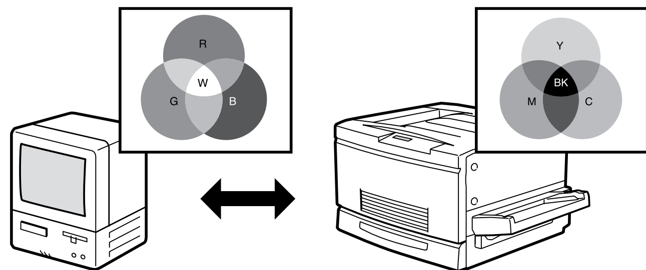
DOSを使用していませんか？

本機は、Windows、Macintoshで使用時のみカラー印刷が可能です。
DOSアプリケーションソフトでは、モノクロ印刷のみ可能です。

画面表示と色合いが異なる



出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。
ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。
テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる3色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3色すべてが光っている状態が白となります。
一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・黄（Y）・マゼンタ（M）の“色の三原色”を組み合わせています。全く色を付けないのがもちろん白で、3色を均等に混ぜた状態が黒になります。



スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、完全に一致させることは難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせこみ）を行うのが、ICM（Windows95/98）や ColorSync（Macintosh）です。
☞ 本書巻頭カラーページ
「より高度な色合わせについて」（12）ページ



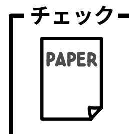
システム特性の設定を行いましたか？（ColorSync）
ColorSyncが正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションがColorSyncに対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。
☞本書「ColorSync について」114 ページ



プリンタドライバのオートフォトファイン!3を有効にしていませんか？

オートフォトファイン!3 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン!3を有効にしてあると、表示画面と色合いが異なる場合があります。

☞本書「[詳細設定] ダイアログ」 Windows 29 ページ
Macintosh 97 ページ



普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。最良の印刷結果を得るには、「EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙」の使用をお薦めします。

中間調の文字や、細い線がかすれる



[階調優先]（スクリーン線数 165LPI）に設定していませんか？

[階調優先] は、微妙な色合いを再現する設定のため、[解像度優先]（スクリーン線数 268LPI）に比べると、細い線などが再現されない場合があります。[解像度優先] に設定してください。

色むらが生じる



[解像度優先]（スクリーン線数268LPI）に設定していませんか？

[解像度優先] は、細い線や細かい模様などを再現する設定のため、微妙な色合いの再現には向いていません。[階調優先] に設定してください。



印刷結果に関するトラブル

設定と異なる印刷をする



パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

画面と異なるフォント/文字で印刷される



TrueType フォントをプリンタフォントに置換していませんか？

プリンタドライバで TrueType フォントをプリンタフォントに置換しないように設定してください。

- Windows
  ［環境設定］-［拡張設定］で［TrueType フォントでそのまま印刷］をクリックします。
  ☞本書「［拡張設定］ダイアログ」45 ページ
- Macintosh
  ［プリント］ダイアログ［プリンタフォント使用］の［欧文フォント］［漢字フォント］のチェックボックスをクリックしてチェックをはずします。
  ☞本書「［詳細設定］ダイアログ」97 ページ



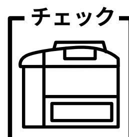
DOSアプリケーションソフトで正しい文字コードを選択していますか？

アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、正しい文字コードを選択してください。



画面の表示が旧 JIS で表示されていませんか？

本機は、新 JIS コード（JISX0208-1990）を使用しています。アプリケーションの取扱説明書を参照して、画面の表示を新 JIS コードの設定にしてください。



プリンタモードの設定が間違っていませんか？

通常は「ESC/PS」モードに設定してください。

☞本書「プリンタモードメニュー」142 ページ



プログラムを組む際に、コントロールコードが間違っていませんか？

ESC/PまたはESC/Pageのコントロールコードでプログラムしてください。ESC/P では、先頭行に「ESC@」のコードを入れてください。



ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？

パネル設定で［インサツメニュー］の［イメージホセイ］を［2］に設定してください。

☞本書「インサツメニュー」143 ページ

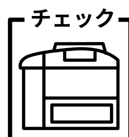
画面と異なる位置に印刷される



アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞Windows 本書「[基本設定]ダイアログ」24 ページ
☞Macintosh 本書「[用紙設定]ダイアログ」87 ページ



用紙ガイドは正しくセットしていますか？

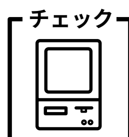
用紙カセットや用紙トレイの用紙ガイドを正しくセットしていないと、プリンタが用紙サイズを把握できなかったり、用紙がまっすぐに送られないために正しく印刷されません。
また、A3 以下のサイズの用紙の場合、用紙トレイの用紙ガイド（左）を倒し、用紙ガイド（A3W（ノビ）用）に合わせてセットすると、印刷位置がずれてしまいます。

罫線が切れたり、文字の位置がずれる



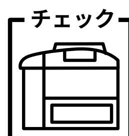
アプリケーションソフトで「LP-8200C」を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタを「LP-8200C」に設定してください。



EPSONPCシリーズ、NEC PC-9800 シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

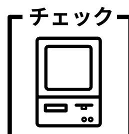
各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。
EPSON PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
NEC PC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。



ESC/PS モードで印刷する場合、右マージンの設定が適切でない場合があります。

パネル設定で［ESC/PSカンキョウメニュー］の「ミギマージン」設定を修正してください。

☞本書「ESC/PS カンキョウメニュー」152 ページ

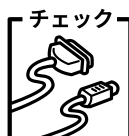


ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？

パネル設定で［インサツメニュー］の［イメージホセイ］を［2］に設定してください。

☞本書「インサツメニュー」143 ページ

文字化けが発生する



インターフェイスケーブルが正しく接続されていますか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータのコネクタ側にインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線しているか、変に曲がっていないかを確認してください。

（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください）



ステータスシートが正しく印刷できますか？

プリンタドライバや操作パネルからステータスシートが正しく印刷されているか確認してください。

☞セットアップガイド「ステータスシートの印刷」Windows 49 ページ
Macintosh 58ページ
☞本書「ステータスシートの印刷」158 ページ

その他の症状

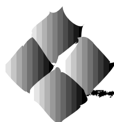
外字データまたはフォーマットデータが印刷できない



インターフェイスタイムアウトの設定が短くありませんか？

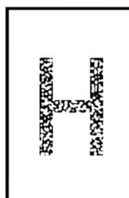
パネル設定でインターフェイスタイムアウトの設定を長くしてください。

☞本書「キョウツウメニュー」139 ページ



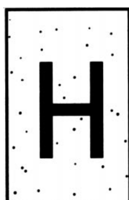
印刷品質に関するトラブル

印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明）



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。
感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。
ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。
トナーセーブ機能を使用していませんか？
トナーセーブ機能を解除してください。
☞本書「［詳細設定］ダイアログ」Windows29 ページ
Macintosh 97 ページ

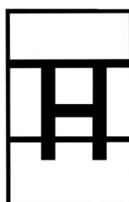
汚れ(点)が印刷される



使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「用紙について」2 ページ

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

周期的に汚れがある



プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

指でこするとにじむ



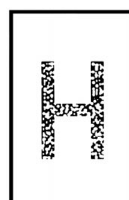
用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

厚紙を使用中に、設定が厚紙になっていません。
プリンタドライバで「紙種」を「厚紙」に設定してください。

本機の前カバーが、完全に閉じていません。
前カバーを、確実に閉じてください。

塗りつぶし部分に白点がある



使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。
用紙トレイの場合は、表(印刷)面を上に向けてセットしてください。
用紙カセットの場合は、表（印刷）面を下に向けてセットしてください。

ET カートリッジが劣化または損傷しています。
新しい ET カートリッジに交換してください。

用紙全体が塗りつぶされてしまう



感光体ユニットが損傷または劣化しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。

縦線が印刷される



感光体ユニットが損傷または劣化しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。

何も印刷されない

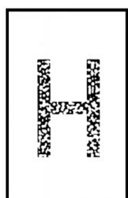


一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。

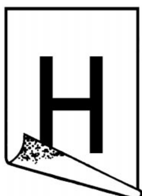
白抜けがおこる



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
適切な用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

裏面が汚れる



用紙経路が汚れています。
数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

きれいに印刷できない



[RIT] 機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は [RIT] 機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、[RIT] 機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

☞本書「[詳細設定] ダイアログ」Windows 29 ページ
Macintosh 97 ページ



解像度が [標準]（300DPI）に設定されていませんか？

解像度を [高品質]（600DPI）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、解像度を [標準]（300DPI）に戻すか、メモリを増設してください。

☞本書 Windows「[基本設定] ダイアログ」24 ページ
☞本書 Macintosh「[プリント] ダイアログ」92 ページ

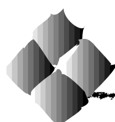
印刷の濃淡が思うように印刷できない



トナーセーブ機能を使用していませんか？

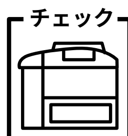
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞本書「[詳細設定] ダイアログ」Windows 29 ページ
Macintosh 97 ページ

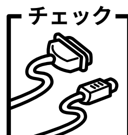


EPSONプリンタウィンドウ!3でのトラブル

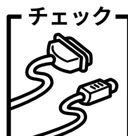
「通信エラーが発生しました」と表示される



プリンタに電源が入っていますか?
コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオンにします。



インターフェイスケーブルが外れていませんか?
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。
(予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。)

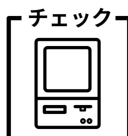


インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか?
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
☞セットアップガイド「コンピュータとの接続」31 ページ



プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか?(ローカル接続時)
☞本書「プリンタ接続先の設定(Windows95/98)」63 ページ

EPSONプリンタウィンドウ!3を削除(アンインストール)できない



他のソフトウェアが起動していませんか?
他のソフトウェアが起動しているとEPSONプリンタウィンドウ!3は削除(アンインストール)できません。ソフトウェアの中には、実際の動作が画面に表示されていなくても起動している場合もありますので、各ソフトウェアの取扱説明書に従って終了させてください。


ポイント

上記以外のトラブルについては、EPSON LP-8200C プリンタソフトウェア CD-ROM 内の Readme ファイルを参照してください。



その他のトラブル

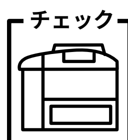
印刷に時間がかかる



TrueType フォントを使用して印刷していませんか？

TrueTypeフォントはグラフィックとして処理されますので、印刷が遅くなる場合があります。TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷してください。

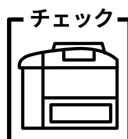
☞本書 Windows「True Type フォントをプリンタフォントに置き換える」47 ページ
☞本書 Macintosh「フォント設定」89 ページ



節電機能を使用していませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。不要な場合は、節電機能を使用しないでください。

☞本書「階層設定モードでの設定方法」133 ページ



「エンジンチョウセイチュウ」と表示されていませんか？

画占率の高いデータの印刷時や連続印刷時などには、良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。
自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。



アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

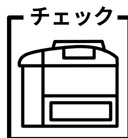
アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。



バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？

ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

☞本書「EPSON プリントモニタ!3」112 ページ



ファイルサイズの大きな画像データを印刷していませんか？

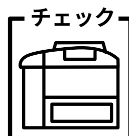
処理時間のかかる大きなサイズの画像データを印刷する場合は、プリンタのメモリの増設をお薦めします。プリンタのメモリサイズが大きい方が、より効率よく印刷できる場合があります。

セレクタに使用するプリンタドライバが表示されない



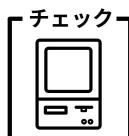
AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違います。
プリンタの接続されているゾーンを設定してください。

インターフェイスが切り替わらない



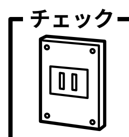
インターフェイスの切り替えに失敗しました。
操作パネルのスイッチでプリンタをリセットしてください。このとき、スイッチを約 5 秒間押しつづけると、インターフェイスのデータをすべてリセットしてしまいますのでご注意ください。
☞本書「リセット / リセットオールについて」160 ページ

プログラムリスト、ハードコピーがとれない



EPSON PCシリーズ、NECPC-9801シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？
各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。
EPSON PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
NEC PC-9801 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

周辺の電化製品やパソコン機器に異常が発生する



電源容量は、十分に確保されていますか？
電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、パソコンがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。
本機と蛍光灯、パソコンなどが接続されている電源ラインを分離してください。
（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお薦めします。）



どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

操作パネルからステータスシートが印刷できますか？
☞ セットアップガイド「動作の確認」29 ページ

- 印刷できる →

  コンピュータからステータスシートが印刷できますか？
  ☞ セットアップガイド「ステータスシートの印刷」
  Windows 49ページ
  Macintosh 58ページ

  - できる → エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は本書裏表紙に記載されています。
  - できない → ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。ネットワーク接続でお使いの場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

- 印刷できない →

  プリンタ本体のトラブルです。保守契約されていますか？

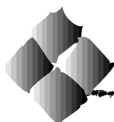
  - している → 保守契約店にご相談ください。保守サービスの詳細は以下のページを参照してください。☞ 本書「保守サービスのご案内」251 ページ
  - していない → エプソンフィールドセンターにご相談ください。フィールドセンターのご相談先は本書裏表紙に記載されています。

ポイント
お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

LP-8200C

Appendix



プリンタの清掃

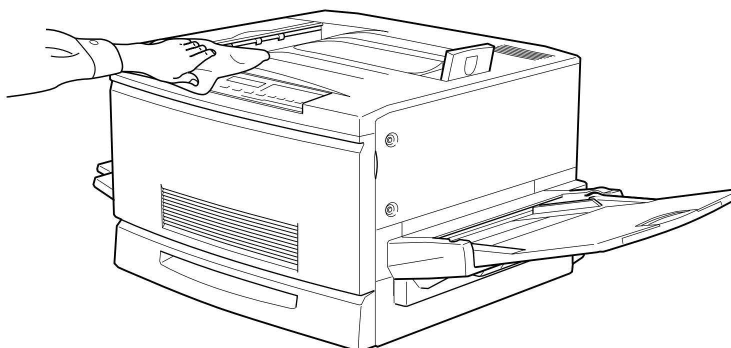
プリンタ本体のクリーニング

プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。



- **プリンタの清掃は、電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜いたあとで、行ってください。**
- **ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。**
- **プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。**
- **固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷がつくおそれがあります。**

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて堅くしぼった布で、ていねいに拭いてください。



給紙トレイや排紙トレイを拭いた場合、トレイがかわいたことを確認してから使用してください。

給紙ローラのクリーニング

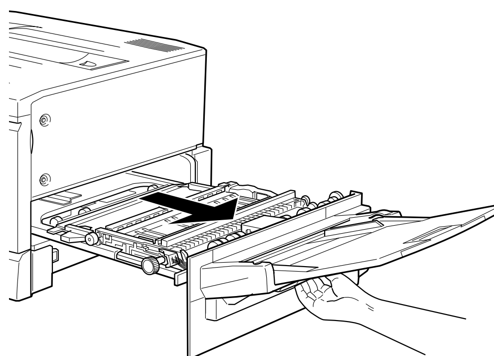
セットした用紙に問題がないのに給紙が正常に行われない場合、紙送りユニット内部の給紙ローラが汚れている可能性があります。この場合、次の手順で紙送りユニット内部の給紙ローラを拭いてください。



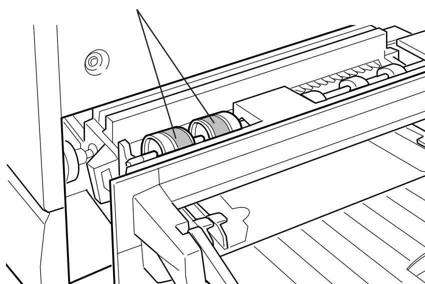
絵入りの官製ハガキなどには、絵柄裏移り防止用に粉が付いていることがあります。このようなハガキを使用すると、ハガキに付いている粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があるため、必要に応じて給紙ローラをクリーニングしてください。

1. **プリンタの電源をオフにします。**

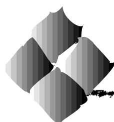
2. **本体右側の紙送りユニットを引き出します。**



3. **紙送りユニット内の給紙ローラ（2個）の、上を向いている面を拭きます。**
水を含ませて堅く絞った布で、給紙方向に対し左右の方向に拭いてください。プリンタ内部に水滴を落とさないように注意してください。



4. **紙送りユニットを閉じます。**



プリンタの移動

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

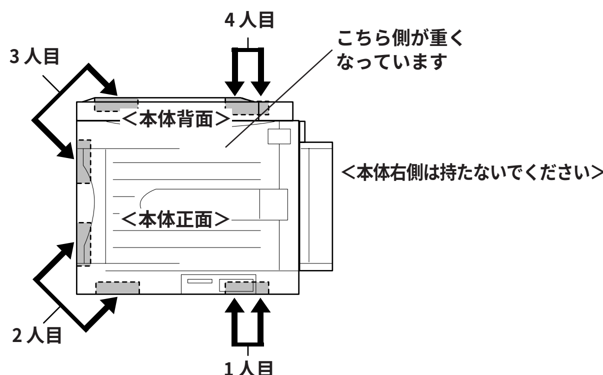
近くへの移動

はじめに本機の電源をオフにして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

●電源ケーブル
●インターフェイスケーブル
●用紙トレイ、用紙カセット内の用紙
●フェイスアップトレイ

⚠注意

- **プリンタ本体は、背面側の方が正面側より重くなっています。プリンタ本体を持ち上げる際に、重さの違いに注意してください。**
- **本製品を持ち上げる際は必ず 4 人以上で作業を行ってください。**
  本製品の重量は、消耗品を含め約 69Kg です。
  プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ正面/左側/背面の下部にある取っ手（くぼみの部分）に手をかけて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。



- **プリンタ本体を持ち上げる場合、十分にひざを曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。**
  無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。
- **プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。**
  転倒などによる事故の原因となります。
- **プリンタ本体を増設カセットユニットやキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合、必ずキャスターを固定して台が動かないようにしてから作業を行ってください。**
  作業中に台が思わぬ方向に動くと、けがやプリンタの損傷の原因となります。

増設カセットユニット(オプション)を装着している場合

増設カセットユニット3段(LPCWC1)にはキャスターが付いているため、持ち上げずに移動することができます。ただし、プリンタに衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。また、移動する前にキャスターのロックを必ず解除してください。

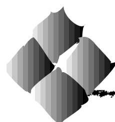
増設カセットユニット2段(LPCWC2)のキャスターを固定用のフット(脚)に付け替えている場合は、プリンタと増設カセットユニット2段を装着したまま移動することはできません。プリンタと増設カセットユニットを分離して、それぞれ別々に移動してください。

運搬するときは

本機を輸送する場合、取り付けてあるすべての付属品を外し、震動や衝撃からプリンタ本体を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。
本プリンタを輸送する場合は、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意

購入時にプリンタ内部に取り付けられていた保護材も必ず取り付けてください。



プリンタドライバフロッピーディスク請求のご案内

本機に同梱の EPSON LP-8200C プリンタソフトウェアのメディアは CD-ROM です。3.5 インチフロッピーディスクをご希望のお客様は、実費にて送付させていただきますので､お手数ですが以下の方法にてお申し込みください。

申込手順

1. **エプソン FAX インフォメーションで、LP シリーズの最新ドライバのご案内に関する資料をご覧ください。**
   エプソン FAX インフォメーションのお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

2. **郵便局に備え付けの振込用紙を使用し、指定口座に代金をお振り込みください。**
   （お振り込みの際の振込手数料は､別途お客様ご負担でお願いいたします）

3. **手順 1 の資料の中にある申込用紙に必要事項を記入の上、お振り込みの際に受け取られた払込受領証のコピーを所定場所に貼布し、エプソンディスクサービスにＦＡＸまたは郵送にて送付してください。**
   （払込受領証の原本はお客様にて保管してください）

申込用紙をご送付いただきましてから､約１週間程でお客様のお手元に､郵送にてお届けいたします。

領収書につきましては、振込の際に郵便局から受け取る払込受領証をもって、これにかえさせていただきます。

エプソンディスクサービス

郵便口座番号	：00170-2-971687
加入者名	：エプソン販売株式会社
ファックス申込の場合	：03-5778-6320
郵送申込の場合	：〒150-0002　東京都渋谷区渋谷 2-16-1 日石渋谷ビル 8F エプソンディスクサービス係

フロッピーディスクについてのご入金（お振込）・発送のお問合せ
　エプソンディスクサービス　TEL. 03-5469-7350
　【受付時間】9:00 〜 12:00、13:00 〜 17:00（土日祝祭日を除く）

技術的なお問い合わせ

プリンタ、ドライバに関する技術的なお問い合わせは、エプソンインフォメーションセンターにお問い合わせください。
ディスクサービス係では、技術的な質問にはお答えできかねますので、あらかじめご容赦くださいますようお願いいたします。
エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

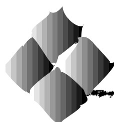
ご注意

- 提供するメディアは、3.5 インチのみとなりますのでご了承ください。
- 提供するソフトウェアは、エプソン製品と共に使用する場合に限って複製、頒布を許可します。
- 内容を変更すること、利益を得るために再販することは、禁止いたします。
- その他、使用契約については、本機に添付されている使用約款に準じます。
- 一度申し込まれた代金の返金につきましては、場合によっては応じかねますのでご了承ください。
- お申し込みは必ず郵便振込をご利用ください。それ以外の送金はご遠慮ください。

お知らせ

エプソンディスクサービスにて提供しておりますソフトウェアは、下記のパソコン通信サービスでも入手することができます。（ただし、一部のソフトを除く）

- NIFTY-Serve　EPSON Information Forum
（コマンド:GO□FEPSONI）□は、半角スペースです。
- インターネット　エプソン販売ホームページ
（http://www.i-love-epson.co.jp）



サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

エプソンFAXインフォメーション

EPSON製品に関する最新情報を24時間、FAXでお引き出しいただけます。FAX付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。

FAX 番号　：☞本書裏表紙をご覧ください。
情報内容　：製品情報（カタログ、機能概要）
　　　　　　技術情報（Q&A など）
　　　　　　パソコンスクール、サービスセンター情報など

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間　：☞本書裏表紙をご覧ください。
電話番号　：☞本書裏表紙をご覧ください。

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。
また、プリンタドライバは、エプソン販売（株）WWW サーバおよびパソコン通信による提供が行われています。最新プリンタドライバを組み込む場合は、ダウンロードした圧縮ファイルを解凍後、SETUP.EXE を実行してインストールしてください。

■インターネット
　エプソン販売 WWW SERVER　：http://www.i-love-epson.co.jp
　（ソフトウェアダウンロードサービス）
■パソコン通信名
　NIFTY SERVE：EPSON information Forum（コマンド：GO□FEPSONI）
　□は、半角スペースです。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

■東京　　：午前 10:00 ～午後 6:00
　　　　　（土・日・祝日もオープン、指定休館日あり）
■大阪　　：午前 10:00 ～午後 6:00
　　　　　（土・日・祝日もオープン、※水曜休館、指定休館日あり）
所在地　　：☞本書裏表紙をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも、分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせは本書裏表紙をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、慌てずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。保証書は、お客様（販売店様）からお送りいただきました「保証書発行請求書」のお客様情報を登録させていただいた後、設置日より1年間有効の保証書を発行いたします。
なお、「保証書発行請求書」を返送されない場合、または必要事項の記入漏れなどがございますと、保証書が発行できず、万一の故障の場合でも、有償修理となり、各種サービス・サポートが受けられませんので、必ずご返送くださいますようお願いいたします。保証書は大切に保管してください。

保守サービスの受け付け窓口

LP-8200Cを快適にご使用いただくために、年間保証契約の締結をお薦めします。詳細については、ご購入いただきました販売店にお問い合わせください。
保守サービスのご相談、お申し込みは、保証書に記載の「サービス実施店」、または、次のいずれかで承ります。

■お買い求めいただいた販売店
■エプソンフィールドセンター
　電話番号 ： ☞本書裏表紙をご覧ください。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の 2 種類の保守サービスを用意しています。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。

種類	概要	修理代金と支払方法	
		保証期間内	保証期間外
年間保守契約	製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。また、定期点検（別料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	年間一定の保守料金 一括前払いでお支払いいただきます。 *消耗品（ETカートリッジ、用紙など）は保守料金に含まれておりません。	
スポット出張修理	お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。故障の発生した製品をお持ち込みできない場合にご利用ください。	出張費用のみ	出張費用＋修理費用
		修理完了後、そのつどお支払いください。	

* 製品によっては、上記保守サービスの一部あるいは全部が実施できない場合がございますので、詳細については、購入された販売店または最寄りのエプソンフィールドセンターまでお問い合わせください。



コントロールコードについて

コントロールコードの詳細は、以下のリファレンスマニュアルをご覧ください。なお、以下のマニュアルにつきましては、エプソンインフォメーションセンターまたは本機をご購入いただいた販売店までお問い合わせください。

ESC/Pageコントロールコード

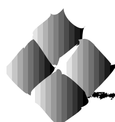
ESC/Page コントロールコードについては、「ESC/Page リファレンスマニュアル」をご覧ください。

商品名
ESC/Page リファレンスマニュアル（モノクロ印刷のコードのみ）

ESC/Pコントロールコード

ESC/P コントロールコードについては、「ESC/P リファレンスマニュアル-第 2 版」をご覧ください。
LP-8200C は ESC/P J84 に分類されます。

商品名
ESC/P リファレンスマニュアル



プリンタの仕様

プリンタの仕様について記載しています。参照資料としてお役立てください。

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式二成分非磁性トナー電子写真方式
プリントモード	B/W モード　：黒のトナーのみを使用するモノクロ印刷モード 最高の速度で印刷を行う カラーモード　：4色（イエロー、マゼンタ、シアン、黒）のトナーを 使用するカラー印刷モード
スピードモード	標準モード　：各プリントモードの最高の速度で印刷を行う 半速モード　：特殊紙の使用時、トナーの定着性を維持するために減 速して用紙を搬送する
ウォームアップタイム	300秒以内（22℃、定格電圧にて）
稼働音	稼働時　：約54.8dB（A）以下 待機時　：約38.3dB（A）以下 節電レベル1時　：約38.3dB（A）以下 節電レベル2時　：約35.0dB（A）以下

プリント速度

プリントモード	スピードモード	A4サイズ（横置き）	A3サイズ（縦置き）
B/W モード	標準モード	16PPM	8PPM
	半速モード	2.7PPM	1.3PPM
カラーモード	標準モード	4PPM	2PPM
	半速モード	1.8PPM	0.9PPM

（PPM=枚/分）

ファーストプリント

排紙装置	プリントモード	ファーストプリント
フェイスアップトレイ	B/W モード	19.9秒（A4サイズ横置き）
	カラーモード	42.6秒（A4サイズ横置き）
フェイスダウントレイ	B/W モード	24.9秒（A4サイズ横置き）
	カラーモード	47.6秒（A4サイズ横置き）

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990準拠	
書体	欧文	ローマン、サンセリフ Windows対応TrueType互換14書体 • DutchTM 801 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • SwissTM 721 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • Courier (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • Symbol • WingBats
	和文	明朝、ゴシック

用紙関係

給紙方法	用紙トレイまたは用紙カセットユニットによる自動給紙	
用紙容量	用紙トレイ	• 普通紙またはEPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙（60g/m²～105g/m²）：150枚（または15mm） • ラベル紙、EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシート、厚紙、ハガキ（105g/m²～220g/m²）：75枚 • 封筒：20枚
	用紙カセット（標準）	250枚（または28mm）
	用紙カセット（A3W（ノビ））* 増設カセットユニット*	普通紙またはEPSON製カラーレーザープリンタ用 上質普通紙（60g/m²～105g/m²）
排紙方法	フェイスダウン/フェイスアップ	
排紙容量	フェイスダウン：250枚（B5サイズ以上） フェイスアップ：150枚（A4サイズ以下）/50枚（A4サイズ以上）	

* はオプション

用紙の種類

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字チェックをしてください。

普通紙	• 60g/m² 〜 105g/m² • 一般に適用しているコピーペーパー、再生紙 • EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙
特殊紙 (用紙トレイからのみ給紙できます)	• ラベル紙 • 官製ハガキ • 封筒 • EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シート * • 厚紙(105g/m² 〜 220g/m²) • 不定形紙

* OHP シートは、この OHP シートのみ使用可能です。

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ		用紙トレイ	用紙カセット*1	用紙カセット*2(A3W(ノビ))
A3W(ノビ)*3	328mm×453mm	○	−	○
A3	297mm×420mm	○	○	−
A4	210mm×297mm	○*4	○*4	−
A5	148mm×210mm	○*4	−	−
B4	257mm×364mm	○	○	−
B5	182mm×257mm	○*4	○*4	−
Letter(LT)	215.9mm{8.5インチ}×279.4mm{11インチ}	○*4	○*4	−
Half-Letter(HLT)	139.7mm{5.5インチ}×215.9mm{8.5インチ}	○*4	−	−
Legal(LGL)	215.9mm{8.5インチ}×355.6mm{14インチ}	○	○	−
Executive(EXE)	184.15mm{7.25インチ}×266.7mm{10.5インチ}	○*4	−	−
Government Legal(GLG)	215.9mm{8.5インチ}×330.2mm{13インチ}	○	−	−
Government Letter(GLT)	203.2mm{8インチ}×266.7mm{10.5インチ}	○*4	−	−
Ledger(B)	279.4mm{11インチ}×432mm{17インチ}	○	○	−
F4	210mm×330mm	○	−	−
不定形紙	90mm×139.7mm〜328mm×453mm	○*5	−	−
官製ハガキ	100mm×148mm	○	−	−
封筒*6 Monarch(MON)	98.43mm{3 7/8インチ}×190.5mm{7 1/2インチ}	○*4	−	−
封筒*6 Commercial-10(C10)	104.78mm{4 1/8インチ}×241.3mm{9 1/2インチ}	○*4	−	−
封筒*6 DL	110mm×220mm	○*4	−	−

*1 標準添付のカセットユニットおよびオプションの増設カセットユニットに添付の用紙カセットです。
*2 オプションの A3W(ノビ)サイズ専用の用紙カセットです。
*3 A3W(ノビ)は 328mm × 453mm です。A3 ノビサイズ(329mm × 483mm)とはサイズが異なります。
*4 用紙の給紙方向に対して横長になる向きでセットします。
*5 アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。
*6 封筒は、必ずフラップ(閉じ口)を開き、フラップのある側を給紙方向に対し後ろに向けてセットします。

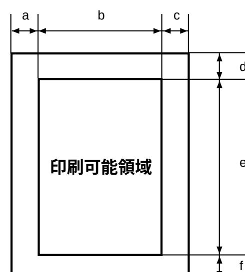
用紙サイズと排紙方法

用紙	用紙サイズ	フェイスダウン	フェイスアップ
普通紙	A3W(ノビ)	○	○
	A3	○	○
	A4	○	○
	A5	−	○
	B4	○	○
	B5	○	○
	Letter(LT)	○	○
	Half-Letter(HLT)	−	○
	Legal(LGL)	○	○
	Executive(EXE)	○	○
	Government Legal(GLG)	○	○
	Government Letter(GLT)	○	○
	Ledger(B)	○	○
	F4	○	○
特殊紙	不定形紙 (給紙方向に対し、長さ 182mm 未満、幅 210mm 未満)	−	○
	不定形紙 (給紙方向に対し、長さ 182mm 以上、幅 210mm 以上)	○	○
	専用 OHP シート	−	○
	官製ハガキ	−	○
	厚紙	−	○
	Monarch(MON)	−	○
	Commercial-10(C10)	−	○
	DL	−	○

フェイスダウンに排紙できない用紙の場合、排紙トレイがフェイスダウントレイに指定されていると、印刷実行時に自動的にフェイスアップトレイに切り替わります。

印刷可能領域

印刷可能領域は、印刷の実行のみを保証する領域。
用紙の各端面から5mmを除く領域に印刷可能。



定形紙 （単位：ドット、600DPI）

名　称		a	b	c	d	e	f
A3W（ノビ）		120	7508	120	120	10460	120
A3		120	6776	120	120	9680	120
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B4		120	5832	120	120	8360	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Legal（LGL）		120	4860	120	120	8160	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Legal（GLG）		120	4860	120	120	7560	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
Ledger（B）		120	6360	120	120	9960	120
F4		120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
封筒	Monarch（MON）	120	2084	120	120	4260	120
	Commercial-10（C10）	120	2234	120	120	5460	120
	DL	120	2358	120	120	4956	120

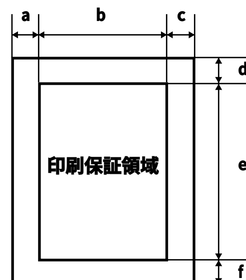
不定形紙

名　称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3060	120
最大サイズ	120	7508	120	120	10460	120

- **図と表は、ESC/Pageモードの場合です。他のモードでは、多少違う場合があります。**
- **アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域。
A3W（ノビ）、不定形紙（最大サイズ）のみ、印刷可能領域との値が異なる。
A3W（ノビ）、不定形紙（最大サイズ）以外は、用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能。



定形紙 （単位：ドット、600DPI）

名　称		a	b	c	d	e	f
A3W（ノビ）		390	7016	342	120	10174	406
A3		120	6776	120	120	9680	120
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B4		120	5832	120	120	8360	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Legal（LGL）		120	4860	120	120	8160	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Legal（GLG）		120	4860	120	120	7560	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
Ledger（B）		120	6360	120	120	9960	120
F4		120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
封筒	Monarch（MON）	120	2084	120	120	4260	120
	Commercial-10（C10）	120	2234	120	120	5460	120
	DL	120	2358	120	120	4956	120

不定形紙

名　称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3060	120
最大サイズ	390	7016	342	120	10174	406

- **図と表は、ESC/Page モードの場合です。他のモードでは、多少違う場合があります。**
- **アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%
定格電流	11A
周波数	50 〜 60Hz ± 3Hz（国内向）
消費電力	最大　：1,100W 以下 待機時　：100W 以下 モノクロ印刷時平均 ：500W 以下 カラー印刷時平均　：400W 以下 節電レベル 2 時　：45W 以下

環境使用条件

動作時	温度　：10 〜 32℃ 湿度　：20 〜 80%（ただし結露しないこと） 気圧（高度）　：740hpa 以上（2500m 以下） 水平度　：前後傾き 0.5 度以下、左右傾き 1 度以下 照度　：3000lux 以下 周囲スペース　：左側方 503mm、右側方 551mm、後方 150mm、上方 150mm、前方 835mm
保存・輸送時	温度　：0 〜 35℃ 湿度　：20 〜 80%

コントローラ基本仕様

CPU	R5000（200MHz）
RAM	標準：32MB オプション（2 ソケット）増設時：最大 256MB
インターフェイス	標準　：セントロニクス　双方向パラレル IEEE 1284 準拠　ニブルモード、ECP モード Ethernet（10Base-T/100Base-TX） オプション ：Type B I/F（1 スロット）
オプション ROM モジュールソケット	3 ソケット（ただし、C スロットは使用できません）
ハードディスクユニット	オプションとして装着可
プリンタ設定	パネル設定およびパネル設定ユーティリティにて保存
内蔵モード	標準　ESC/Page モード（Color 対応：双方向機能） ESC/P モード（モノクロのみ：VP-1000 エミュレーション） ESC/PS モード（モノクロのみ：PC-PR201H エミュレーションと ESC/P を自動判別） その他　EJL モード（双方向機能）

外観仕様

外形寸法	幅 691*mm ×奥行き 641mm ×高さ 492mm * 延長トレイ、フェイスアップトレイを最大に伸ばすと 1355mm になります。
重量	約 69kg （消耗品を含む）

パラレルインターフェイス仕様

転送形式	8 ビットパラレル（IEEE1284 準拠）
同期方法	外部供給ストローブパルス信号
ハンドシェイク	ACKNLG または BUSY 信号
ロジックレベル	TTL レベルと同等
適合コネクタ	57-30360 AMPHENOL 相当

信号説明

ピン番号	信号名	I/O	ピン番号	信号名	I/O
1	$\overline{\text{STROBE}}$	I	14	$\overline{\text{AUTOFEED}}$	I
2	DATA1	I	15	NC	–
3	DATA2	I	16	GND*1	–
4	DATA3	I	17	CHASSIS-GND*1	–
5	DATA4	I	18	＋5V*2	–
6	DATA5	I	19 ～ 30	GND	–
7	DATA6	I	31	$\overline{\text{INIT}}$	I
8	DATA7	I	32	$\overline{\text{ERROR}}$	O
9	DATA8	I	33	GND	–
10	$\overline{\text{ACKNLG}}$	O	34	NC	–
11	BUSY	O	35	＋5V*2	–
12	PE	O	36	$\overline{\text{SLCTIN}}$	I
13	SLCTOUT	O			

I ＝入力信号、O ＝出力信号、NC ＝未使用
LOW アクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。

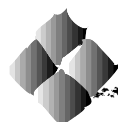
*1　CHASSIS- GND と GND はプリンタ内でつながっています。
*2　電源ではありません。

Ethernet インターフェイス仕様

インターフェイスタイプ	10Base-T、100Base-TX
プロトコル	AppleTalk、TCP/IP、IPX/SPX、 Windows Peer To Peer 接続可能（IP、IPX）
コネクタ型名	RJ45
適合ケーブル	2 ペアカテゴリ 3/4/5 UTP（10Base-T、100Base-TX） FCC クラス B、EN55022 クラス B、VCCI クラス B に適合するためには、シールドタイプのケーブルを使用すること。

ピン配置

ピン番号	信号名	I/O
1	Transmit High	O
2	Transmit Low	O
3	Receive High	I
4	NC	–
5	NC	–
6	Receive Low	I
7	NC	–
8	NC	–



用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

A **ACKNLG（アクノレッジ）**
データを正しく受け取ったことを知らせる信号です。

B **Byte（バイト）**
コンピュータやプリンタの中で扱う情報の単位。8ビットで構成されており、1バイトは通常1文字または1コードに対応しています。

C **ColorSync（カラーシンク）**
アップルコンピュータ社が提供する、Macintosh用のカラーマネジメント機能のうちの1つ。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSyncの機能を100%発揮させるためには、入力機器（スキャナなど）、印刷データ、ディスプレイ、出力機器（プリンタ）の全てが、ColorSyncに対応している必要がある。

CPGI（Color Photo&Graphics Improvement／シーピージーアイ）
画像を構成する各ドットをさらに分割して制御することで、色の割合をより細かく制御し、微妙な色調の印刷を可能にするEPSON独自の技術。

CPI（Characters Per Inch/シーピーアイ）
25.4mm｛1インチ｝の横幅に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。

CPL（Characters Per Line/シーピーエル）
1行に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。

CPU（Central Processing Unit/シーピーユー）
プログラムを解読し、演算を行う中枢部のことです。

CR（Carriage Return/キャリッジリターン）
1行の印字を行ったあとに次の印字位置をその行の先頭に戻す制御コードです。ASCIIまたはJISコードの0DH（10進数の13）です。

D **DPI（Dots Per Inch/ディーピーアイ）**
25.4mm｛1インチ｝幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。

E **E2PROM（Electrical Erasable Programmable ROM/イーイーピーロム）**
電気的に内容を消去することができるPROMのこと。PROMを参照。

ESC/P®（EPSON Standard Code for Printer/イーエスシーピー）
エプソンによって標準化された、印字するためにコンピュータからプリンタに送る命令（コントロールコード）体系。

ESC/Page®（EPSON Standard Code for Page Printer/イーエスシーページ）
エプソンによって標準化された、コンピュータからページプリンタに送る命令（コントロールコード）体系。

ESC/Pエミュレーションモード
プリンタがESC/Pのコントロールコードで動作する状態のことで、エプソン24ドット漢字プリンタに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。

ESC/P スーパーモード
プリンタがESC/PまたはPC-PR201Hのコントロールコードで動作する状態です。エプソン24ドット漢字プリンタまたは日本電気株式会社のPC-PR201Hに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。

ETカートリッジ 印刷用のトナーを容器に入れ、プリンタへの脱着が簡単に行えるようにしたもの。

EtherTalk（イーサトーク）
Macintoshを Ethernet（イーサネット）に接続するための AppleTalk の通信規約。LocalTalk でネットワーク接続した場合よりもデータの通信速度が速い。

F **FF（Form Feed/フォームフィード）**
改ページを行う制御コードで、ASCII または JIS コードの 0CH（10 進数の 12）です。

I **IEEE インターフェイス（IEEE-488）**
IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）によって、デジタル機器の接続用標準バスとして定められているインターフェイス。同様なバスとして、GP-IB（General Purpose Interface Bus）やHP-IB（Hewlett-Packard Interface Bus）などがあります。

J **JIS（Japanese Industrial Standard/ジス）**
日本国内の文字コードや漢字コードを規定している、日本工業規格の略称です。

K **KB（kilobyte/キロバイト）**
データ量やメモリ容量の単位です。1KB は 1024 バイトになります。

L **LF（Line Feed/ラインフィード）**
改行を行う制御コードで、ASCII または JIS コードの 0AH（10 進数では 10）です。

LocalTalk® Apple Computer 社の Macintosh シリーズ用のネットワーク（AppleTalk®）を構成する各種デバイスを接続するための、ケーブルを中心としたシステム。

M **MB（megabyte/メガバイト）**
データ量やメモリ容量の単位です。1MB は 1024 × 1024 バイト（= 1024KB）になります。

O **OCR** 人間が読みとれる数字や文字をそのまま機械に認識させる方式。

OCR-B 光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

OHPシート オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。

P **PGI（Photo&Graphics Improvement/ピージーアイ）**
画像データが持つ微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するために、階調表現をより細かく制御する EPSON 独自の機能。

PPM（Pages Per Minute/ピーピーエム）
1 分間に印刷できる用紙の枚数。

PROM（Programmable ROM/ピーロム）
プログラムなどを書き込むことができる ROM のこと。ROM を参照。

R **RAM（Random Access Memory/ラム）**
データなどを読み書きできるメモリです。

ROM（Read Only Memory/ロム）
データなどの読み出し専用のメモリです。

RS-232C コンピュータとプリンタをケーブルで接続する標準的なシリアルインターフェイスです。

数字

2 進法（binary：バイナリ）

0 と 1 の 2 つの数字だけを使用して、数値を数える体系です。基数（数を表現するために使う記号の数）は2になります。コンピュータシステムの全情報はバイナリ形式で処理されます。バイナリの数字はビットと呼びます。0 〜 255 までの任意の数字は、8 ビットの 2 進数で表現されます（0 〜 11111111）。

10 進法（decimal：デシマル）

数字の 0、1、2、3、4、5、6、7、8 および 9 を使用して、数値を数える体系です。基数は 10 になります。ごく一般的に使用される、数の数えかたです。

16 進法（Hexadecimal：ヘキサデシマル、Hex と略される）

10 進法の 0 〜 9 までは 10 進法と同じ数字を使い、10 〜 15 を A 〜 F のアルファベット文字で表現して、数値を数える体系です。基数は 16 になります。ふつう 16 進数の数の表記では、数字の末尾に H または h を付けます（例：0AH は、10 進数の 10 に相当します）。プログラムなどでおもに使用される数えかたで、0 〜 255 の数は 2 桁の 16 進数で表現できます（0H 〜 FFH）。

付録の英数カナ文字コード表などでは、たとえば文字コード 0AH の文字（LF 文字）は、横軸の 0 と縦軸の A が合わさる位置に配置されます。ただし、EPSON JIS83 漢字横書き、縦書きの両セットの表では、縦軸と横軸の関係が逆になります。

アイウエオ

ア	**アウトラインフォント**	数式によって定義されているフォント。アウトラインフォントでは、サイズや方向など、文字の属性を変更することができます。
	アプリケーションソフト	コンピュータ上で動作する、実際の業務や作業をするためのソフトウェア。ワードプロセッサや表計算ソフト。通常の印刷は、アプリケーションソフトを使用して行います。
イ	**インターフェイス**	コンピュータとプリンタとの間の接続のために使用するハードウェアやソフトウェア。パラレルインターフェイスはデータを1文字、あるいは一度にデータを1コード（8ビット）ずつ送信します。シリアルインターフェイスは、データを一度に1ビットずつ送信します。
	インターフェイスケーブル	コンピュータとプリンタをインターフェイスで接続するケーブル。
	インターフェイスコネクタ	インターフェイスケーブルを差し込む端子。
エ	**液晶ディスプレイ**	液晶板を使用した表示装置。本機では操作パネルに使用されています。
	エラーメッセージ	液晶ディスプレイに表示される異常状態のメッセージのことです。
オ	**オプション**	利用者が自由に選択して購入できる部品のことです。
	オフセット	印字位置を上下左右に移動させる量。
カ	**カラーマッチング**	原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。
キ	**キャッシュ**	フォントキャッシュを参照してください。
	給紙	用紙をプリンタに供給すること。
シ	**初期設定**	プリンタの電源をオンにしたり、プリンタを初期化したときに有効になる設定。プリンタの工場出荷時設定と同じです。
	書体	明朝、ゴシックなどの文字のデザイン。
	シリアルインターフェイス	データを1ビットずつ転送するインターフェイス。
	シリアルプリンタ	1文字ずつ印字する方式のプリンタ。
ス	**ステータスシート**	プリンタの設定状態を印刷した用紙です。
ソ	**双方向通信**	2つの機器の間で、同時にデータの送信と受信を行うことです。
チ	**調歩同調式**	データにスタートビットと、ストップビットを付加した、シリアルデータ転送方式。
	チェックデジット	読み取りの正確性を保つために所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。
ツ	**坪量**	用紙の厚さを表す単位です（1平方メートル / グラム）。

テ **定形紙** JIS などの規格で定められた大きさの用紙（A4、B5 など）。

定着器 用紙上のトナーを熱と圧力で定着させる機構。

ト **トナー** 印刷のために用紙に定着させる着色樹脂粉末。

トランケーション **(truncation=先を切ること)**
印刷スペースやデザインなどの都合で、天地方向の寸法を縮めたバーコードシンボル。

ハ **排紙** 用紙をプリンタから排出することです。

排紙トレイ プリンタから排出された用紙を受けるところ。

バーコード 太さの異なるバーとスペースとの組み合わせにより、数字や文字などを機械的に解読可能な形で表現したもの。

バイナリ 2 進法を参照してください。

バッファ 一時的にデータを記憶させておくメモリ。

パネル設定 操作パネルで行う、プリンタ機能の設定。

パラレルインターフェイス
コンピュータからプリンタへデータを転送する際に、データを8ビットずつ転送する方式です。

パリティチェック データ転送の際に起きるエラーのチェック。

ハンドシェイク 送信と受信の制御情報をデータとは別途にやりとりすることによって、互いの状態を確認する方法。

ヒ **ビット** 1 バイナリディジット（0 または 1）。プリンタやコンピュータによって使用される最小単位のことです。

ビットマップフォント
ドット（点）の集合体として記憶されているフォント。アウトラインフォント参照。

フ **フォント** 書体のこと。

フォント ROM モジュール
各種フォントが内蔵された ROM モジュール。

フォントキャッシュ
プリンタで内部的に生成した文字（フォント）をプリンタのメモリに記憶する機能。

プリンタドライバ アプリケーションソフトウェアのコマンドを、プリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェア。

プロトコル 通信制御のために使われる、信号をやりとりするときの決まりごと。

ヘ **ページプリンタ** ページ単位で印刷する方式のプリンタ。

ホ **ホストコンピュータ**
ネットワークシステムの中心になるコンピュータ。

ボーレート データ転送の速度を示す尺度。コンピュータとプリンタの間で、シリアルインターフェイスを設定するときに使用します。

メ **メモリ**

情報を保存するために使用される記憶装置。プリンタに装備されているメモリは、プリンタの動作をコントロールするための情報を入れたり（この情報の変更はできません）、コンピュータからプリンタに送られるデータ（例えばダウンロードフォントやグラフィックス）を一時的に保存するために使用されます。E2PROM、RAM および ROM 参照。

リ **リセット**

印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。
現在稼働中のインターフェイスのみに有効となります。
キャッシュに保存されたフォントは記憶しています。

リセットオール

印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。
すべてのインターフェイスに対して有効となります。

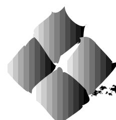
索引

参照ページがSxxとなっているものは、「セットアップガイド」の該当ページを示します。数字のみのものは本書中のページを示します。

数字

アルファベット

アイウエオ



お問い合わせ確認票

コピーしてお使いください。

電話にてエプソンインフォメーションセンターへお問い合せいただく際にご使用ください。あらかじめご記入のうえ電話をおかけいただくことにより、トラブルの解決がよりスムーズに行えます。

* 印については次のページを参照してください。

プリンタ機種名	LP-8200C		
コンピュータメーカー名			
コンピュータ OS	□ Windows95*1	Ver.	
	□ Windows98*1	Ver.	
	□ WindowsNT4.0	Ver.	
	□漢字 Talk/MacOS*2	Ver.	
	□その他	Ver.	
接続ケーブル	EPSON 製　□ PRCB4N　□ PRCB5N		
	その他　□メーカー名		型番
	バッファ、切替機など	□有り	□無し
ステータスシート印刷	□正常　□正常でない お問い合せの際は念のため、お手元に印刷結果をご用意ください。		
プリンタドライバ	プリンタドライバのバージョン*3		Ver.
	CD-ROM（または FD）のリビジョン*4		Rev.
	テストページの印刷（Windows95/98/NT4.0 のみ）*5 □正常　□正常でない		
	プリンタドライバの再インストール □行った　□行っていない		
アプリケーションソフト	メーカー名		
	ソフト名		
	バージョン　Ver.		
	上記アプリケーションソフトで他のデータを印刷した場合 □正常に印刷できる　□正常に印刷できない		
	他のアプリケーションから印刷を行った場合 使用アプリケーション名 ____________________ □正常に印刷できる　□正常に印刷できない		
今回のようなトラブルの現象は以前からありましたか？ □以前からあった　□以前はなかった			
今回のようなトラブルはどのくらいの頻度で発生しますか？ □毎回必ず発生する　□ほとんどの場合に発生する □発生したりしなかったり			
お客様 ID コード（取得済みの方のみ）	プリンタの製造番号*6		

お問い合せ確認票記入のために

*1 Windows95/98のバージョン(Ver.)の確認方法

スタート から［設定］－［コントロールパネル］を開きます。
［システム］のアイコンをダブルクリックして開き、［情報］（［全般］のタブの画面の［システム］の部分で［Windows95/98］の次に記載されている部分が該当します。

*2 漢字Talk(Mac OS)バージョン(Ver.)の確認方法

［アップルメニュー］から［この Macintosh について］（Mac OS の場合は［このコンピュータについて］）を選択します。開いたウィンドウの［システムソフトウエア］の既裁部分が該当します。
（Mac OS の場合は、ウィンドウの右上にバージョンが表示されます。）

*3 プリンタドライバのバージョン(Ver.)の確認方法

Windows95/98/NT4.0 の場合

プリンタドライバのプロパテイのウィンドウで「基本設定」タブを選択し、右下の バージョン情報 ボタンをクリックします。開いたウィンドウの中にバージョン番号の記載があります。

Macintosh の場合

［印刷ダイアログ］や［用紙設定ダイアログ］の上部に表示されます。

*4 プリンタドライバのリビジョン(Rev.)の確認方法

お客様がプリンタドライバのインストールに使用されたCD-ROM（もしくはフロッピーディスク）に記載の「Rev.」が該当します。

*5 テストページの印刷方法(Windows95/98/NT4.0)

スタート から［設定］-［プリンタ］を開きます。
［EPSON LP-8200C］プリンタアイコンをクリックして［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。［全般］ダイアログで以下のボタンをクリックします。
Windows95/98 ： 印字テスト ボタン
WindowsNT4.0 ： テストページの印刷 ボタン

*6 プリンタの製造番号の確認方法

プリンタの保証書、もしくはプリンタ本体背面に貼ってあるシールに記載があります。

MEMO

MEMO

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合修理等は有償で行います。